

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準                      復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順                      低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。                      概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）により LPCS 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準                      高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順                      高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性                      上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.38図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。</li> <li>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の開操作及び余熱除去ポンプRWSP側入口弁の開操作を実施する。</li> <li>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。</li> <li>④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</li> </ol> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</li> </ul>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4-39図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンブ側入口弁の全開操作並びに余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁及び余熱除去ライン入口止め弁の全開操作を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。</li> <li>・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。</li> </ul> <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。</li> </ul>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順                      原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。                      復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「水源を利用した対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）                      【大飯】記載方針の相違                      ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違                      ・参照先の相違</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-193より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>代替非常用発電機の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。</li> <li>・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。</li> </ul> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の1.4.2.5 で網羅している。</li> </ul>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p><b>【比較のため、比較表p1.4-140より再掲】</b></p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順                      空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p><b>【比較のため、比較表p1.4-160より再掲】</b></p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順                      燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p><b>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</b>                      ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p><b>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</b>                      ・大飯の 1.4.2.3(1)h.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</li> </ul>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/9)  
 (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード) による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレート等	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等
			原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) 等	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」
			非常用取水設備 等	
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	低圧炉心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	低圧炉心スプレイ系	低圧炉心スプレイ系ポンプ サブプレッションチェンバ 低圧炉心スプレイ系 配管・弁・ストレート・スパージョ 原子炉圧力容器 炉心冷却器 (炉心冷却器) 等	非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等
			原子炉圧力容器 炉心冷却器 (炉心冷却器) 等	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」
			非常用取水設備 等	
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード) による発電用原子炉からの冷却	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) 等	非常時操作手順書 (事故ベース) 「減圧冷却」等
			原子炉内循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却器水系を含む) 等	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」
			非常用取水設備 等	

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.5 最終冷却タンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】3b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)  
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 対応手段、対処設備、手順書一覧 (1/22)  
 (重大事故等対処設備 (設計基準拡張))

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード) による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧注水ポンプ ほう難注水タンク 熱交換器再循環ポンプ 非常用炉心冷却設備 (高圧注水系) 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	一級設計基準事故対処設備	事故の発生を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	二級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等	一級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	二級設計基準事故対処設備		
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	低圧炉心スプレイ系による発電用原子炉の冷却	低圧炉心スプレイ系	高圧注水ポンプ ほう難注水タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注水ポンプ再循環ポンプ無人入口 (炉心冷却器) 非常用炉心冷却設備 (高圧注水系) 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	一級設計基準事故対処設備	事故の発生を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	二級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等	一級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	二級設計基準事故対処設備		
重大事故等対処設備 (設計基準拡張)	残留熱除去系 (低圧注水モード) による発電用原子炉からの冷却	残留熱除去系 (低圧注水モード)	高圧注水ポンプ ほう難注水タンク 熱交換器再循環ポンプ 安全注水ポンプ再循環ポンプ無人入口 (炉心冷却器) 非常用炉心冷却設備 (高圧注水系) 配管・弁 原子炉補機冷却設備 非常用取水設備 炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	一級設計基準事故対処設備	事故の発生を行う設備 手順書	設備及び設計基準事故に 対応する運転手順書
			炉心冷却器 非常用交流電源設備*1	二級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (事故ベース) 「水位確保」等	一級設計基準事故対処設備		
			非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	二級設計基準事故対処設備		

\*1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 \*2：重大事故等対策において用いる設備の分類  
 \*3：当該表文に適合する重大事故等対処設備 ①：対策に適合する重大事故等対処設備 ②：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の  
 反映)  
 ・泊は設計基準事  
 故対処設備による  
 対応手段を整  
 理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バランサリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.1 表を再掲】

第 1.4.1 表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の 1 次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系故障時)

Table with 6 columns: 分類, 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It details various equipment like pumps and valves and their corresponding procedures for different accident scenarios.

注1：大事故発生時、重大事故発生時における原子炉冷却材の喪失防止のための設備に関する高圧  
注2：手順は「1.1.2 重大事故発生時の対応」の項に記載の手順等にて整備する。  
注3：手順は「1.1.4 電炉の降圧に関する手順等」にて整備する。  
注4：可変式代替交流電源設備は、原子炉冷却材の喪失防止のための設備は特筆しない。  
注5：可変式代替交流電源設備は、原子炉冷却材の喪失防止のための設備は特筆しない。  
注6：可変式代替交流電源設備は、原子炉冷却材の喪失防止のための設備は特筆しない。  
注7：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。  
注8：ディーゼル発電機等より取り電する。  
注9：A：1段階目の冷却材供給モードに換装後冷却材を注入。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。  
注10：2段階目の冷却材供給モードに換装後冷却材を注入。手順は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。  
注11：送水車の燃料供給に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。  
注12：A：当表本文に記述する重大事故等の対応設備。B：87条に記述する重大事故等の対応設備。C：自主対策として整備する重大事故等の対応設備。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (3/9)

(発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

Table with 4 columns: 分類, 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 手順書. This table provides a detailed overview of the response procedures for front-line system failures during reactor operation.

注1：手順は「1.1.3 重大事故等の取付に必要となる水の供給手順等」にて整備する。  
注2：手順は「1.1.4 電炉の降圧に関する手順等」にて整備する。  
注3：手順は「1.5 最終セトリンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
注4：「1.1.3 重大事故等の取付に必要となる水の供給手順等」【解釈】B) 項を満足するための代替冷却水 (措置)  
注5：残留熱除去 (高圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (3/22)

(1 次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

Table with 6 columns: 分類, 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. This table details the response procedures for front-line system failures during a primary coolant loss accident.

注1：手順は「1.1.3 重大事故等の取付に必要となる水の供給手順等」にて整備する。  
注2：可変式代替交流電源設備は、原子炉冷却材の喪失防止のための設備は特筆しない。  
注3：手順は「1.1.4 電炉の降圧に関する手順等」にて整備する。  
注4：可変式代替交流電源設備は、原子炉冷却材の喪失防止のための設備は特筆しない。  
注5：C：1段階目の冷却材供給モードによる冷却材供給の自然減速は「1.7 原子炉冷却材の供給のための手順等」にて整備する。  
注6：重大事故発生時に用いている設備の分類。  
注7：当表本文に記述する重大事故等の対応設備。B：87条に記述する重大事故等の対応設備。C：自主対策として整備する重大事故等の対応設備。

【大阪】  
記載方針の相違 (女川審査実績の反映)  
・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段でない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.1 表を再掲】

第 1.4.1 表 運転喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の 1 次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系故障時)

分類	運転喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1 次冷却材喪失事故が発生している場合	全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	心臓系水ポンプ (A、B) 及びそのポンプ*	心臓系水ポンプを備えた心臓系水ポンプの取替を併行する手順	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	
		燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	
		高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	
		低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	
		1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	
		1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	
	全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	A 燃料補給機スプレイドレン*	A 燃料補給機スプレイドレンを用いた代用品(注水により取り替える)の取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替
		燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替
		高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替
		低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替
		1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替
		1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替
全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	高圧ポンプ	高圧ポンプを用いた代用品(注水により取り替える)の取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	
	燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	
	高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	
	低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	
	1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	
	1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	
全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	高圧ポンプ	高圧ポンプを用いた代用品(注水により取り替える)の取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	
	燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	
	高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	
	低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	
	1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	
	1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	

注1：1次系喪失時、重大事故発生時における原子炉冷却材の健全なための設備に関する事項  
 注2：手順は「1.14 重大事故発生時の対応」の項を参照する。  
 注3：手順は「1.14 電停の維持」に関する手順等にて整備する。  
 注4：可搬式(可搬式)注水ポンプにより注水する場合は注水ポンプの取替を併行する。  
 注5：注水ポンプの取替は燃料補給機水ポンプの取替を併行する。手順は「1.14 電停の維持」に関する手順等にて整備する。  
 注6：取替機(可搬式)注水ポンプの燃料補給機に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 注7：送水機の燃料補給機に使用する設備のものである。手順は「1.6 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 注8：A、B燃料補給機水ポンプの取替は燃料補給機水ポンプの取替を併行する。手順は「1.7 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 注9：1次系補給機水ポンプの取替は燃料補給機水ポンプの取替を併行する。手順は「1.7 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 注10：1次系補給機水ポンプの取替は燃料補給機水ポンプの取替を併行する。手順は「1.7 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 a：当該表に記載する重大事故発生時対応設備 b：87条に該当する重大事故発生時対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故発生時対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (4/22)

(1 次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	運転喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1 次冷却材喪失事故が発生している場合	全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	心臓系水ポンプ (A、B) 及びそのポンプ*	心臓系水ポンプを備えた心臓系水ポンプの取替を併行する手順	心臓系水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替
		燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替
		高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替
		低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替
		1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替
		1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替
	全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	A 燃料補給機スプレイドレン*	A 燃料補給機スプレイドレンを用いた代用品(注水により取り替える)の取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替
		燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替
		高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替
		低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替
		1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替
		1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替
全炉停止ポンプ及び燃料補給機水ポンプ*	高圧ポンプ	高圧ポンプを用いた代用品(注水により取り替える)の取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	心臓系水ポンプの取替及び燃料補給機水ポンプの取替	
	燃料補給機水ポンプ	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	燃料補給機水ポンプの取替	
	高圧ポンプ	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	高圧ポンプの取替	
	低圧ポンプ	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	低圧ポンプの取替	
	1 次系補給水ポンプ*	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	1 次系補給水ポンプの取替	
	1 次系給水タンク	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	1 次系給水タンクの取替	

注1：手順は「1.14 電停の維持」に関する手順等にて整備する。  
 注2：可搬式(可搬式)注水ポンプにより注水する場合は注水ポンプの取替を併行する。  
 注3：取替機への補給は、2次系給水タンク又は送水タンクから移送することにより行う。  
 注4：C、D燃料補給機水ポンプによる燃料補給機水ポンプの取替は「1.7 原子炉冷却材の取替」に関する手順等にて整備する。  
 注5：重大事故発生時において用いる設備の取替。  
 a：当該表に記載する重大事故発生時対応設備 b：87条に該当する重大事故発生時対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故発生時対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理





灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)

情報	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
1次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系機能喪失時 発生している場合	全交直電力電源喪失	代 表 的 機 能 喪 失 時 間 一 覧 表 (一) 一 覧 表 (二)	可動型大型送水ポンプ	a,b	可動型大型送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	c	空冷式冷却材循環装置を用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			自然循環ポンプ(自然循環)	a,b	自然循環ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			重送ポンプ	a,b	重送ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タンクローリー	a	タンクローリーを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			A格納容器スプレッドポンプ	a,b	A格納容器スプレッドポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ディーゼル送水ポンプ	a,b	ディーゼル送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N <sub>2</sub> 送水ポンプ	a,b	N <sub>2</sub> 送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可動型大型送水ポンプ	a,b	可動型大型送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書

※1：1次冷却材圧力バウンダリ低圧時に発生している原子炉冷却材喪失の危険に起因する事故  
 ※2：手順は「1.4 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可動型大型送水ポンプにより対応する場合は送水ポンプを駆動する。  
 ※5：燃料冷却ポンプ(可動型大型送水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※6：送水ポンプの燃料供給に使用する装置のものとする。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※8：手順は「1.5 燃料冷却ポンプを駆動するための手順等」にて整備する。  
 ※9：重大事故対策において用いている設備の名称  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(6/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系機能喪失時 発生している場合	全交直電力電源喪失	代 表 的 機 能 喪 失 時 間 一 覧 表 (一) 一 覧 表 (二)	可動型大型送水ポンプ	a,b	可動型大型送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			自然循環ポンプ	a,b	自然循環ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
1次冷却材圧力バウンダリ低圧時 サポート系機能喪失時 発生している場合	全交直電力電源喪失	代 表 的 機 能 喪 失 時 間 一 覧 表 (一) 一 覧 表 (二)	可動型大型送水ポンプ	a,b	可動型大型送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			自然循環ポンプ	a,b	自然循環ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却ポンプ	a,b	燃料冷却ポンプを用いた代用送水による原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器破損を防止する運転手順書

※1：可動型大型送水ポンプより送水する場合は送水ポンプを駆動する。  
 ※2：手順は「1.4 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式冷却材循環装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可動型大型送水ポンプにより対応する場合は送水ポンプを駆動する。  
 ※5：燃料冷却ポンプ(可動型大型送水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※6：送水ポンプの燃料供給に使用する装置のものとする。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却時のための手順等」にて整備する。  
 ※8：手順は「1.5 燃料冷却ポンプを駆動するための手順等」にて整備する。  
 ※9：重大事故対策において用いている設備の名称  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表（1/2）を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 （運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系故障時）（1/2）

情報	機能喪失を想定する設計基準事故の名称	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
I 冷却材圧降事故発生時	全交直電力電源喪失	代 替 中 心 注 水 機 （ 水 ）	可動式代替注水ポンプ	a,b	可動式代替注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			空冷式冷却材循環装置*	c	空冷式冷却材循環装置を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			自然循環ポンプ（自然循環）	a,b	自然循環ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	a	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			注水ポンプ	a,b	注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			重湯タンク	a,b	重湯タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			A格納容器スプレイングポンプ（自己循環） （RHS-CSS系統ライン使用）	a,b	A格納容器スプレイングポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			ディーゼル機ポンプ	a,b	ディーゼル機ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			N <sub>2</sub> 、空冷式ポンプ	a,b	N <sub>2</sub> 、空冷式ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			可動式代替注水ポンプ	a,b	可動式代替注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			可動式代替注水ポンプ（注水ポンプ用）	a,b	可動式代替注水ポンプ（注水ポンプ用）を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
			空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
重湯タンク	a,b	重湯タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
軽油ドラム	a,b	軽油ドラムを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
自然注水ポンプ（熱水冷却）	a,b	自然注水ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
大容量ポンプ	a,b	大容量ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
空冷式冷却材循環装置	a,b	空冷式冷却材循環装置を用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
燃料冷却材ポンプ	a,b	燃料冷却材ポンプを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
重湯タンク	a,b	重湯タンクを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			
タンクローリー	a,b	タンクローリーを用いた代替注水により原子炉を冷却する手順	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書			

※1：本発電所、重大事故等発生時における原子炉冷却材圧降事故の対応設備と整備する手順  
 ※2：手順書は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：空冷式冷却材循環装置は燃料供給に使用可能。手順は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：可動式代替注水ポンプにより対応する場合は注水ポンプを指す。  
 ※5：電源喪失（可動式代替注水ポンプ）の燃料供給に使用可能。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※6：空冷式冷却材循環装置に使用する冷却材の種類は異なる。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※7：大容量ポンプは燃料供給に使用可能。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※8：手順書は「1.5 燃料冷却材ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※9：重大事故発生時において用いる設備の分類  
 a：事故発生に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧（7/22）

（1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の名称	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順の分類
事故発生時	全交直電力電源喪失 原子炉格納容器内冷却材ポンプ	自然注水ポンプ 燃料冷却材ポンプ ディーゼル機ポンプ N <sub>2</sub> ポンプ 空冷式ポンプ 重湯タンク タンクローリー 軽油ドラム	自然注水ポンプ 燃料冷却材ポンプ ディーゼル機ポンプ N <sub>2</sub> ポンプ 空冷式ポンプ 重湯タンク タンクローリー 軽油ドラム	全交直電力電源喪失時における対応手段	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書
事故発生時	全交直電力電源喪失 原子炉格納容器内冷却材ポンプ	自然注水ポンプ 燃料冷却材ポンプ ディーゼル機ポンプ N <sub>2</sub> ポンプ 空冷式ポンプ 重湯タンク タンクローリー 軽油ドラム	自然注水ポンプ 燃料冷却材ポンプ ディーゼル機ポンプ N <sub>2</sub> ポンプ 空冷式ポンプ 重湯タンク タンクローリー 軽油ドラム	全交直電力電源喪失時における対応手段	原子炉の冷却機能喪失防止を目的とする運転手順書

【大阪】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・泊は流路及び給電に使用される設備に記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

※1：手順書は「1.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順書は「1.5 燃料冷却材ポンプを冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※3：C、Dは燃料冷却材ポンプ（注水ポンプ）による燃料供給の自然回復時は「1.7 原子炉格納容器の過圧防止を目的とする対応手段」にて整備する。  
 ※4：重大事故発生時において用いる設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

図 1.4.3 機器喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順（溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合）

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1. 冷却材圧力バウンダリが低下する可能性がある場合に発生している場合	熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備	熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
2. 冷却材圧力バウンダリが低下する可能性がある場合に発生している場合	熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備	熱源喪失を想定する設計基準事故対応設備	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		
			船舶冷却スプレッドポンプ		

※1：大阪発電所、重事故等発生時は原子炉冷却材の圧力バウンダリを維持する目的で、船舶冷却スプレッドポンプを稼働させる。船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※2：手順は「1.4 船舶の稼働に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬式内蔵型圧力バウンダリポンプにより炉心冷却する場合は、船舶冷却スプレッドポンプを稼働させる。船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※4：可搬式内蔵型圧力バウンダリポンプにより炉心冷却する場合は、船舶冷却スプレッドポンプを稼働させる。船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※5：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※6：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※7：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※8：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/9)  
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」
			船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」
			船舶冷却スプレッドポンプ	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（クイップ）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」 ※1
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
			船舶冷却スプレッドポンプ	自主対策設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替送水機（措置）  
 ※5：残留熱除去系（残圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (6/9)  
 (溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」
			船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（設備別） 「代替送水ポンプによる原子炉注水」
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー」
			船舶冷却スプレッドポンプ	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（クイップ）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」 ※1
溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
			船舶冷却スプレッドポンプ	自主対策設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替送水機（措置）  
 ※5：残留熱除去系（残圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/22)  
 (溶融炉心が原子炉容器に残存する場合)

分類	機器喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書
			船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書
溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書
			船舶冷却スプレッドポンプ	船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順	炉心の著しい損傷が発生した場合には、対応する運転手順書

※1：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬式内蔵型圧力バウンダリポンプにより炉心冷却する場合は、船舶冷却スプレッドポンプを稼働させる。船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※4：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※5：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※6：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※7：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。  
 ※8：船舶冷却スプレッドポンプは、船舶冷却スプレッドポンプを備えた炉心冷却により溶融炉心が冷却される手順にて整備する。

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の発生段階	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去付添器	運転中に1次冷却材喪失事故が発生している場合	電動制御給水ポンプ	対策及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>	対応及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>
			タービン駆動給水ポンプ		
			温水ポンプ		
			蒸気発生器又は換熱器による加圧冷却		
			電動給水ポンプ		
			蒸気発生器又は換熱器による加圧冷却		
			蒸気発生器駆動給水ポンプ(電動)系		
			温水ポンプ		
			手動発注がし弁		
			タービンバイパス弁		
蒸気発生器駆動給水ポンプ	運転中に1次冷却材喪失事故が発生している場合	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のブローポートにより原子炉冷却材を供給する手順	原子炉冷却材供給 蒸気発生器2次側のブローポートにより原子炉冷却材を供給する手順 蒸気発生器2次側のブローポートにより原子炉冷却材を供給する手順	対応及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>	対応及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>
		給水車			

※1：「大規模電源」重大事故発生時に原子炉冷却材の供給に際する手順  
 ※2：「タービン駆動給水ポンプ」により整備する。  
 ※3：「手動」は「1次冷却材供給ポンプ」が故障時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。  
 ※4：「手動」は「1次冷却材供給ポンプ」を起動するための手順等)にて整備する。  
 ※5：「重大事故発生時において用いる設備」の分類  
 ※6：「当該表に適合する重大事故等対処設備」 a：17条に適合する重大事故等対処設備 b：17条に適合する重大事故等対処設備 c：目的の対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (9/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故の発生段階	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ又は余熱除去付添器	運転中に1次冷却材喪失事故が発生している場合	電動制御給水ポンプ タービン駆動給水ポンプ 補助給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup>	対策及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>	対応及び設計基準事故に対する運転手順書 SA手順書 <sup>※1</sup>
			管内電線電圧変動監視設備 <sup>※1</sup>		
			電動主給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備		
			電動副給水用高圧ポンプ <sup>※2</sup> 補助給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 管状付設交電機設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		
			可動型大型蒸気ポンプ <sup>※2</sup> 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機 (給水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 <sup>※1</sup> 燃料供給設備 <sup>※1</sup>		

※1：「手動」は「1次冷却材供給ポンプ」が故障時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。  
 ※2：「手動」は「1次冷却材供給ポンプ」が故障時に発電用原子炉を冷却するための手順等)にて整備する。  
 ※3：可動型大型蒸気ポンプ車による給水は蒸気発生器から供給することにより行う。  
 ※4：「給水車」への給注は、空圧蒸気ポンプ又は給水タンクから移送することにより行う。  
 ※5：「重大事故発生時において用いる設備」の分類  
 ※6：「当該表に適合する重大事故等対処設備」 a：17条に適合する重大事故等対処設備 b：17条に適合する重大事故等対処設備 c：目的の対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.4表（1/2）を再掲】

第1.4.4表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 （運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合）（1/2）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	評価分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	高気圧発生漏れを原因とする炉心冷却（注水）による炉心冷却	電動補助給水ポンプ	多様性評価対象	高気圧発生漏れによる炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			積水ピット			
			蒸気発生器			
			電動主給水ポンプ			
			蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順			
			蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順			
余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	高気圧発生漏れを原因とする炉心冷却（注水）による炉心冷却	主蒸気発生器	多様性評価対象	高気圧発生漏れによる炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書	
		タービン駆動主給水ポンプ				
		タービン駆動主給水ポンプ				
蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）による炉心冷却	高気圧発生漏れを原因とする炉心冷却（注水）による炉心冷却	ポンプ室 <sup>b)</sup>	多様性評価対象	ポンプ室を用いた高気圧発生漏れによる炉心冷却（注水）の手順	炉心の密閉機能及び給水の確保を確保するための運転手順書	
		注水車				ポンプ室による高気圧発生漏れへの注水の手順

注1：「1次冷却材喪失」重大事故等発生原因に於ける原子炉冷却材の圧力低下の状態で発生する事象  
 注2：タービン駆動設備等より給水する  
 注3：手順は「1.5 蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）」にて整備する。  
 注4：手順は「1.5 蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）」にて整備する。  
 注5：重大事故等発生原因に於ける炉心冷却設備  
 注6：a) 当該表に記載する重大事故等対応設備 b) AT 中に適する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧（10/22）  
 （1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	評価分類 <sup>a)</sup>	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器	高気圧発生漏れを原因とする炉心冷却（注水）による炉心冷却	主蒸気発生器 タービン駆動主給水ポンプ 蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）の手順	多様性評価対象	高気圧発生漏れによる炉心冷却（注水）の手順	設計及び設計基準事象に対する運転手順書
			タービン駆動主給水ポンプ			
			タービン駆動主給水ポンプ			
			タービン駆動主給水ポンプ			
蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）による炉心冷却	高気圧発生漏れを原因とする炉心冷却（注水）による炉心冷却	ポンプ室 <sup>b)</sup>	多様性評価対象	ポンプ室を用いた高気圧発生漏れによる炉心冷却（注水）の手順	炉心の密閉機能及び給水の確保を確保するための運転手順書	
		注水車				ポンプ室による高気圧発生漏れへの注水の手順

注1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注2：手順は「1.5 蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）」にて整備する。  
 注3：可搬型大型ポンプ車により給水を蒸気発生器2台側へ注水する。  
 注4：高気圧発生漏れ発生時のタービン駆動主給水ポンプは、主蒸気発生器2台側による炉心冷却（注水）を利用する。  
 注5：高気圧発生漏れ発生時に注水を行う場合は高気圧発生器2台側による炉心冷却（注水）により給水を行う。  
 注6：a) 当該表に記載する重大事故等対応設備 b) AT 中に適する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 （女川審査実績の反映）  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.4表 機組喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 （運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合）（2/2）

分類	機組喪失を想定する設計基準事故(設計)設備	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類		
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直電力電源*	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却(注1)	電動補助給水ポンプ	蒸気発生機2台(注2)による炉心冷却(注3)の手順	炉心の著しい損傷及び機組停炉状態に陥る運転手作業		
			空冷式冷却材ポンプ			a	
			タービン駆動給水ポンプ			a,b	
			汲水ポンプ				
			蒸気発生機			空冷式冷却材ポンプ(注4)及び蒸気発生機(注5)による炉心冷却(注6)の手順	S.A.設備 <sup>1)</sup>
			燃料供給機(タンク) <sup>2)</sup>				
			重油タンク <sup>3)</sup>			a	
			タンクローリー <sup>4)</sup>			多様性に要する設備	
			蒸気発生機(燃料供給機)用ポンプ(駆動) <sup>5)</sup>				
			汲水ポンプ			a,b	
注水設備(ポンプ(冷却材供給機) <sup>6)</sup>	主要設備及び機組停炉状態に陥る運転手作業						
ボンプ <sup>7)</sup>	多様性に要する設備						
汲水機		ポンプ機による蒸気発生機への注水の手順	S.A.設備 <sup>8)</sup>				

注1：1次冷却材喪失 重大事故発生時に伴う炉心冷却の低下のための対応に関する事項  
 注2：手順は「1.14 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 注3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 注4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 注5：手順は「1.5 燃料供給機(タンク)の冷却材供給するための手順等」にて整備する。  
 注6：空冷式冷却材ポンプ(注4)及び蒸気発生機(注5)による炉心冷却に関する手順等。手順は「1.14 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 注7：重大事故発生時に伴う炉心冷却の低下に関する事項  
 a：空冷式に適合する空冷式冷却材ポンプ b：貯水に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)

(1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故(設計)設備	対応手段	対処設備	整備する手順等	手順の分類		
サポート系故障時	全交直電力電源	蒸気発生機と冷却材ポンプによる炉心冷却(注1)	タービン駆動給水ポンプ	蒸気発生機2台(注2)による炉心冷却(注3)の手順	炉心の著しい損傷及び機組停炉状態に陥る運転手作業		
			電動補助給水ポンプ			a	
			空冷式冷却材ポンプ			a,b	
			タービン駆動給水ポンプ				
			汲水ポンプ			空冷式冷却材ポンプ(注4)及び蒸気発生機(注5)による炉心冷却(注6)の手順	S.A.設備 <sup>1)</sup>
			蒸気発生機				
			燃料供給機(タンク) <sup>2)</sup>			a	
			重油タンク <sup>3)</sup>			多様性に要する設備	
			タンクローリー <sup>4)</sup>				
			蒸気発生機(燃料供給機)用ポンプ(駆動) <sup>5)</sup>			a,b	
汲水ポンプ	主要設備及び機組停炉状態に陥る運転手作業						
ボンプ <sup>7)</sup>	多様性に要する設備						
汲水機		ポンプ機による蒸気発生機への注水の手順	S.A.設備 <sup>8)</sup>				

\*1：手順は「1.14 電圧の低下に関する手順等」にて整備する。  
 \*2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*3：可動型大型給水ポンプにより炉心を蒸気発生機へ送水する。  
 \*4：蒸気発生機の稼働は、空冷式冷却材ポンプ又は空冷式冷却材ポンプの稼働することにより行う。  
 \*5：重大事故発生時に伴う炉心冷却の低下に関する事項  
 a：空冷式に適合する空冷式冷却材ポンプ b：貯水に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.4表(2/2)を再掲】

第1.4.4表 機組差次を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)

分類	機組差次を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全炉稼働力減降時	高気圧発生時と冷却による炉心冷却（高気圧発生時）	電動補助給水ポンプ	a	炉心の著しい損傷及び機組停炉設備を起動する運転手順書
			空冷式冷却材ポンプ		
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b	
			深井ポンプ		
			高気圧発生時	a	
			燃料供給調整システム		
			重油タンク	a	
			タンクローリー		
			高気圧発生時補助給水ポンプ（駆動）	a	
			深井ポンプ		
機組差次を想定する設計基準事故対応設備	機組差次を想定する設計基準事故対応設備	高気圧発生時と冷却による炉心冷却（高気圧発生時）	主蒸気過熱し弁（両機）	a,b	炉心の著しい損傷及び機組停炉設備を起動する運転手順書
			ポンプ		
機組差次を想定する設計基準事故対応設備	機組差次を想定する設計基準事故対応設備	高気圧発生時と冷却による炉心冷却（高気圧発生時）	ポンプ	a	炉心の著しい損傷及び機組停炉設備を起動する運転手順書
			送水車		

※1：重大事象等 重大事象等発生時に1次冷却材圧力バウンダリを維持するための活動に要する設備  
 ※2：手順は「1.14 機組差次発生時」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.2 炉心冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.3 高気圧発生時（両機）を制御するための手順等」にて整備する。  
 ※5：手順は「1.5 燃料供給調整システムを起動するための手順等」にて整備する。  
 ※6：空冷式冷却材ポンプは燃料供給調整システムに使用する。手順は「1.14 機組差次発生時」にて整備する。  
 ※7：重大事象等発生時に1次冷却材圧力バウンダリを維持するための活動に要する設備  
 a：空冷式に適合する重大事象等対応設備 b：27条に適合する重大事象等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事象等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (12/22)  
 (1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機組差次を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順等	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全炉稼働力減降時	高気圧発生時と冷却による炉心冷却（高気圧発生時）	主蒸気過熱し弁*1 高気圧発生時 2次冷却材設備（主蒸気設備）配管・弁	a, b	炉心の著しい損傷及び機組停炉設備を起動する運転手順書
			可動型空冷式ポンプ*2*3*4*5 可動型ボイラ・凝縮機 ボイラ・凝縮機・送水車（送水車用） 高気圧発生時 2次冷却材設備（冷却水設備）配管・弁 2次冷却材設備（燃料供給設備）配管・弁 2次冷却材設備（主蒸気設備）配管・弁 高気圧発生時 燃料供給設備*6		
			電動補助給水ポンプ 補助給水ポンプ 高気圧発生時 2次冷却材設備（冷却水設備）配管・弁 2次冷却材設備（燃料供給設備）配管・弁 2次冷却材設備（主蒸気設備）配管・弁 高気圧発生時 燃料供給設備*6	c	
			深井ポンプ 空冷式冷却材ポンプ*7 炉内冷却材循環式冷却材設備*8		

\*1：手順は「1.2 炉心の冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。  
 \*2：手順は「1.3 高気圧発生時（両機）を制御するための手順等」にて整備する。  
 \*3：可動型空冷式ポンプにより炉心を冷却する。  
 \*4：高気圧発生時2次冷却材のポンプ・凝縮機・送水車（送水車用）を使用する。  
 \*5：高気圧発生時2次冷却材のポンプ・凝縮機・送水車（送水車用）を使用する。  
 \*6：高気圧発生時2次冷却材のポンプ・凝縮機・送水車（送水車用）を使用する。  
 \*7：手順は「1.14 機組差次発生時」にて整備する。  
 \*8：重大事象等発生時に1次冷却材圧力バウンダリを維持するための活動に要する設備  
 a：自主的対策として整備する重大事象等対応設備 b：27条に適合する重大事象等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事象等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系機器喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	整備する手順書	手順の分類			
運転停止中の報告	余熱除去ポンプ又は余熱除去弁	中心注水	入：既定注入ポンプ	a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書		
			燃料貯蔵用本ポンプ				
			放水ポンプ				
			電圧タンク				
			ほう酸ポンプ				
			ほう酸タンク				
			1次系補給水ポンプ				
			1次系補給水タンク				
			燃料貯蔵用本ポンプ (電力注水)			a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書
			A格納貯留スプレッドポンプ (取付及S-CSSS連絡ライン使用)				
			施設付貯留注水ポンプ				
			空冷式冷却用本ポンプ				
燃料貯蔵用本ポンプ							
放水ポンプ							
燃料貯蔵タンク							
重油タンク							
タンクローリ							
電動機注水ポンプ	a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書					
ディーゼル注入ポンプ							
N.O. 2次水タンク							
可搬式冷却注水ポンプ							
可搬式冷却注水ポンプ用							
可搬式冷却注水ポンプ							
送水車							
燃料貯蔵タンク							
重油タンク							
タンクローリ							
電動機注水ポンプ							
再始動			再始動	再始動	既定注入ポンプ	a	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書
	燃料貯蔵用本ポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプスクリーン						
	A格納貯留スプレッドポンプ (取付及S-CSSS連絡ライン使用)						
	A格納貯留スプレッドポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプスクリーン						

※1：1次系冷却用 重大事故等対応手段として整備する設備(可搬式冷却注水ポンプ)に関する事項  
 ※2：タンクローリ等により整備する  
 ※3：手順は「1.4.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：空冷式冷却用本ポンプ(燃料貯蔵用)に関する事項は「1.4.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※5：可搬式冷却注水ポンプにより炉心注水する場合に備える事項。  
 ※6：可搬式冷却注水ポンプ(燃料貯蔵用)に関する事項は「1.4.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※7：送水車の燃料貯蔵に使用する設備のものとする。手順は「1.4.6 原子炉降圧設備内の冷却材の供給」にて整備する。  
 ※8：重大事故等対応に使用する設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順の分類		
運転停止中の報告	余熱除去ポンプ又は余熱除去弁	中心注水	既定注入ポンプ	a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書		
			燃料貯蔵用本ポンプ				
			放水ポンプ				
			電圧タンク				
			ほう酸ポンプ				
			ほう酸タンク				
			1次系補給水ポンプ				
			1次系補給水タンク				
			燃料貯蔵用本ポンプ (電力注水)			a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書
			A格納貯留スプレッドポンプ (取付及S-CSSS連絡ライン使用)				
			施設付貯留注水ポンプ				
			空冷式冷却用本ポンプ				
燃料貯蔵用本ポンプ							
放水ポンプ							
燃料貯蔵タンク							
重油タンク							
タンクローリ							
電動機注水ポンプ	a,b	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書					
ディーゼル注入ポンプ							
N.O. 2次水タンク							
可搬式冷却注水ポンプ							
可搬式冷却注水ポンプ用							
可搬式冷却注水ポンプ							
送水車							
燃料貯蔵タンク							
重油タンク							
タンクローリ							
電動機注水ポンプ							
再始動			再始動	再始動	既定注入ポンプ	a	炉心の著しい過熱及び降圧設備故障を防止する運転手順書
	燃料貯蔵用本ポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプスクリーン						
	A格納貯留スプレッドポンプ (取付及S-CSSS連絡ライン使用)						
	A格納貯留スプレッドポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプ						
	燃料貯蔵用本ポンプスクリーン						

※1：手順は「1.4.4 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等対応に使用する設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順（運転停止中のフロントライン系故障時）(1/2)

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順の分類. It details various equipment like pumps and valves and their associated procedures for different accident scenarios.

注1：「大阪発電所」重大事故発生時に「注1」を「注2」が適用される場合の対応に関する事項。  
注2：「プーセル」事故後により補償。  
注3：「手順」は「1.14」電源の確保に関する手順等にて整備する。  
注4：「注5」は「1.14」電源の確保に関する手順等にて整備する。  
注5：「手順」は「1.5」最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等にて整備する。  
注6：「手順」は「1.13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注7：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注8：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注9：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注10：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注11：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注12：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注13：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/9)（発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）

Table with 4 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 手順書. It provides a summary of response procedures for various equipment failures during reactor shutdown.

注1：「手順」は「1.13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等にて整備する。  
注2：「手順」は「1.14」電源の確保に関する手順等にて整備する。  
注3：「手順」は「1.5」最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等にて整備する。  
注4：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注5：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注6：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。

対応手段、対処設備、手順書一覧(14/22)

（発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時）

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備, 対応手段, 対処設備, 整備する手順書, 手順書の分類. It provides a detailed summary of response procedures for various equipment failures during reactor shutdown.

注1：「手順」は「1.14」電源の確保に関する手順等にて整備する。  
注2：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注3：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。  
注4：「注13」重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】(b)項を満足するための代替冷却水（措置）にて整備する。

【大阪】  
記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
・泊は流路及び給電に使用される設備を記載  
・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

【比較のため、第1.4.5.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応の設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系故障時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応の設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	整備の分類	
運転停止中の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止

注1：「運転停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注2：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注3：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注4：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注5：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注6：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注7：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注8：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注9：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注10：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注11：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注12：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧(15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応の設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	整備の分類	
運転停止中の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止 冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止
			冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	冷却材ポンプ停止	運転停止
			冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	冷却材ポンプ故障	運転停止

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

※1：運転停止ボタンは、運転停止ボタンを押下して行う。  
 ※2：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順」にて整備する。  
 ※3：「1.4 運転停止ボタンを押下して行う」は、運転停止ボタンを押下して行う。  
 ※4：運転停止ボタンを押下して行う。注5：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注6：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注7：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注8：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注9：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注10：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。注11：「冷却材ポンプ故障」は、運転停止ボタンを押下して行う。注12：「冷却材ポンプ停止」は、運転停止ボタンを押下して行う。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.5 表 損傷喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系機組喪失時) (2/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の概要	対応設備	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の進行	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ母管	電動機冷却水ポンプ*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書	
		タービン駆動冷却水ポンプ			
		復水ピット			
		蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		電動主給水ポンプ			
		脱気器タンク			
		蒸気発生器補給用設計中ポンプ(電動)†	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		復水ピット			
		主家取込給り弁			
		タービンバイパス弁	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		ポンプ車*			
		送水車			

※1：大阪発電所、重大事象等発生時に用いる原子炉冷却材ポンプの機組喪失時の対応(取水)に関する手順  
 ※2：タービン駆動設備により駆動する。  
 ※3：手順は「1」の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1」の最終シフトシフト機を駆動するための手順等」にて整備する。  
 ※5：重大事象発生時に用いている設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事象等対応設備 b：37号に適合する重大事象等対応設備 c：自目的対策として整備する重大事象等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (16/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故の概要	対応設備	整備する手順書	手順書の位置	
運転停止中の進行	冷却材ポンプ又は冷却材ポンプ母管	電動機冷却水ポンプ*	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書	
		タービン駆動冷却水ポンプ			
		復水ピット			
		蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		電動主給水ポンプ			
		脱気器タンク			
		蒸気発生器補給用設計中ポンプ(電動)†	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		復水ピット			
		主家取込給り弁			
		タービンバイパス弁	多様な対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(取水)の手順	炉心の高い機組及び機組停断設備を停止する運転手順書
		ポンプ車*			
		送水車			

※1：手順は「1」の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1」の冷却材ポンプ母管による炉心冷却(取水)の手順等」にて整備する。  
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により取水を蒸気発生器に注入する。  
 ※4：取水機への補給は、2次送水タンク又はろ過タンクから移送することにより行う。  
 ※5：重大事象発生時に用いている設備の分類  
 a：当該事故に適合する重大事象等対応設備 b：37号に適合する重大事象等対応設備 c：自目的対策として整備する重大事象等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順  
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	全熱源系設備 又は 全熱源系系設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ <sup>a</sup>	重事故等対処設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			タービン駆動補助給水ポンプ				
			潜水ポンプ				
			蒸気発生機				
			電動主給水ポンプ				
			脱気器タンク				
		蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	多様性による設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	SA関連 <sup>c</sup>
			潜水ポンプ				
			潜水ポンプ				
		蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)	重事故等対処設備	蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)の手順	重事故等対処設備	蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)の手順	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			タービン駆動ポンプ				
			タービン駆動ポンプ				
蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	多様性による設備	ポンプ車を用いた蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	多様性による設備	ポンプ車を用いた蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
	ポンプ車 <sup>d</sup>						
	潜水車						

※1：大阪発電所、重事故等対処設備に「注水ポンプ駆動の稼働のための起動に関する手順」  
 ※2：タービン駆動ポンプ(注水)より設備する。  
 ※3：手順は「1.5 蒸気発生機圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.5 潜水ポンプ駆動による炉心冷却のための手順等」にて整備する。  
 ※5：重事故等対処設備において用いる設備の分類  
 a：当該設備に適合する重事故等対処設備 b：当該設備に適合する重事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(17/22)  
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	全熱源系設備 又は 全熱源系系設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ <sup>a</sup>	重事故等対処設備	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順
			タービン駆動補助給水ポンプ		
			潜水ポンプ		
蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	多様性による設備	蒸気発生機補助給水設計中ポンプ(電動) <sup>b</sup>	SA関連 <sup>c</sup>
			潜水ポンプ		
			潜水ポンプ		
蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)	重事故等対処設備	蒸気発生機1次側による炉心冷却(注水)の手順	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			タービン駆動ポンプ		
			タービン駆動ポンプ		
蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)	多様性による設備	ポンプ車を用いた蒸気発生機2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の新しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ポンプ車 <sup>d</sup>		
			潜水車		

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.5 最終システム-熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可溶性気体ポンプ車により海水を蒸気発生機-注水する。  
 ※4：蒸気発生機は従来のタービン駆動ポンプより、注水ポンプラインを使用する。  
 ※5：蒸気発生機-海水が注入される場合は蒸気発生機ブローダウンラインにより給水を行う。  
 ※6：重事故等対処設備において用いる設備の分類  
 a：当該設備に適合する重事故等対処設備 b：当該設備に適合する重事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重事故等対処設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機組発火を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機組発火時) (1/2)

分類	機組発火を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の機組発火時	全交流電力電断時	代替冷却水循環(①)	燃料供給用ポンプ(重力注水)	燃料供給用ポンプ(重力注水)を用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組発火発生後、機組停止を指示し、機組停止後、燃料供給用ポンプの運転再開する
			重圧タンク	重圧タンクを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、重圧タンクを運転再開する
			冷却材循環用ポンプ	冷却材循環用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材循環用ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
運転停止中の機組発火時	全交流電力電断時	代替冷却水循環(②)	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する

対応手段、対応設備、手順書一覧 (8/9)  
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機組発火を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	手順書
フロントライン系故障	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.15 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】15)項を満足するための代替冷却水(措置)  
 ※5：冷却材供給用ポンプ(重力注水モード)は熱交換機に接続して、熱交換機は冷却としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (18/22)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組発火を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する
			冷却材供給用ポンプ	冷却材供給用ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材供給用ポンプの運転再開する
			冷却材ポンプ	冷却材ポンプを用いた代替冷却水による原子炉冷却する手順	機組停止後、冷却材ポンプの運転再開する

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：重大事故等の収束に必要な水の供給手順等【解説】15)項を満足するための代替冷却水(措置)  
 ※3：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：BWR固有の設備として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転停止中のサポート系機組喪失時）(1/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
サポート系機組喪失時	全交流動力電源*	代替電源確保(α)	燃料冷却用ポンプ(重力注水)	燃料冷却用ポンプ(重力注水)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			蓄電タンク	蓄電タンクを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			加圧式非常用発電機駆動機	加圧式非常用発電機駆動機を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			非常用ポンプ(自己充満)	非常用ポンプ(自己充満)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			後水ポンプ	後水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			タンクローリール	タンクローリールを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			代替電源確保(β)	大容量蓄電システム(自己充満)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			ジェネラール光ポンプ	ジェネラール光ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			Fi、2. 後水ポンプ	Fi、2. 後水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			可搬式代替注水ポンプ	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			代替電源確保(γ)	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
代替電源確保(δ)	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応			

注1：「大事故発生時」重大事故発生時における原子炉冷却の緊急対応の取組に関する事項  
 注2：手順は「1.14 電網の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注3：空気の確保は機組喪失時の初期対応に関する事項。手順は「1.14 電網の確保に関する手順等」にて整備する。  
 注4：可搬式代替注水ポンプにより注水する場合は後水を発生する。  
 注5：燃料冷却用ポンプ(燃料注水ポンプ)用の燃料油槽に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応」にて整備する。  
 注6：全交流動力電源の喪失を想定する設計基準事故(機組喪失時)の対応手段として整備する。  
 注7：大容量蓄電システムの燃料油槽に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応」にて整備する。  
 注8：手順は「1.13 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 注9：重大事故発生時において用いる設備の分類  
 α：機組喪失に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(9/9)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障時	全交流動力電源	代替電源確保(α)	原子炉補機代替冷却水系 ※3 事故代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(フランク停止中) 「原子炉補機喪失発生時」 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却母管」
	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却母管を含む。)	代替電源確保(β) 代替電源確保(γ) 代替電源確保(δ)	残留熱除去系ポンプ 原子炉圧力容器 残留熱除去系熱交換器 原子炉再循環系 原子炉補機冷却母管(原子炉補機冷却母管を含む。)* ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書(設備別) 非常時操作手順書(設備別) 非常時操作手順書(設備別)

※1：手順は「1.13 重大事故等の発生時に必要となる水の供給手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.14 電網の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※4：「1.13 重大事故等の発生時に必要となる水の供給手順等」【解釈】(b)を満たすための代替注水(措置)  
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は減圧としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧(19/22)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
サポート系故障時	全交流動力電源	代替電源確保(α)	燃料冷却用ポンプ(重力注水)	燃料冷却用ポンプ(重力注水)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			蓄電タンク	蓄電タンクを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			加圧式非常用発電機駆動機	加圧式非常用発電機駆動機を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			非常用ポンプ(自己充満)	非常用ポンプ(自己充満)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			後水ポンプ	後水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			重油タンク等	重油タンク等を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			タンクローリール	タンクローリールを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			代替電源確保(β)	大容量蓄電システム(自己充満)を用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			燃料冷却用ポンプ	燃料冷却用ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			ジェネラール光ポンプ	ジェネラール光ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			Fi、2. 後水ポンプ	Fi、2. 後水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			可搬式代替注水ポンプ	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
			代替電源確保(γ)	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応
代替電源確保(δ)	可搬式代替注水ポンプを用いた代替注水による原子炉を冷却する手順	機組喪失発生時の初期対応			

※1：可搬式代替注水ポンプにより注水する場合は後水を発生する。  
 ※2：手順は「1.14 電網の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※3：燃料冷却の補給は、2次系熱水タンク又は3次系熱水タンクから補給することにより行う。  
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。  
 ※5：c、d、eは燃料冷却用ポンプ(燃料注水ポンプ)による燃料油槽の燃料油槽に使用する。手順は「1.6 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応」にて整備する。  
 ※6：重大事故発生時において用いる設備の分類  
 α：機組喪失に適合する重大事故等対応設備 b：対応に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順  
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	全交流動力電源喪失	蒸気発生器と冷却材ポンプの停止による炉心の冷却不能	電動補給給水ポンプ	重大事故対策対応設備	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 空冷式非常用発電機群の燃料供給の手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>1)</sup>	
			タービン駆動補給給水ポンプ				
			蒸気ポンプ				
			蒸気発生器				
			燃料供給ポンプ				
			蒸気タンク				
		炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>2)</sup>
			蒸気ポンプ				
			蒸気発生器				
			燃料供給ポンプ				
			蒸気タンク				
			タンクローリー				
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>3)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>4)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>5)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>6)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>7)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>8)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						

※1：「大阪発電所」重大事故対策生蒸器において炉心の冷却不能の事態に際する所準  
 ※2：手順は「1.4.6 蒸気発生器の運転」にて整備する。  
 ※3：空冷式非常用発電機群の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※5：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※6：手順は「1.5 最終ドレーンポンプを運転するための手順等」にて整備する。  
 ※7：重大事故対策において用いた設備の分類  
 a：炉心の冷却不能を想定する重大事故対策対応設備 b：炉心に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類		
運転停止中の場合	全交流動力電源喪失	蒸気発生器と冷却材ポンプの停止による炉心の冷却不能	タービン駆動補給給水ポンプ	重大事故対策対応設備	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 空冷式非常用発電機群の燃料供給の手順	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>1)</sup>	
			タービン駆動補給給水ポンプ				
			蒸気ポンプ				
			蒸気発生器				
			燃料供給ポンプ				
			蒸気タンク				
		炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>2)</sup>
			蒸気ポンプ				
			蒸気発生器				
			燃料供給ポンプ				
			蒸気タンク				
			タンクローリー				
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>3)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>4)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>5)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>6)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						
炉心の冷却不能	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	多様性設備	高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	高気圧生蒸器2台(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転 高気圧生蒸器停止装置(炉心冷却用)の運転	炉心の著しい損傷及び燃料貯留設備を防止する運転手順書 S/A所準 <sup>7)</sup>		
	蒸気ポンプ						
	蒸気発生器						
	燃料供給ポンプ						
	蒸気タンク						
	タンクローリー						

※1：手順は「1.4 電圧の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 ※3：可動型大型生蒸器ポンプ群により取水を高気圧生蒸器に供給する。  
 ※4：重大事故対策において用いた設備の分類  
 a：炉心の冷却不能を想定する重大事故対策対応設備 b：炉心に適合する重大事故対策対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故対策対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】  
 設備の相違(相違理由①)



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(2/2)を再掲】

第1.4.6表 機組喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転停止中のサポート系機組喪失時）(2/2)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交直断力電圧*	機組停止中のサポート系機組喪失時	強制冷却ポンプ	重大事故等対応設備	機組停止中のサポート系機組喪失時	S A所達 <sup>2)</sup>
			空冷式非常用発電機 <sup>3)</sup>			
			タービン駆動冷却水ポンプ			
			緊急ポンプ			
			緊急発生器			
			燃料冷却ポンプ	多様な設備	S A所達 <sup>2)</sup>	
			燃料冷却ポンプ			
			重油タンク			
			タンクローリー			
			緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>			
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>	多様な設備	S A所達 <sup>2)</sup>				
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>	多様な設備	S A所達 <sup>2)</sup>				
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>	多様な設備	S A所達 <sup>2)</sup>				
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>	多様な設備	S A所達 <sup>2)</sup>				
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						
緊急発生器補助用圧力ポンプ(電動) <sup>4)</sup>						

注1：大阪発電所、直に事故発生時に用いる原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等に関する事項  
 注2：手順は「1.4 機組停止中のサポート系機組喪失時」にて整備する。  
 注3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.4 機組停止中のサポート系機組喪失時」にて整備する。  
 注4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 注5：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 注6：手順は「1.5 燃料ローディング機を搬送するための手順等」にて整備する。  
 注7：重大事故等発生時に用いる設備の分類  
 a：機組停止中に適合する重大事故等対応設備 b：正常に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (21/22)  
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機組喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	全交直断力電圧*	機組停止中のサポート系機組喪失時	可搬型大型送水ポンプ <sup>1)</sup> 等 可搬型ボース・後継 <sup>2)</sup> 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	自主的対策設備	機組停止中のサポート系機組喪失時	機組停止中のサポート系機組喪失時
			可搬型大型送水ポンプ <sup>1)</sup> 等 可搬型ボース・後継 <sup>2)</sup> 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等			
			可搬型大型送水ポンプ <sup>1)</sup> 等 可搬型ボース・後継 <sup>2)</sup> 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等			
			可搬型大型送水ポンプ <sup>1)</sup> 等 可搬型ボース・後継 <sup>2)</sup> 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等			

\*1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*2：手順は「1.4 機組停止中のサポート系機組喪失時」にて整備する。  
 \*3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*4：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。  
 \*5：手順は「1.5 燃料ローディング機を搬送するための手順等」にて整備する。  
 \*6：可搬型大型送水ポンプは原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等にて整備する。  
 \*7：緊急発生器2次側のモータードレンは、主高圧ドレンラインを使用する。  
 \*8：緊急発生器1次側水圧を維持する場合は緊急発生器ドレンラインにより排水を行う。  
 \*9：重大事故等発生時に用いる設備の分類  
 a：当該表と適合する重大事故等対応設備 b：正常に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載  
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>対応手段、対処設備、手順書一覧（22/22）</p> <p>（発電用原子炉停止中のサポート系故障時）</p> <table border="1" data-bbox="1370 486 2013 1125"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>機設備を想定する設計基準事故対処設備</th> <th>対応手段</th> <th>対処設備</th> <th>設備分類※1</th> <th>整備する手順書</th> <th>手順書の分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">サポート系故障</td> <td rowspan="3">発電用原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応手段</td> <td rowspan="3">1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視</td> <td>1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> </tr> <tr> <td>1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> </tr> <tr> <td>1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> <td>保安監視員による監視</td> </tr> </tbody> </table>	分類	機設備を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類	サポート系故障	発電用原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応手段	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・泊は、復旧の対応手段を整理している。</p>
分類	機設備を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類※1	整備する手順書	手順書の分類																			
サポート系故障	発電用原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応手段	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視																			
			1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視																			
			1. 保安監視員による監視 2. 保安監視員による監視 3. 保安監視員による監視 4. 保安監視員による監視 5. 保安監視員による監視 6. 保安監視員による監視 7. 保安監視員による監視 8. 保安監視員による監視 9. 保安監視員による監視 10. 保安監視員による監視 11. 保安監視員による監視 12. 保安監視員による監視 13. 保安監視員による監視 14. 保安監視員による監視 15. 保安監視員による監視 16. 保安監視員による監視 17. 保安監視員による監視 18. 保安監視員による監視 19. 保安監視員による監視 20. 保安監視員による監視 21. 保安監視員による監視 22. 保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視	保安監視員による監視																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.7表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水				
(a) A、B充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計	
		未境界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・中間領域中性子束計
			中性子源領域中性子束計	・中性子源領域中性子束計
中間領域起動率計			・中間領域起動率計	
水源の確保		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・燃料取替用水ビット水位計 ・復水ビット水位計 ・ほう酸タンク水位計 ・1次系純水タンク水位計(CRT)	

第1.4-2表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧 (1/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書（置換ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		4-2# 母線電圧 4-2# 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 復水貯蔵タンク水位
	操作	原子炉圧力容器内の水位
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA) 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系洗浄ライン流量) （残留熱除去系系格納容器冷却ライン洗浄流量） 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位

第1.4.2表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧 (1/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水			
(a) 充てんポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位
		原子炉圧力容器内の水位	・高圧注入流量 ・低圧注入流量
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・燃料取替用水ビット水位 ・1次系純水タンク水位 ・ほう酸タンク水位
		水源の確保	・高圧注入ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・原子炉水位
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 ・1次系純水タンク水位
		水源の確保	・復水流量 ・1次系純水タンク水位
		補機監視機能	・充てんライン圧力



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																							
<p>監視計器一覧（2/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・原子炉水位計 ・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能		・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧（2/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（微候ベーク） 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（設備明） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電解の確報</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>海水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>海水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（微候ベーク） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（設備明） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電解の確報	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	水源の確保		海水貯蔵タンク水位	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力	水源の確保		海水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧（2/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・充てん流量</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位 ・原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・充てん流量	水源の確保		・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・燃料取替用水ビット水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位	原子炉格納容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位（広域）	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																										
b. 代替炉心注水																																																																																																																										
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の注水量	・充てん水流量計																																																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）																																																																																																																							
	水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																							
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計																																																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計（広域）																																																																																																																							
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																								
補機監視機能		・A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																								
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																								
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																										
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																										
a. 低圧代替注水																																																																																																																										
(b) 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水																																																																																																																										
非常時操作手順書（微候ベーク） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																																								
非常時操作手順書（設備明） 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電解の確報	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																																																								
水源の確保		海水貯蔵タンク水位																																																																																																																								
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（装置域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																																																								
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																								
	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																								
	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																								
	水源の確保		海水貯蔵タンク水位																																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																										
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																										
b. 代替炉心注水																																																																																																																										
(a) B-格納容器スプレイポンプ (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の注水量	・加圧器水位																																																																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	・充てん流量																																																																																																																							
	水源の確保		・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																							
	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位																																																																																																																							
		原子炉格納容器内の注水量	・B-格納容器スプレイ流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																																																							
原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプル水位（広域）																																																																																																																								
水源の確保		・燃料取替用水ビット水位																																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																												
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>電網の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	電網の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																																																															
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																													
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																													
(b) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																												
		未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																											
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																											
			水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																											
		電源	・ 空冷式非常用発電装置 電力計、周波数計																																																																																																																												
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																											
		1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																													
		(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																													
		a. 低圧代替注水																																																																																																																													
c. 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																															
非常時操作手順書 (微減ベーク) 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
		電網の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																												
		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																												
操作	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																													
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																													
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																													
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																													
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																																																															
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																															
b. 代替炉心注水																																																																																																																															
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																													
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)																																																																																																																													
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																													
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																													
(b) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																												
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																												
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																												
		未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																											
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																											
			水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																												
		電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ 6-A、B母線電圧																																																																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																				
<p>監視計器一覧（4/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(e) 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	<p>監視計器一覧（4/20）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>代替普通冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位</td> <td>代替普通冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）	最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位	水源の確保	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉压力容器への注水量	代替普通冷却ポンプ出口流量	格納容器再循環サンプ水位	代替普通冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力制御室水位		<p>監視計器一覧（4/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																					
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子領域起動率計																																																																																																																				
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																					
水源の確保		・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																																																																					
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																							
(d) 代替普通冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																							
非常時操作手順書（備後ベース） 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																					
非常時操作手順書（設備別） 「代替普通冷却ポンプによる原子炉注水」	判断基準	4-2C 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																				
		電源の確保	原子炉機械冷却水系系統流量（A系のみ） 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量（A系のみ）																																																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	圧力制御室水位																																																																																																																				
		水源の確保	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																				
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																																																					
	原子炉压力容器への注水量	代替普通冷却ポンプ出口流量																																																																																																																					
	格納容器再循環サンプ水位	代替普通冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																					
水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																							
b. 代替炉心注水																																																																																																																							
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																					
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																					
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域—高温側） ・ 1次冷却材温度（広域—低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																				
		原子炉压力容器内の注水量	・ AM用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子領域起動率																																																																																																																				
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																					
水源の確保		・ ろ過水タンク水位																																																																																																																					



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																	
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保 水源の確保</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉注水量 格納容器再循環サンプ水位 ろ過水ポンプ出口圧力 ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	電源の確保 水源の確保		操作	原子炉压力容器内の水位		原子炉压力容器内の圧力 原子炉注水量 格納容器再循環サンプ水位 ろ過水ポンプ出口圧力 ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) 蓄水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>未臨界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	(d) 蓄水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																				
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																		
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																		
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																		
	(d) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																	
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																	
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																	
		未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																	
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																		
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																				
(a) ろ過水ポンプによる原子炉压力容器への注水																																																																																																				
非常時操作手順書 (麼候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉压力容器内の水位																																																																																																		
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		電源の確保 水源の確保																																																																																																		
	操作	原子炉压力容器内の水位																																																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉注水量 格納容器再循環サンプ水位 ろ過水ポンプ出口圧力 ろ過水タンク水位																																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																				
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																		
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																		
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																		
	(d) 蓄水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																	
		原子炉压力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																	
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																	
		原子炉压力容器内の注水量	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																	
		未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																	
原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>		<p>監視計器一覧 (6/61)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">対応手段</th> <th style="width:25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width:50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">未臨界の維持又は監視</td> <td rowspan="4"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">水源の確保</td> <td rowspan="2"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次系純水タンク水位</li> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>	操作	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>	未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>	水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次系純水タンク水位</li> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul>	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水																																								
判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>																																						
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>																																					
原子炉压力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																						
原子炉压力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul>																																						
原子炉压力容器内の注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>																																						
未臨界の維持又は監視			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>																																					
原子炉格納容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>																																						
水源の確保			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次系純水タンク水位</li> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul>																																					
	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>			<p>監視計器一覧 (7/61)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:25%;">対応手段</th> <th style="width:25%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width:50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">未臨界の維持又は監視</td> <td rowspan="4"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">水源の確保</td> <td rowspan="2"></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次系純水タンク水位</li> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>	操作	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>	未臨界の維持又は監視		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>	水源の確保	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替初心注水																																								
判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>																																						
	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>																																						
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 初心出口温度</li> </ul>																																					
原子炉压力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																						
原子炉压力容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> </ul>																																						
原子炉压力容器内の注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量</li> </ul>																																						
未臨界の維持又は監視			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出力領域中性子束</li> <li>・ 中間領域中性子束</li> <li>・ 中性子源領域中性子束</li> <li>・ 中間領域起動率</li> </ul>																																					
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中性子源領域起動率</li> </ul>																																					
原子炉格納容器内の水位		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>																																						
水源の確保			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2次系純水タンク水位</li> <li>・ ろ過水タンク水位</li> </ul>																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧 (6 / 48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水機</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水機	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (8/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水機	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手段																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																												



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																											
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1" data-bbox="116 459 698 1141"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能		・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 561 1998 1088"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td colspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）	原子炉格納容器内の水位	・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																														
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																											
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																											
		原子炉压力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																											
補機監視機能		・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																														
(a) B一格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											
	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ吐出圧力																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																											
		原子炉压力容器内への注水量	・ B一格納容器スプレイ流量 ・ B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（順用）																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ B一格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1" data-bbox="116 486 703 1114"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 486 2002 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																						
		補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																					
			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
		1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器内への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																						
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																						
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																					
			操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
				原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量																																																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位計（CRT） ・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・体積制御タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計	最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計	・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計	水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計	・復水ビット水位計	・ほう酸タンク水位計	・1次系純水タンク水位計（CRT） ・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・体積制御タンク水位計（CRT）	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧 (11/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（広域） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">操作</td> <td>・燃料取扱用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・2次系純水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・使用済燃料ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・体積制御タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>・ほう酸補給ライン流量</td> </tr> <tr> <td>・ほう酸補給ライン流量積算計</td> </tr> <tr> <td>・1次系純水補給ライン流量積算計</td> </tr> <tr> <td>・ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>・高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・格納容器水位	最終ヒートシンクの確保	操作	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（広域） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量計	水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位	・1次系純水タンク水位	・2次系純水タンク水位	・使用済燃料ビット水位	・ほう酸タンク水位	・体積制御タンク水位	補機監視機能	操作	・ほう酸補給ライン流量	・ほう酸補給ライン流量積算計	・1次系純水補給ライン流量積算計	・ろ過水タンク水位	補機監視機能	操作	・高圧注入ポンプ出口圧力	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																											
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																																								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・原子炉水位計																																																																																								
		原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																								
		原子炉圧力容器内への注水量	・高圧注入流量計 ・余熱除去流量計																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計																																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	操作	・A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																							
				・AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																							
				・主蒸気圧力計																																																																																							
				・蒸気発生器水位計（狭域） ・蒸気発生器補助給水流量計																																																																																							
		水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位計																																																																																							
				・復水ビット水位計																																																																																							
				・ほう酸タンク水位計																																																																																							
・1次系純水タンク水位計（CRT） ・N.o. 3 淡水タンク水位計（CRT） ・N.o. 2 淡水タンク水位計（CRT） ・体積制御タンク水位計（CRT）																																																																																											
補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																											
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																											
d. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器内への注水量	・格納容器スプレイ流量計																																																																																								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																								
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力（AM用）																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンブ水位（広域） ・格納容器水位																																																																																								
		最終ヒートシンクの確保	操作	・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（広域） ・C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																							
				・主蒸気ライン圧力																																																																																							
				・蒸気発生器水位（狭域）																																																																																							
				・補助給水流量計																																																																																							
		水源の確保	操作	・燃料取扱用水ビット水位																																																																																							
				・1次系純水タンク水位																																																																																							
				・2次系純水タンク水位																																																																																							
				・使用済燃料ビット水位																																																																																							
				・ほう酸タンク水位																																																																																							
				・体積制御タンク水位																																																																																							
補機監視機能	操作	・ほう酸補給ライン流量																																																																																									
		・ほう酸補給ライン流量積算計																																																																																									
		・1次系純水補給ライン流量積算計																																																																																									
		・ろ過水タンク水位																																																																																									
補機監視機能	操作	・高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																									
		・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																																									



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・恒設代替低圧注水機算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替伊心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・恒設代替低圧注水機算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)		操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (12/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替伊心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替伊心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量		原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)		操作	1.4.2.1(1) b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】          設備の相違          (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																											
a. 代替伊心注水																																																																																											
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替伊心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																																								
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																									
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																										
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替伊心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・炉心出口温度計																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計																																																																																								
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・恒設代替低圧注水機算流量計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																																								
		原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																																									
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																											
a. 代替伊心注水																																																																																											
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																																								
		電源	・消転線 1L、2L電圧 ・後志巻線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																								
	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																									
		原子炉補機冷却水供給母管流量 (取用)																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																									
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (取用)																																																																																									
		操作	1.4.2.1(1) b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																								
大阪 3 / 4号炉との比較対象なし																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (11/48)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替炉心注水積算流量計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）							
		水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計							
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）							
監視計器一覧 (12/48)										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水										
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計							
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計							
		原子炉圧力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計							
		原子炉圧力容器内への注水量	・充てん水流量計							
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計							
		水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位計 ・復水ピット水位計							
		補機冷却	・B充てんポンプ封水冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計							
		監視計器一覧 (13/61)								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水										
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度							
			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
				原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位					
		原子炉格納容器内への注水量			・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量					
			原子炉格納容器内の水位		・格納容器再循環サンプ水位（広域）					
				水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位					
		電源			・消給線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-1A、6、7、8、9、10、11、12、13母線電圧					
			補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（加用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（加用）					
				操作	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度				
		原子炉圧力容器内の圧力			・1次冷却材圧力（広域）					
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位							
		補機冷却	原子炉格納容器内への注水量	・充てん流量						
原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）									
水源の確保	・燃料取扱用水ピット水位 ・B-充てんポンプ冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧（13/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能	・ 充てん水圧力計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		<p>監視計器一覧（14/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) B-格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・ 消幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) B-格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	電源	・ 消幹線1L、2L電圧	・ 機志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	補機監視機能	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 充てんライン圧力	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（適用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機冷却	・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量	・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																							
a. 代替炉心注水																																																																																							
(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん水流量計																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																				
		補機監視機能	・ 充てん水圧力計																																																																																				
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																				
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																				
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																							
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																							
a. 代替炉心注水																																																																																							
(e) B-格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 充てん流量																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																				
		電源	・ 消幹線1L、2L電圧																																																																																				
			・ 機志幹線1L、2L電圧																																																																																				
			・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																				
		補機監視機能	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																				
・ 充てんライン圧力																																																																																							
・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																							
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（適用）																																																																																							
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																					
	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレィ流量 ・ B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（適用）																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																					
	補機冷却	・ B-格納容器スプレィポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																					
		・ B-格納容器スプレィポンプ補機冷却水流量																																																																																					
	<p>監視計器一覧（14/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	補機冷却	・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計	・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計																																																									
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																							
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																							
a. 代替炉心注水																																																																																							
(d) A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																				
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																				
		補機冷却	・ A格納容器スプレィポンプ電動機冷却水流量計																																																																																				
			・ A格納容器スプレィポンプ冷却水流量計																																																																																				



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																						
<p style="text-align: center;"><b>監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧(15/48)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(b)(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)	電源	・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	操作	1.4.2.1(b)(c)と同様。		<p>監視計器一覧(15/61)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(適用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・ 泊幹線1L, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L, 2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(適用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(適用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(d) b, c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(適用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	電源	・ 泊幹線1L, 2L電圧	・ 後志幹線1L, 2L電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(適用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(適用)	操作	1.4.2.1(d) b, c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計(広域)																																																						
		水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計(CRT)																																																						
		電源	・ 4-3(4)A, B, C1, C2, D1, D2母線電圧計																																																						
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																						
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																						
		操作	1.4.2.1(b)(c)と同様。																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																									
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高値側) ・ 1次冷却材温度(広域-低値側) ・ 炉心出口温度																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(適用)																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位(広域)																																																						
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																						
		電源	・ 泊幹線1L, 2L電圧																																																						
			・ 後志幹線1L, 2L電圧																																																						
			・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																						
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																						
・ 原子炉補機冷却水供給母管流量(適用)																																																									
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(適用)																																																									
操作	1.4.2.1(d) b, c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載

⑩ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計
		原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）
操作	1.4.2.1(c) b. (g)と同様。		

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧（16/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (a) サポート系放熱時の対応手順 ②、代替炉心注水						
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度			
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）			
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位			
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）			
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）			
	電源	電源	・ 炉幹線 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧			
		補機監視機能	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		
			操作	1.4.2.1(1) b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
			(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）
					原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位					
原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）					
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）					
操作	1.4.2.1(1) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					

【大阪】  
 設備の相違  
 （相違理由③）

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (17/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替冷却注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判別基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替冷却注水			(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力容器内への注水量	原子炉格納容器内の水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																								
(2) サポート系故障時の対応手順																								
a. 代替冷却注水																								
(a) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度																						
		原子炉圧力容器内の圧力																						
	操作	原子炉圧力容器内の水位																						
		原子炉圧力容器内への注水量																						
		原子炉格納容器内の水位																						
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																						



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																						
<p>監視計器一覧（16/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機械喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の輻度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の輻度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ B高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機械喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）	補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧（18/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の輻度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母線1L、2L電圧 ・ 後志母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-8、9、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の輻度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）	電源	・ 母線1L、2L電圧 ・ 後志母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-8、9、C1、C2、D母線電圧	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																									
(2) サポート系機械喪失時の手順等																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）																																																																																						
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																						
	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																						
		原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・ B高圧注入流量計																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位計（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ B高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																								
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水(海水)通水」にて整備する。																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																																									
(a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンパ水位（広域）																																																																																						
		電源	・ 母線1L、2L電圧 ・ 後志母線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-8、9、C1、C2、D母線電圧																																																																																						
	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）																																																																																						
		原子炉压力容器内の輻度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																						
		原子炉压力容器内への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンパ水位（広域）																																																																																						
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																								
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車によるA-高圧注入ポンプへの補機冷却水(海水)通水」の操作手順と同様である。																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p>監視計器一覧〔17/48〕</p> <table border="1" data-bbox="116 478 701 1120"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 478 349 550">対応手段</th> <th data-bbox="349 478 477 550">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 478 701 550">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 550 701 574">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 574 701 598">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 598 701 622">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 622 701 646">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 646 318 1120" rowspan="7">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="318 646 477 710" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="477 646 701 670">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 670 701 694">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 710 477 734"></td> <td data-bbox="477 710 701 734">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 734 477 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="477 734 701 758">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 758 477 782">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="477 758 701 782">・加圧喪失位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 782 477 845">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="477 782 701 845">・格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 845 477 1029">補機監視機能</td> <td data-bbox="477 845 701 901">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 1029 477 1053">補機冷却</td> <td data-bbox="477 1029 701 1053">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 1053 477 1120" rowspan="2">操作</td> <td data-bbox="477 1053 701 1077">・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1077 701 1120">・A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 1029 701 1120">空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）		・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失位計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	・A余熱除去ポンプ冷却水流量計	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																								
b. 代替再循環運転																																								
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																								
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																						
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																						
		・炉心出口温度計																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧喪失位計																																						
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																						
	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																						
補機冷却	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																							
操作	・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計																																							
	・A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																							
空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却にて整備する。」																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧 (18/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧 (19/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 高压注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高压注入流量	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）	補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）	操作	1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																									
ii. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		原子炉格納容器内の注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																						
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																						
		補機冷却	・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計																																																																						
	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																							
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																						
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																								
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高压注入流量																																																																						
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（A用）																																																																						
		補機冷却	・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用）																																																																						
	操作	1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環」の操作手順と同様である。																																																																							



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水質の確保</td> <td rowspan="2">水質の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水質の確保</td> <td>水質の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	電源の確保	電源	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧	水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量	補機監視機能	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力	水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水質の確保</td> <td>・ 燃料取替排水ヒート水位 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table> <p>—: 操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	操作	—	d. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	電源	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水質の確保	・ 燃料取替排水ヒート水位 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	操作	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	原子炉圧力容器への注水	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・ 泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																											
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																														
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																											
		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																											
電源の確保	電源	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧																																																																											
		4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧																																																																											
水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																											
原子炉圧力容器への注水量	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																											
		残留熱除去系ポンプ出口流量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																											
補機監視機能	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																												
水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																																														
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																											
		操作	—																																																																											
d. 復旧																																																																														
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																											
電源	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																											
補機監視機能	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																											
		水質の確保	・ 燃料取替排水ヒート水位 ・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																											
操作	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																											
		原子炉圧力容器への注水	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)																																																																											
<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水質の確保</td> <td rowspan="2">水質の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水質の確保</td> <td>水質の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	電源の確保	電源	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	原子炉圧力容器への注水量	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	補機監視機能	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力	水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) 可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>電源</td> <td>・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	電源	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機冷却	補機冷却	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	原子炉圧力容器への注水	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 (AM用)	操作	操作	1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>													
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																												
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (b) 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																														
非常時操作手順書 (運転ベース) 「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																											
		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																											
電源の確保	電源	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧																																																																											
		4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧																																																																											
水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位	圧力制御室水位																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (快帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																											
原子炉圧力容器への注水量	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)																																																																											
		低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																											
補機監視機能	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																												
水質の確保	水質の確保	圧力制御室水位																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 d. 復旧																																																																														
(b) 可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																											
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																											
電源	電源	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																											
補機冷却	補機冷却	電源	・ 消幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																											
		原子炉圧力容器への注水	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動補機冷却器水流量 (AM用)																																																																											
操作	操作	1.4.2.1(2) b. (b) 1. 「可搬型大型送水ポンプを用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">                     (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等                 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。                      格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合			(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計	操作	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計		格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水戻の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>諸機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度		原子炉格納容器内の温度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水戻の確保	復水貯蔵タンク水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)		諸機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水戻り</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">                     (a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却                 </td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位</td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水戻り			(a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位	手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合																																																																																																							
(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計																																																																																																				
	操作	最終ヒートシンクの確保	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用) ・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT) ・原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器内温度計 ・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計																																																																																																				
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位計 (広域) ・原子炉格納容器水位計																																																																																																					
	格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレィポンプによる格納容器スプレィ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレィ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																						
	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水 (常設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																																							
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジー-I」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																				
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																				
		原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部空間気温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																				
		電源の確保	4-3C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																				
		水戻の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																				
		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																				
	諸機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却手順 a. 原子炉格納容器水戻り																																																																																																							
(a) 格納容器スプレィ又は代替格納容器スプレィによる残存溶融炉心の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・炉心出口温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度 ・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																				
	操作	原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度																																																																																																				
		原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器水位																																																																																																				
		手順内の格納容器スプレィ及び代替格納容器スプレィについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)、「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a、「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素検出による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a、「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧 (20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計
	操作	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		水源の確保	・ 余熱除去流量計
		補機監視機能	・ 復水ピット水位計 ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
		最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度計
	操作	電源	・ 蒸気発生器水位計 (広域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)
		補機監視機能	・ 蒸気発生器補助給水流量計 ・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計 ・ 脱気器タンク水位計 (CRT)

監視計器一覧 (9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 抵抗代替注水		
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空気気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)
	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧
	水源の確保	圧力制御室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源の確保	圧力制御室水位

監視計器一覧 (23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度
	操作	水源の確保	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		補機監視機能	・ 低圧注入流量 ・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
		電源	—
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)
		最終ヒートシンクの確保	・ 炉心出口温度
	操作	電源	・ 1次冷却材圧力 (広域)
		水源の確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)
		補機監視機能	・ 蒸気発生器水位 (狭域)

— 通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																					
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul>	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (10/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ（計器）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却</td> <td></td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力（SA）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）	非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 ドライウェル圧力	判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）	電源の確保	4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）	<p style="text-align: center;">監視計器一覧 (24/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対処手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・主給水ライン流量</li> <li>・蒸気発生器水張り流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・主給水ライン流量</li> <li>・蒸気発生器水張り流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助給水ピット水位</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>	操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																																																				
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・蒸気発生器主給水流量計（CRT）</li> <li>・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</li> </ul>																																																																																				
	水源の確保		<ul style="list-style-type: none"> <li>・復水ピット水位計</li> </ul>																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）																																																																																						
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 低圧代替注水（可搬型）による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																						
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジー4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																						
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ（タイプ1）による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 ドライウェル圧力																																																																																						
判断基準	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																						
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/W）																																																																																						
	電源の確保	4-20 母線電圧 125F 直流主母線 2A 電圧 125F 直流主母線 2B 電圧 125F 直流主母線 2A-1 電圧 125F 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																						
	水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 燃料域）																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）																																																																																						
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系内浄化ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）																																																																																						
水源の確保	淡水貯水槽（No.1） 淡水貯水槽（No.2）																																																																																							
対処手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・主給水ライン流量</li> <li>・蒸気発生器水張り流量</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助給水ピット水位</li> </ul>																																																																																						
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>																																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																																																						
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>																																																																																						
	操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>																																																																																						
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																																																																						
操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域～高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域～低温側）</li> </ul>																																																																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</li> </ul>																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由				
監視計器一覧 (21/48)			監視計器一覧 (11/20)			監視計器一覧 (25/61)							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 蒸気発生器2次側からの熱熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)							
(a) 主蒸気速がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度				
		原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (広帯域)		原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)		
		原子炉圧力容器内の注水量		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)		
		最終ヒートシンクの確保		原子炉格納容器内の圧力	原子炉格納容器下部温度		原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	原子炉格納容器下部温度	
		補機監視機能		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部密閉気温度		原子炉格納容器下部密閉気温度	原子炉格納容器下部密閉気温度	原子炉格納容器下部密閉気温度	原子炉格納容器下部密閉気温度	原子炉格納容器下部密閉気温度	原子炉格納容器下部密閉気温度	
		操作		操作	電源の確保		4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位
		操作		操作	水の確保		ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	
		操作		操作	原子炉圧力容器内の水位		原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)
		操作		操作	原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉圧力 (広帯域)	原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)	原子炉圧力 (SA 燃料域)
		操作		操作	最終ヒートシンクの確保		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (SA)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)	残留熱除去系 II 系統格納容器冷却ライン洗浄流量	残留熱除去系 II 系統格納容器冷却ライン洗浄流量	残留熱除去系 II 系統格納容器冷却ライン洗浄流量	残留熱除去系 II 系統格納容器冷却ライン洗浄流量
操作	操作	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水ポンプ出口圧力				
操作	操作	電源	電源の確保	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位	ろ過水タンク水位				
一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。			一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。			一：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																
<p>監視計器一覧（22/48）</p> <table border="1" data-bbox="112 587 705 1013"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 619 2004 1002"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																			
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																
	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																	



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(23/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)		
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計(広域)
		・1次冷却材低温側温度計(広域)
	・炉心出口温度計	
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計
水源の確保	・復水ピット水位計	
電源	補機監視機能	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計
		・原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)
		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)
		・余熱除去ポンプ吐出圧力計
操作	1.4.2.2(1a.(a))と同様。	

監視計器一覧(27/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却(注水)			
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)	
		・1次冷却材温度(広域-低温側)	
	・炉心出口温度		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	
	水源の確保	・補助給水ピット水位	
	電源	補機監視機能	・沿幹線1L、2L電圧
			・後志幹線1L、2L電圧
			・甲母線電圧、乙母線電圧
			・6-A、B、C1、C2、D母線電圧
		・余熱除去ポンプ出口圧力	
		・余熱除去ポンプ電流	
		・原子炉補機冷却水供給母管流量(加用)	
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(加用)	
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(加用)	
操作	1.4.2.2(1) a. b) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		

監視計器一覧(28/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却(注水)			
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度(広域-高温側)	
		・1次冷却材温度(広域-低温側)	
	・炉心出口温度		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力(広域)	
	最終ヒートシンクの確保	水源の確保	・蒸気発生器水位(広域)
			・蒸気発生器水位(狭域)
			・補助給水流量
			・補助給水ピット水位
	電源	補機監視機能	・沿幹線1L、2L電圧
			・後志幹線1L、2L電圧
・甲母線電圧、乙母線電圧			
・6-A、B、C1、C2、D母線電圧			
		・原子炉補機冷却水供給母管流量	
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(加用)	
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(加用)	
		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器海水流量(加用)	
操作	1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		

【大阪】  
 設備の相違  
 (相違理由④)

泊3号炉との比較対象なし

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>                     「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。                 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</li> </ul>	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(29/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計(広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計(広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位計(狭域)</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																
				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ピット水位計</li> </ul>																																																
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																			
補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</li> </ul>																																																			
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)																																																					
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																															
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>																																																			
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																				
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																				
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																															
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>																																																			
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																				
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																				
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																															
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度(広域-高範囲)</li> <li>・ 1次冷却材温度(広域-低範囲)</li> </ul>																																																			
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位(広域)</li> <li>・ 蒸気発生器水位(狭域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																				
操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
<p>監視計器一覧（24/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）	・ 蒸気発生器水位計（狭域）	・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。		<p>監視計器一覧（30/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温度側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 直轉機1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 最終轉機1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（B用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 補助給水流量	電源	・ 直轉機1L、2L電圧	・ 最終轉機1L、2L電圧	補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）	操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（A用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（B用）	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																											
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																											
(a) 主蒸気速がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																									
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																									
		・ 炉心出口温度計																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																									
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																									
		・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																									
		・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																									
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																									
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																									
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																											
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気速がし弁（現場手動操作）による主蒸気速がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																									
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																											
b. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																											
(a) 主蒸気速がし弁の現場手動操作による蒸気放出	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側）																																																																									
		・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）																																																																									
		・ 炉心出口温度																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																									
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																									
		・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																									
		・ 補助給水流量																																																																									
	電源	・ 直轉機1L、2L電圧																																																																									
		・ 最終轉機1L、2L電圧																																																																									
補機監視機能	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																										
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																										
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																										
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）																																																																										
操作	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（A用）																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（B用）																																																																										
操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気速がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 520 322 587">対応手段</th> <th data-bbox="322 520 472 587">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="472 520 698 587">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 587 698 608">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 608 698 628">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 628 322 1082" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="322 628 472 683" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="472 628 698 655">・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 655 698 683">・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 683 472 710"></td> <td data-bbox="472 683 698 710">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 710 472 750">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="472 710 698 750">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 750 472 790">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="472 750 698 790">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 790 472 829">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="472 790 698 810">・ 蒸気発生器水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 829 472 850"></td> <td data-bbox="472 829 698 850">・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 850 472 890">電源</td> <td data-bbox="472 850 698 890">・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 890 472 1013" rowspan="3">補機監視機能</td> <td data-bbox="472 890 698 930">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 930 698 970">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="472 970 698 1013">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="322 1013 472 1082">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="472 1013 698 1082">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)		・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1382 520 1621 564">対応手段</th> <th data-bbox="1621 520 1771 564">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 520 2000 564">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1382 564 2000 601">1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1382 601 1621 1098" rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1621 601 1771 655" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 601 2000 622">・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 622 2000 643">・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 643 1771 663"></td> <td data-bbox="1771 643 2000 663">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 663 1771 686">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 663 2000 686">・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 686 1771 708">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="1771 686 2000 708">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 708 1771 790" rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1771 708 2000 729">・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 729 2000 750">・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 750 2000 770">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 790 1771 890" rowspan="4">電源</td> <td data-bbox="1771 790 2000 810">・ 炉幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 810 2000 831">・ 機志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 831 2000 852">・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 852 2000 873">・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 890 1771 1038" rowspan="5">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 890 2000 911">・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 911 2000 932">・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 932 2000 952">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 952 2000 973">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1771 973 2000 994">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 1038 1771 1098">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1771 1038 2000 1098">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)		・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	・ 補助給水流量	電源	・ 炉幹線1L、2L電圧	・ 機志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																			
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																			
		・ 炉心出口温度計																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																			
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																																			
		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																			
	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																			
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																			
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																			
・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																					
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																			
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																			
		・ 炉心出口温度																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																			
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																			
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																			
		・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																			
		・ 補助給水流量																																																																			
	電源	・ 炉幹線1L、2L電圧																																																																			
		・ 機志幹線1L、2L電圧																																																																			
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																					
・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																					
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																				
	・ 余熱除去ポンプ電流																																																																				
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																				
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																				
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																				
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																																				



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (32/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判別基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMH)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AMH)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補給給水ピット水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>機作</td> <td>1.4.2.2 (1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(a) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判別基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>	原子炉压力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	電源		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul>	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMH)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AMH)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補給給水ピット水位</li> </ul>	機作	1.4.2.2 (1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																				
(a) サポート系故障時の対応手順																																				
d. 復旧																																				
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判別基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																	
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																	
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> </ul>																																	
	原子炉压力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																	
	電源		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後巻機 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</li> </ul>																																	
		補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AMH)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量 (AMH)</li> </ul>																																
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補給給水ピット水位</li> </ul>																																
			機作	1.4.2.2 (1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																							
<p>監視計器一覧 (26/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">未境界の維持又は監視</td> <td>・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 余熱除去流量計	・ 燃料取替用水ビット水位計	・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん流量計	未境界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (12/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	復水貯蔵タンク水位	水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量	復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (33/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																										
a. 炉心注水																																																																																																										
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																								
	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																								
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																								
	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																								
	水源の確保	・ 余熱除去流量計																																																																																																								
		・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																								
		・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																								
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																								
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																							
原子炉压力容器内の注水量		・ 充てん流量計																																																																																																								
未境界の維持又は監視		・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																								
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系統水タンク水位計 (CRT)																																																																																																							
			手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																					
			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																										
a. 低圧代替注水																																																																																																										
(a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																										
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																								
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」																																																																																																										
電源の確保	電源の確保	4-20 母線電圧 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																								
		復水貯蔵タンク水位																																																																																																								
水源の確保	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (換熱域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定種時水車用)																																																																																																								
		原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																								
補機監視機能	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系熱納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																								
		復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																										
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																										
a. 炉心注水																																																																																																										
判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																								
	原子炉压力容器内の注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																								
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																								
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																							
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																							
	操作	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																							
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																							
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系統水タンク水位																																																																																																							
			補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">                     (b) 高圧注入ポンプによる炉心注水                 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">                     (c) 蓄圧タンクによる炉心注水                 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 充てん水流量計	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 余熱除去流量計	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順次熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>操作</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td></td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順次熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保		淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">                     (b) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水                 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">                     (c) 蓄圧タンクによる炉心注水                 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 1次冷却材系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 充てん流量	原子炉圧力容器内への注水量	・ 燃料取替用水ピット水位	水源の確保	・ 充てんライン圧力	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統ループ水位	水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位	<p>【大飯】                      設備の相違                      (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																								
a. 炉心注水																																																																																																																								
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)																																																																																																																					
		水源の確保	・ 充てん水流量計																																																																																																																					
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統水位計 (CRT)																																																																																																																					
		水源の確保	・ 余熱除去流量計																																																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																						
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																								
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																								
a. 低圧代替注水																																																																																																																								
(b) 低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																								
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「順次熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)																																																																																																																						
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」		電源の確保 4-20 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																						
水源の確保	操作	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																						
原子炉圧力容器内の水位	操作	原子炉水位 (供費域) 原子炉水位 (広費域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広費域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水強用)																																																																																																																						
原子炉圧力容器内の圧力		原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																						
原子炉圧力容器への注水量		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																						
水源の確保		淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																								
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																								
a. 炉心注水																																																																																																																								
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉圧力容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 充てん流量																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																					
		水源の確保	・ 充てんライン圧力																																																																																																																					
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																					
	操作	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 1次冷却材系統ループ水位																																																																																																																					
		水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>																																																																																																																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																			
<p>監視計器一覧 (28/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(b)(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位計	1.4.2.1(b)(a)と同様。		<p>監視計器一覧 (14/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>操作</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の水位</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉水位 (異常域)</td> <td>原子炉水位 (異常域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の圧力</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力 (異常域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (広域)</td> <td>原子炉圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (燃料域)</td> <td>原子炉圧力 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA広帯域)</td> <td>原子炉圧力 (SA広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器への注水量</td> <td rowspan="4">判断基準</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	電源の確保	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)	最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)	水源の確保	操作	圧力制御室水位	原子炉压力容器内の水位	判断基準	原子炉水位 (異常域)	原子炉水位 (異常域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA広帯域)	原子炉水位 (SA広帯域)	原子炉压力容器内の圧力	判断基準	原子炉圧力	原子炉圧力 (異常域)	原子炉圧力 (広域)	原子炉圧力 (広域)	原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (SA広帯域)	原子炉圧力 (SA広帯域)	原子炉压力容器への注水量	判断基準	代替循環冷却ポンプ出口流量	代替循環冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力制御室水位	水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (35/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td colspan="2">1.4.2.1(b)(a)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力	(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位	水源の確保	・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位	1.4.2.1(b)(a)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																				
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																																																						
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																																						
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																						
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 高圧注入流量計 ・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																			
(b) A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT) ・ 蓄圧タンク圧力計 (CRT)																																																																																																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																																																																			
		1.4.2.1(b)(a)と同様。																																																																																																																																																																				
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																																		
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																																				
		(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																																						
(a) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																																																						
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「炉内熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (空冷時水重用)																																																																																																																																																																				
非常時操作手順書 (設備別) 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」		4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																																				
電源の確保	操作	原子炉圧力	原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)																																																																																																																																																																			
		最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力 (異常域) 原子炉圧力 (広域) 原子炉圧力 (燃料域) 原子炉圧力 (SA広帯域) 原子炉圧力 (SA燃料域) 原子炉圧力 (停止域) 原子炉圧力 (空冷時水重用)																																																																																																																																																																			
水源の確保	操作	圧力制御室水位																																																																																																																																																																				
原子炉压力容器内の水位	判断基準	原子炉水位 (異常域)	原子炉水位 (異常域)																																																																																																																																																																			
		原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																																			
		原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																																			
		原子炉水位 (SA広帯域)	原子炉水位 (SA広帯域)																																																																																																																																																																			
原子炉压力容器内の圧力	判断基準	原子炉圧力	原子炉圧力 (異常域)																																																																																																																																																																			
		原子炉圧力 (広域)	原子炉圧力 (広域)																																																																																																																																																																			
		原子炉圧力 (燃料域)	原子炉圧力 (燃料域)																																																																																																																																																																			
		原子炉圧力 (SA広帯域)	原子炉圧力 (SA広帯域)																																																																																																																																																																			
原子炉压力容器への注水量	判断基準	代替循環冷却ポンプ出口流量	代替循環冷却ポンプ出口流量																																																																																																																																																																			
		補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																			
		水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																																			
		水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																				
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																						
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																																						
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 加圧器水位																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																			
(b) B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																																			
		原子炉压力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																																																			
		水源の確保	・ 高圧注入流量 ・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																																			
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																																																																			
		1.4.2.1(b)(a)「B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																																																																				



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由
監視計器一覧 (29/48)			監視計器一覧 (15/20)			監視計器一覧 (36/61)			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (b) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度 (広域-高温側)	操作
		原子炉圧力容器内の圧力			原子炉水位 (広帯域)			原子炉圧力容器内の温度 (広域-低温側)	
		原子炉圧力容器内の水位			原子炉水位 (燃料域)			炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の注水量			原子炉水位 (SA 広帯域)			1次冷却材圧力 (広域)	
		水源の確保			原子炉水位 (SA 燃料域)			加圧器水位	
					原子炉水位 (停止域)			1次冷却系統水位計 (CRT)	
	原子炉水位 (定積時水運用)	Δ余熱除去流量計							
		燃料取扱用水ピット水位計							
		復水ピット水位計							
1.4.2.1(d)(b)と同様。			4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2C-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧			1.4.2.1(d)(b)(c)と同様。			
(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の温度 (広域-高温側)	操作
		原子炉圧力容器内の圧力			原子炉水位 (広帯域)			原子炉圧力容器内の温度 (広域-低温側)	
		原子炉圧力容器内の水位			原子炉水位 (燃料域)			炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の注水量			原子炉水位 (SA 広帯域)			1次冷却材圧力 (広域)	
		水源の確保			原子炉水位 (SA 燃料域)			加圧器水位	
					原子炉水位 (停止域)			1次冷却系統水位計 (CRT)	
	原子炉水位 (定積時水運用)	Δ余熱除去流量計							
		燃料取扱用水ピット水位計							
		復水ピット水位計							
1.4.2.1(d)(c)と同様。			4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2C-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧			1.4.2.1(d)(b)(c)「電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる原子炉圧力容器への注水」の操作手順と同様である。			
		Δ余熱除去流量計	残留熱除去系浄化ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレライン洗浄流量) (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)			1次冷却材圧力 (広域)			
		燃料取扱用水ピット水位計	ろ過水ポンプ出口圧力			加圧器水位			
		復水ピット水位計	ろ過水タンク水位			1次冷却系統ループ水位			
						代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (相用)			
						燃料取扱用水ピット水位			
						補助給水ピット水位			
						ろ過水タンク水位			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																									
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="112 375 705 790"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d),(e)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	操作	1.4.2.1(d),(e)と同様。		<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="750 502 1355 1069"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量	操作	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1377 454 2004 1165"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	操作	1.4.2.1(d) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																												
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																												
(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(d),(e)と同様。																																																																																																										
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																										
1.4.2.2 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																												
e. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																												
(a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																																																												
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「継続除熱機能喪失」	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備切) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																									
		補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量																																																																																																									
操作	判断基準	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																									
		補機監視機能	原子炉圧力容器温度 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																										
1.4.2.3 発電用原子が停止中における対応手順																																																																																																												
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																												
b. 代替炉心注水																																																																																																												
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																										
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																										
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																									
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																										
	操作	1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																										
	(g) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																								
原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																									
原子炉圧力容器内への注水量		・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																										
操作		1.4.2.1(d) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																					
<p>監視計器一覧（31/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（32/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1(d)(a)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の水位	・ 余熱除去流量計	操作	補機監視機能	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	1.4.2.1(d)(a)と同様。			<p>監視計器一覧（38/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 燃料取扱用水ドレット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>1.4.2.1(d)(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）」による代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の水位	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉格納容器内の注水量	・ 燃料取扱用水ドレット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉容器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	操作	1.4.2.1(d)(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）」による代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																								
c. 再循環運転																																																																																																																																								
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																																					
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																																					
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																																								
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																								
d. 代替再循環運転																																																																																																																																								
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																					
	操作	補機監視機能	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																																																																					
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																					
		1.4.2.1(d)(a)と同様。																																																																																																																																						
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																				
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																																						
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																								
c. 再循環運転																																																																																																																																								
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ 低圧注入流量																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の注水量	・ 燃料取扱用水ドレット水位																																																																																																																																					
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																					
		操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																				
			原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																				
	原子炉格納容器内の注水量		・ 原子炉容器水位																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の注水量		・ 高圧注入流量																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位		・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																																					
	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																						
	d. 代替再循環運転																																																																																																																																							
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																					
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																																					
		原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																																																																					
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																																					
		操作	1.4.2.1(d)(a)「B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）」による代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧 (33/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計	操作	電源	・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)	—	—		<p>監視計器一覧 (39/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>電源</td> <td>・ 炉幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量	電源	電源	・ 炉幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																				
	操作	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																				
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																				
		—	—																																																																																				
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																				
	操作	電源	・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																				
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計 (CRT)																																																																																				
		—	—																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																							
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (注水)																																																																																							
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																				
	補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																				
		操作	—																																																																																				
		—	—																																																																																				
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																				
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量																																																																																				
	電源	電源	・ 炉幹線 1L、2L電圧 ・ 後志幹線 1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																				
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																				
		操作	—																																																																																				



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (注水)			
(e) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ (電動) による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)
			・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)
			・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
	最終ヒートシンクの確保		・ 主蒸気圧力計
			・ 蒸気発生器水位計 (広域)
			・ 蒸気発生器水位計 (狭域)
			・ 蒸気発生器主給水流量計 (CRT)
	操作		・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)
			・ 復水ビット水位計
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。	

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧 (40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順				
(1) フロントライン系故障時の対応手順				
e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却 (注水)				
(e) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
			・ 炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	
	最終ヒートシンクの確保		・ 主蒸気ライン圧力	
			・ 蒸気発生器水位 (広域)	
			・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
			・ 主給水ライン流量	
	操作		・ 蒸気発生器水張り流量	
			・ 補助給水ビット水位	
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
(d) 雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
			・ 蒸気発生器水位 (広域)	
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
	操作		・ 補助給水流量	
			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c.「雨水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
	判断基準		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)
			・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
		・ 補助給水流量		
(e) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
			・ 蒸気発生器水位 (広域)	
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
	操作		・ 補助給水流量	
			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
	判断基準		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)
			・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
		・ 補助給水流量		
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
			・ 蒸気発生器水位 (広域)	
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
	操作		・ 補助給水流量	
			「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	
			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)
			・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	
	判断基準		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)
			・ 蒸気発生器水位 (狭域)	
		・ 補助給水流量		

【大阪】  
設備の相違  
(相違理由④)

【大阪】  
設備の相違  
(相違理由④)

【大阪】  
設備の相違  
(相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																										
<p><b>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合                  (1) フロントライン系機能喪失時の手順等                  f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">監視基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <p><b>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	監視基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）	水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	—	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計	・蒸気発生器水位計（広域）	・蒸気発生器水位計（狭域）	・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）	電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	—	—	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 ・復水器真空（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線 1L、2L電圧 ・橋本幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流	操作	—	—	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力	・蒸気発生器水位（広域）	・蒸気発生器水位（狭域）	・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 ・復水器真空（広域）	電源	・泊幹線 1L、2L電圧 ・橋本幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧	操作	—	—	<p>相違理由</p>
監視基準		原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																																																										
		最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位計（広域）																																																																										
	・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																												
・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																													
水源の確保	・余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																												
操作	—	—																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気圧力計																																																																											
		・蒸気発生器水位計（広域）																																																																											
		・蒸気発生器水位計（狭域）																																																																											
・蒸気発生器補助給水流量計 ・蒸気発生器主給水流量計（CRT） ・蒸気発生器水張り流量計（CRT） ・復水器真空度計（広域）																																																																													
電源	・4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																												
操作	—	—																																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																													
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・低圧注入流量																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・蒸気発生器水位（広域）																																																																											
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																											
・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量																																																																													
補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流																																																																												
操作	—	—																																																																											
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度																																																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																											
	最終ヒートシンクの確保	・主蒸気ライン圧力																																																																											
		・蒸気発生器水位（広域）																																																																											
		・蒸気発生器水位（狭域）																																																																											
・補助給水流量 ・主給水ライン流量 ・蒸気発生器水張り流量 ・復水器真空（広域）																																																																													
電源	・泊幹線 1L、2L電圧 ・橋本幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-C1、C2、D母線電圧																																																																												
操作	—	—																																																																											

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<div data-bbox="107 582 705 625" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</div> <table border="1" data-bbox="116 662 698 976"> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="3">                     「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。                 </td> <td></td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> </ul>	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。					<div data-bbox="1370 603 1559 627" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">監視計器一覧(42/61)</div> <table border="1" data-bbox="1370 627 2013 1008"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">                     「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。                 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧注入流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>																																			
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力計</li> </ul>																																			
		原子炉圧力容器内への注水量		<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去流量計</li> </ul>																																				
		操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位計（狭域）</li> </ul>																																				
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																					
「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順																																								
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																						
	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低圧注入流量</li> </ul>																																						
	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・補助給水流量</li> </ul>																																						
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																						
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																							

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<div data-bbox="203 770 613 813" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（43/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子が停止時における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: top;">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却系ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・ 冷却水1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 後志幹線1L、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. ⑥ 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子が停止時における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 1次冷却系ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	・ 冷却水1L、2L電圧	電源	・ 後志幹線1L、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量（AM用）	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 燃料取替用水ビット水位	・ 補助給水ビット水位	操作	1.4.2.1(1) b. ⑥ 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<div data-bbox="2022 754 2168 802" style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">【大阪】運用の相違（相違理由⑤）</div>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																											
1.4.2.3 発電用原子が停止時における対応手順																																													
(2) サポート系故障時の対応手順																																													
a. 代替心注水																																													
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）																																											
		・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																											
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 心出口温度																																											
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																											
		・ 1次冷却系ループ水位																																											
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																											
		・ 冷却水1L、2L電圧																																											
	電源	・ 後志幹線1L、2L電圧																																											
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																											
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																											
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																											
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																											
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量																																											
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量（AM用）																																													
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																													
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ電流																																												
	・ 燃料取替用水ビット水位																																												
・ 補助給水ビット水位																																													
操作	1.4.2.1(1) b. ⑥ 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																												



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（36/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	操作	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計		<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	操作	1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																					
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																		
	操作	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																		
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
			・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																				
原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																				
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																					
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																					
(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統ループ水位																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																		
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																		
	操作	1.4.2.3(1) b. (b) 「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（37/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 502 712 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 502 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 502 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 502 712 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 712 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 712 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 712 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1037" rowspan="7">b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 481 718" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 712 670">・1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 670 712 694">・1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 694 712 718">・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 718 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 718 712 758">・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 758 481 798">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 712 798">・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 798 481 837">水源の確保</td> <td data-bbox="481 798 712 837">・蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 837 481 877">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 712 877">・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 877 481 917">電源</td> <td data-bbox="481 877 712 917">・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 917 481 957" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 917 712 957">・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="481 957 712 997">・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 997 481 1037">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="481 997 712 1037">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）	・1次冷却材低温側温度計（広域）	・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
a. 代替炉心注水																																				
b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域）																																		
		・1次冷却材低温側温度計（広域）																																		
		・炉心出口温度計																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・1次冷却系統水位計（CRT）																																		
	水源の確保	・蓄圧タンク水位計（CRT）																																		
	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																																		
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																			
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																			
	・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																			
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由														
<p>監視計器一覧（38 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="100 319 712 367"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> </table>				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器															
<p>1.4.2.3 運転停止中の場合                  (2) サポート系機能喪失時の手順等                  a. 代替炉心注水</p>																	
<p>(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p>	<p>判断基準</p> <table border="1" data-bbox="324 414 719 845"> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </table> <p>操作 1.4.2.1(1)(b)(b)と同様。</p>	原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p>
原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計																
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																
原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																
原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）																
電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																
<p>(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水</p>	<p>判断基準</p> <table border="1" data-bbox="324 933 719 1252"> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </table> <p>操作 1.4.2.1(2)(a)(b)と同様。</p>	原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計	補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p>		
原子炉圧力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計																
原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																
原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）																
原子炉圧力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																
水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																
補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (39/48)						監視計器一覧 (45/61)					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水					
(e) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度			
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉压力容器内への注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水種差流量計 ・燃料取替用水ビット水位計					原子炉压力容器内への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・燃料取替用水ビット水位		
		水源の確保	・復水ビット水位計					水源の確保			
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度		
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					補機監視機能	・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		操作	1.4.2.1(2)a.(g)と同様。					操作	・充てん流量 ・冷却線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		
									電源	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（B用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（B用） ・充てんライン圧力	
									補機監視機能	・燃料取替用水ビット水位	
					操作	1.4.2.1(2)a.(e)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）」（BWR-CS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					
監視計器一覧 (40/48)						(d) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（BWR-CS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水						1.4.2.1(2)a.(e)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）」（BWR-CS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水					
(f) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計			判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度			
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計					原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）		
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT）					原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		原子炉压力容器内への注水量	・充てん流量計					原子炉压力容器内への注水量	・充てん流量		
		水源の確保	・燃料取替用水ビット水位計					水源の確保			
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計					電源	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度		
		補機監視機能	・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）					補機監視機能	・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位		
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。					操作	・充てん流量 ・冷却線1L、2L電圧 ・後志幹線1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧		
									電源	・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（B用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（A用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（B用） ・充てんライン圧力	
									補機監視機能	・燃料取替用水ビット水位	
					操作	1.4.2.1(2)a.(e)「B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）」（BWR-CS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					



泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
<p>監視計器一覧（41/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="8">(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却材系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(d)(e)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却材系統水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	電圧	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)(e)と同様。		<p>監視計器一覧（46/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="13">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電圧</td> <td></td> <td>・ 消管線1L、2L電圧 ・ 放去管線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No.2淡水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td></td> <td>1.4.2.1(d)(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位	原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	電圧		・ 消管線1L、2L電圧 ・ 放去管線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	水源の確保	・ No.2淡水タンク水位	操作		1.4.2.1(d)(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																							
(g) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却材系統水位計（CRT）																																																				
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																					
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																					
	電圧	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																					
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量計（CRT）																																																				
		操作	1.4.2.1(d)(e)と同様。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																							
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																				
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却材系統ループ水位																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																				
		電圧		・ 消管線1L、2L電圧 ・ 放去管線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																			
			補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																		
				水源の確保	・ No.2淡水タンク水位																																																		
		操作		1.4.2.1(d)(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・炉心出口温度計</li> </ul>
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計
		原子炉圧力容器内への注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）
		電源	・A余熱除去流量計
補機監視機能	操作	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>
		操作	1.4.2.1(d)と同様。

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧（47/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水				
(f) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加圧器水位</li> <li>・1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）</li> </ul>	
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊幹線 1L、2L電圧</li> <li>・後志幹線 1L、2L電圧</li> <li>・甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	
	補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量（原用）
			原子炉補機冷却水供給母管流量	・原子炉補機冷却水供給母管流量（原用）
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（原用）
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（原用）
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（原用）
(g) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・炉心出口温度</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加圧器水位</li> <li>・1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B-格納容器スプレイ流量</li> <li>・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（原用）</li> <li>・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</li> </ul>	
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泊幹線 1L、2L電圧</li> <li>・後志幹線 1L、2L電圧</li> <li>・甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・原子炉補機冷却水供給母管流量（原用）</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（原用）</li> </ul>	
操作		1.4.2.1(d) b.(e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		

【大飯】  
 設備の相違  
 (相違理由③)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																											
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 655 2002 997"> <thead> <tr> <th data-bbox="1379 655 1666 699">対応手段</th> <th data-bbox="1666 655 1771 699">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 655 2002 699">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1379 699 2002 746">                     1.4.2.3 発電用原子炉停止時における対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      a. 代替冷却注水                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 746 1626 997" rowspan="4" style="vertical-align: middle;">(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td data-bbox="1626 746 1666 997" rowspan="2" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td data-bbox="1666 746 1771 770">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 746 2002 770">・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 770 1771 794">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 770 2002 794">・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 794 1771 818">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 794 2002 818">・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 818 1771 842">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 818 2002 842">・ 1次冷却系総ループ水位</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1379 997 1626 1021" rowspan="3" style="vertical-align: middle;">機</td> <td data-bbox="1626 997 1666 1021" rowspan="3" style="vertical-align: middle;">作</td> <td data-bbox="1666 997 1771 1021">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="1771 997 2002 1021">・ B-格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 1021 1771 1045">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="1771 1021 2002 1045">・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 1045 1771 1069">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="1771 1045 2002 1069">・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1379 1069 2002 1093">1.4.2.1(d)、(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止時における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替冷却注水			(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系総ループ水位	機	作	原子炉圧力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ流量	原子炉圧力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1.4.2.1(d)、(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			<div data-bbox="2024 751 2130 831" style="color: red;">【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</div>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止時における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替冷却注水																														
(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）																											
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																											
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																												
	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系総ループ水位																												
機	作	原子炉圧力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ流量																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A用）																											
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																											
1.4.2.1(d)、(e)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 528 701 1077"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計	操作	・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計		<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 512 2004 1137"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 機志幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A000）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 機志幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A000）	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）	操作	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
i. B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																						
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																						
	操作	補機冷却	・ B高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																						
		操作	・ B高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 機志幹線 1L、2L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</li> <li>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</li> </ul>																																																																						
	補機冷却	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A000）																																																																						
			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																						
			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）																																																																						
			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）																																																																						
			・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（適用）																																																																						
操作	操作	1.4.2.1(2)b.(a)Eと同様。																																																																							



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																					
<p>監視計器一覧（43 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="114 507 703 1094"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 507 353 579">対応手段</th> <th data-bbox="353 507 479 579">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 507 703 579">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 579 703 608">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 608 703 630">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 630 703 652">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 652 703 675">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 675 315 1094" rowspan="6">L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="315 675 479 746" rowspan="3">原子炉圧力容器内の霧度</td> <td data-bbox="479 675 703 697">・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 697 703 719">・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 719 703 742">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 746 479 791">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 746 703 791">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 791 479 813">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 791 703 813">・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 813 479 885">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="479 813 703 885">・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 885 479 979" rowspan="2">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 885 703 930" rowspan="2">原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td data-bbox="479 930 703 979">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 979 703 1024">・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 979 479 1053" rowspan="2">補機冷却</td> <td data-bbox="479 979 703 1024" rowspan="2">A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td data-bbox="479 1024 703 1053">・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1053 703 1094">・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1053 479 1094">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="479 1053 703 1094">1.4.2.1(2)b.(b)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	補機冷却	A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計	・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計	操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】                  設備の相違                  （相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																						
1.4.2.3 運転停止中の場合																																								
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																								
b. 代替再循環運転																																								
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																								
L A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	原子炉圧力容器内の霧度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																						
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																						
		・ 炉心出口温度計																																						
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																						
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																						
	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																						
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																						
		・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計																																						
補機冷却	A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計	・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																						
		・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計																																						
操作	1.4.2.1(2)b.(b)と同様。																																							

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																							
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="116 470 353 539">対応手段</th> <th data-bbox="353 470 477 539">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="477 470 701 539">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 544 701 564">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 564 701 585">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 585 701 606">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="116 606 701 627">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="116 627 318 1129" rowspan="6">注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="318 627 353 1129" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="353 627 477 695">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="477 627 701 695"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 695 477 748">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="477 695 701 748"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 748 477 769">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="477 748 701 769"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 769 477 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="477 769 701 837"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 837 477 890">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="477 837 701 890"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 890 477 1082">原子炉压力容器内の注水量</td> <td data-bbox="477 890 701 1082"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 1082 353 1129" rowspan="3">操作</td> <td data-bbox="353 1082 477 1129" rowspan="3">1.4.2.1(2)b.(a)と同等。</td> <td data-bbox="477 1082 701 1129"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1129 701 1182"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="477 1182 701 1235"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 余熱除去流量計</li> </ul>	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul>		<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1384 496 1666 539">対応手段</th> <th data-bbox="1666 496 1771 539">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 496 2004 539">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 544 2004 564">1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順）</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 564 2004 585">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 585 2004 606">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 606 2004 627">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 627 1621 1142" rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="1621 627 1666 1142" rowspan="10">判断基準</td> <td data-bbox="1666 627 1771 679">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 627 2004 679"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 679 1771 732">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 679 2004 732"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 732 1771 785">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 732 2004 785"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 785 1771 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 785 2004 837"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 837 1771 890">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 837 2004 890"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 890 1771 943">補機冷却</td> <td data-bbox="1771 890 2004 943"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 943 1771 995">操作</td> <td data-bbox="1771 943 2004 995">1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 995 1771 1048">操作</td> <td data-bbox="1771 995 2004 1048">1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 1048 1771 1101">操作</td> <td data-bbox="1771 1048 2004 1101">1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 1101 1771 1142">操作</td> <td data-bbox="1771 1101 2004 1142">1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順）			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</li> </ul>	操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																										
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																										
b. 代替再循環運転																																																																										
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																										
注 B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位計</li> </ul>																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</li> </ul>																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</li> </ul>																																																																							
		原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A 余熱除去流量計</li> </ul>																																																																							
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同等。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul>																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> <li>・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</li> <li>・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</li> </ul>																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中（における対応手順）																																																																										
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																										
b. 代替再循環運転																																																																										
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																										
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力（広域）</li> </ul>																																																																							
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却系統ループ水位</li> </ul>																																																																							
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</li> </ul>																																																																							
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</li> </ul>																																																																							
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用）</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</li> <li>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</li> </ul>																																																																							
		操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																							
		操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																							
		操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																							
		操作	1.4.2.1(2) b.(b) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;"><b>監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</b></p> <p>監視計器一覧(45/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;">泊3号炉との比較対象なし</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計	(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	判断基準	水源の確保	・ 復水ピット水位計	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	操作	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	泊3号炉との比較対象なし				<p>監視計器一覧(51/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1) a、b) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧(52/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力(広域)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシングの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)のうち、1.2.2.1(2) b、1.3G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度	(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	判断基準	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	1.4.2.2(1) a、b) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度	(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)	最終ヒートシングの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 補助給水流量	判断基準	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)	操作	1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)のうち、1.2.2.1(2) b、1.3G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計																																																															
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																															
判断基準	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																															
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																															
操作	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計(CRT)																																																															
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計(CRT)																																																															
		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																															
泊3号炉との比較対象なし																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																															
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																															
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																															
判断基準	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																															
	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用) ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																															
操作	1.4.2.2(1) a、b) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却(注水)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																															
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力(広域)																																																															
	最終ヒートシングの確保	・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(広域) ・ 補助給水流量																																																															
判断基準	水源の確保	・ 補助給水ピット水位 ・ 消静線1L、2L電圧 ・ 後志幹線1L、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																															
	電源	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量(AM用)																																																															
操作	1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)のうち、1.2.2.1(2) b、1.3G直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; color: blue; font-weight: bold;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; vertical-align: middle;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="5" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td rowspan="2"></td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px; text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px; text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul>	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul>	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">女川原子力発電所 2号炉</p>	<p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉</p> <p style="margin-top: 20px;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順                      (2) サポート系故障時の対応手順                      c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																								
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																								
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位計（広域）</li> <li>・ 蒸気発生器補助給水流量計</li> </ul>																																																								
				水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 復水ビット水位計</li> </ul>																																																								
	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</li> </ul>																																																											
補機監視機能		原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</li> </ul>																																																										
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</li> </ul>																																																										
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.3 発電用原子炉停止における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																													
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																							
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																																											
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																												
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																											
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																							
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																																											
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																												
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																											
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td style="width: 85%;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> </table>	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																							
	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</li> <li>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</li> </ul>																																																											
最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位（狭域）</li> <li>・ 蒸気発生器水位（広域）</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																												
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																											



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																								
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="114 494 701 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の程度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の程度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	補機監視機能	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 518 2000 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 沿革線 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 0-A、B、C1、C2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 沿革線 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 0-A、B、C1、C2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																											
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																											
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の程度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																								
	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																								
		補機監視機能	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																								
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																									
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																								
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																										
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																										
	d. 蒸気発生器2次側からの経熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																										
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																								
		原子炉压力容器内への注水量	・ 低圧注入流量																																																								
	電源	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																								
		補機監視機能	・ 沿革線 1L、2L 電圧 ・ 後志幹線 1L、2L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 0-A、B、C1、C2、D 母線電圧 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																								
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2(2)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																									
<p>監視計器一覧 (47/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="114 515 349 587">対応手段</th> <th data-bbox="349 515 472 587">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="472 515 701 587">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 587 701 635">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="114 635 701 683">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="114 683 315 1082" rowspan="7">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="315 683 349 1082" rowspan="3">判断基準</td> <td data-bbox="349 683 472 746">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="472 683 701 746"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 746 472 794">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="472 746 701 794"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 794 472 842">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="472 794 701 842"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 842 349 1018" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="349 842 472 890">蒸気発生器水位計 (広域)</td> <td data-bbox="472 842 701 890"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 890 472 938">蒸気発生器水位計 (狭域)</td> <td data-bbox="472 890 701 938"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1018 349 1082" rowspan="2">電源</td> <td data-bbox="349 1018 472 1082">電源</td> <td data-bbox="472 1018 701 1082"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1082 472 1129">補機監視機能</td> <td data-bbox="472 1082 701 1129"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1129 349 1177">操作</td> <td data-bbox="349 1129 472 1177">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td data-bbox="472 1129 701 1177"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> </ul>	蒸気発生器水位計 (狭域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> </ul>	電源	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (55/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1382 531 1617 603">対応手段</th> <th data-bbox="1617 531 1762 603">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1762 531 2000 603">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1382 603 2000 651">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1382 651 1617 1066" rowspan="7">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1617 651 1762 699" rowspan="3">判断基準</td> <td data-bbox="1762 651 2000 699">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="2000 651 2163 699"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高側側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低側側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1762 699 2000 746">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="2000 699 2163 746"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1762 746 2000 794">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="2000 746 2163 794"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1617 794 1762 906" rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1762 794 2000 842">蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td data-bbox="2000 794 2163 842"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1762 842 2000 890">蒸気発生器水位 (広域)</td> <td data-bbox="2000 842 2163 890"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1617 906 1762 1018" rowspan="2">電源</td> <td data-bbox="1762 906 2000 954">電源</td> <td data-bbox="2000 906 2163 954"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消警線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1762 954 2000 1066">補機監視機能</td> <td data-bbox="2000 954 2163 1066"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1617 1066 1762 1129">操作</td> <td data-bbox="1762 1066 2000 1129">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> <td data-bbox="2000 1066 2163 1129"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高側側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低側側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (狭域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> </ul>	蒸気発生器水位 (広域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>	電源	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消警線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</li> </ul>	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																												
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																												
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</li> <li>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</li> <li>・ 炉心出口温度計</li> </ul>																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力計</li> </ul>																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 余熱除去流量計</li> </ul>																																																									
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (広域)</li> </ul>																																																									
		蒸気発生器水位計 (狭域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</li> </ul>																																																									
	電源	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4-3 (4) A, B, C1, C2, D1, D2 母線電圧計</li> </ul>																																																									
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</li> </ul>																																																									
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a. 「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順																																																												
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高側側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低側側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> </ul>																																																									
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> </ul>																																																									
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 低圧注入流量</li> </ul>																																																									
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (狭域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</li> </ul>																																																									
		蒸気発生器水位 (広域)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気発生器水位 (広域)</li> <li>・ 補助給水流量</li> </ul>																																																									
	電源	電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消警線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 後志幹線 1 L, 2 L 電圧</li> <li>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</li> <li>・ 6-A, B, C1, C2, D 母線電圧</li> </ul>																																																									
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</li> <li>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</li> <li>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																																									
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																													
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (供熱域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> <td>原子炉圧力 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (広帯域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (広帯域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (燃料域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力 (SA 広帯域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA 燃料域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供熱域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力 (広帯域)	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	原子炉補機冷却水系統流量	電源の確保	6-2C 母線電圧	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	125V 直流主母線 2A 電圧	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量 (A, B 系のみ)	原子炉圧力容器内の水位	6-2D 母線電圧	残留熱除去系熱交換器入口温度	4-2C 母線電圧	残留熱除去系熱交換器出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	4-2D 母線電圧	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	125V 直流主母線 2A-1 電圧		原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2B-1 電圧		原子炉圧力 (広帯域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (広帯域)		原子炉圧力 (燃料域)		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA 広帯域)		原子炉圧力 (SA 燃料域)		補機監視機能	原子炉水位 (停止域)		原子炉水位 (定検時水張用)		最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力 (SA)		残留熱除去系熱交換器入口温度		<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td>消幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>後志幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	水源の確保	電源	消幹線 1 L, 2 L 電圧	後志幹線 1 L, 2 L 電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	原子炉補機冷却水供給母管流量	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映)          ・泊は女川と同様に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																														
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 復旧 (a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等  非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供熱域)																																																																																														
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																														
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																														
	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)																																																																																														
原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力 (広帯域)																																																																																														
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																														
補機監視機能	残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉圧力容器内の温度																																																																																														
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																														
電源の確保	6-2C 母線電圧	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																														
	125V 直流主母線 2A 電圧	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																														
原子炉圧力容器内の水位	6-2D 母線電圧	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																														
	4-2C 母線電圧	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																														
原子炉圧力容器内の圧力	4-2D 母線電圧	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																														
	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																															
原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																															
	原子炉圧力 (広帯域)																																																																																															
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (広帯域)																																																																																															
	原子炉圧力 (燃料域)																																																																																															
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA 広帯域)																																																																																															
	原子炉圧力 (SA 燃料域)																																																																																															
補機監視機能	原子炉水位 (停止域)																																																																																															
	原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																															
最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力 (SA)																																																																																															
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧																																																																																																
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位																																																																																														
		水源の確保																																																																																														
	電源	消幹線 1 L, 2 L 電圧																																																																																														
		後志幹線 1 L, 2 L 電圧																																																																																														
		甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																														
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																														
		原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																														
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																																																																															
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																															
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
操作	1.4.2.1(2) a, (b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水の操作手順と同様である。																																																																																															
		<p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>消幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>後志幹線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>A-高圧注入ポンプ及油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2) b, (c) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の水位	原子炉格納容器内の水位	電源	補機冷却	消幹線 1 L, 2 L 電圧	後志幹線 1 L, 2 L 電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	操作	A-高圧注入ポンプ及油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)	操作	1.4.2.1(2) b, (c) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転」の操作手順と同様である。																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 f. 復旧																																																																																																
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																														
		原子炉圧力容器内の圧力																																																																																														
		原子炉圧力容器内の水位																																																																																														
		原子炉格納容器内の水位																																																																																														
		電源																																																																																														
	補機冷却	消幹線 1 L, 2 L 電圧																																																																																														
		後志幹線 1 L, 2 L 電圧																																																																																														
		甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																														
		6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																														
		A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																																																																														
操作	A-高圧注入ポンプ及油冷却器補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																															
操作	1.4.2.1(2) b, (c) 1, 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替内循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧 (58/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順                      (a) サポート系故障時の対応手順                      1. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域～高温度側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域～低温度側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 消巻線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 接巻線 1 L, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>水質の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.2(1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (a) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧			(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温度側）	・ 1次冷却材温度（広域～低温度側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 低圧注入流量	電源	・ 消巻線 1 L, 2 L 電圧	・ 接巻線 1 L, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	水質の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.2(1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</li> </ul>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (a) サポート系故障時の対応手順 1. 復旧																																			
(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温度側）																																	
		・ 1次冷却材温度（広域～低温度側）																																	
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																	
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																	
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																	
		・ 低圧注入流量																																	
	電源	・ 消巻線 1 L, 2 L 電圧																																	
		・ 接巻線 1 L, 2 L 電圧																																	
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																	
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																	
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																			
補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流																																		
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																		
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																		
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																		
水質の確保	・ 補助給水ピット水位																																		
操作	1.4.2.2(1) a, (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																		



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																									
<p>監視計器一覧（48/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">—</td> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>・中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次系冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・停止時SR中中性子束高逸脱警報作動警報</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>LOCAの監視</td> <td>・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等			—	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計	・中性子源領域起動率計	・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ	原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）	原子炉格納容器内の温度	・余熱除去流量計	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度計	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ	信号	・停止時SR中中性子束高逸脱警報作動警報	補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	LOCAの監視	・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計	操作	—	—		<p>監視計器一覧（59/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉が停止中（この対応手順）</td> </tr> <tr> <td rowspan="13">—</td> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>・中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>・中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>・1次系補給水補給ライン流量制御</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>・格納容器圧力（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内核計装区域エリアモニタ</td> </tr> <tr> <td>信号</td> <td>・SRが停止時中性子束高（N31）警報 ・SRが停止時中性子束高（N32）警報</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・泊幹線 1L、2L電圧 ・麓志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>LOCAの監視</td> <td>・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉が停止中（この対応手順）			—	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束	・中性子源領域起動率	・1次系補給水補給ライン流量制御	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位	原子炉格納容器内の温度	・低圧注入流量	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器圧力（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内核計装区域エリアモニタ	信号	・SRが停止時中性子束高（N31）警報 ・SRが停止時中性子束高（N32）警報	補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	電源	・泊幹線 1L、2L電圧 ・麓志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	LOCAの監視	・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率	操作	—	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																												
(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等																																																																												
—	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計																																																																										
		・中性子源領域起動率計																																																																										
		・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計																																																																										
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																										
	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統水位計（CRT）																																																																										
	原子炉格納容器内の温度	・余熱除去流量計																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度計																																																																										
	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器圧力計（広域） ・AM用格納容器圧力計 ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ																																																																									
		信号	・停止時SR中中性子束高逸脱警報作動警報																																																																									
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																									
		電源	・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																									
		LOCAの監視	・格納容器サンプ水位計 ・格納容器サンプ水位増加率計																																																																									
操作	—	—																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																										
1.4.2.3 発電用原子炉が停止中（この対応手順）																																																																												
—	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束																																																																										
		・中性子源領域起動率																																																																										
		・1次系補給水補給ライン流量制御																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）																																																																										
	原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位																																																																										
	原子炉圧力容器内の注水量	・1次冷却系統ループ水位																																																																										
	原子炉格納容器内の温度	・低圧注入流量																																																																										
	原子炉格納容器内の圧力	・格納容器内温度																																																																										
	判断基準	原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器圧力（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器ガスモニタ ・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内核計装区域エリアモニタ																																																																									
		信号	・SRが停止時中性子束高（N31）警報 ・SRが停止時中性子束高（N32）警報																																																																									
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																									
		電源	・泊幹線 1L、2L電圧 ・麓志幹線 1L、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																									
		LOCAの監視	・格納容器サンプ水位 ・格納容器サンプ水位上昇率																																																																									
操作	—	—																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量 残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能 残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保 圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補機監視機能 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>水源の確保 圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量		電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の水位			原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)			原子炉压力容器への注水量 残留熱除去系ポンプ出口流量			補機監視機能 残留熱除去系ポンプ出口圧力			水源の確保 圧力制御室水位	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の水位		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)		電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉压力容器内の水位			原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)			原子炉压力容器への注水量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量			補機監視機能 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力			水源の確保 圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能</td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul>		操作	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</li> </ul>	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul>		操作	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)		操作	1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																					
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水																																																																																																							
非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																					
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																					
	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																					
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																					
	操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																					
		原子炉压力容器への注水量 残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																					
		補機監視機能 残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																					
		水源の確保 圧力制御室水位																																																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																					
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水																																																																																																							
非常時操作手順書 (継続ベース)「水位確保」等  非常時操作手順書 (設備別)「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																					
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																																																					
	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																					
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																					
	操作	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																					
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																					
		原子炉压力容器内の圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																					
		原子炉压力容器への注水量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																					
		補機監視機能 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																					
		水源の確保 圧力制御室水位																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																					
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																							
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力																																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul>																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能																																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 高圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</li> </ul>																																																																																																					
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力																																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ECCS作動</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 1次冷却材圧力 (広域)</li> <li>・ 原子炉格納容器圧力</li> <li>・ 格納容器圧力 (AM用)</li> </ul>																																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度 原子炉压力容器内の水位 原子炉压力容器内の注水量 水源の確保 補機監視機能																																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-高温度側)</li> <li>・ 1次冷却材温度 (広域-低温度側)</li> <li>・ 炉心出口温度</li> <li>・ 加圧器水位</li> <li>・ 原子炉容器水位</li> <li>・ 低圧注入流量</li> <li>・ 燃料取替用水ピット水位</li> <li>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</li> <li>・ 余熱除去ポンプ電流</li> </ul>																																																																																																					
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	水源の確保 ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																					
	操作	1.4.2.1(1)と(2)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (巻紙ベース) 「減圧冷却」等</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (供蒸機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (燃料機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料機)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (定検時水運用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (巻紙ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸機)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料機)	原子炉水位 (SA 広帯域)	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料機)	原子炉水位 (停止域)	補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水運用)	原子炉圧力	電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器温度	最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	補機監視機能	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力容器内の温度	操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	水源の確保	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																					
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																							
非常時操作手順書 (巻紙ベース) 「減圧冷却」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (供蒸機)																																																					
		原子炉水位 (広帯域)																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (燃料機)																																																					
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (SA 燃料機)																																																					
		原子炉水位 (停止域)																																																					
補機監視機能	補機監視機能	原子炉水位 (定検時水運用)																																																					
		原子炉圧力																																																					
電源の確保	補機監視機能	原子炉圧力 (SA)																																																					
		原子炉圧力容器温度																																																					
最終ヒートシンクの確保	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																					
		残留熱除去系熱交換器出口温度																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																							
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	判断基準	水源の確保																																																					
		原子炉圧力容器内の温度																																																					
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																					
		補機監視機能																																																					
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	判断基準	原子炉圧力容器内の圧力																																																					
		原子炉圧力容器内の温度																																																					
操作	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位																																																					
		水源の確保																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A 格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A 格納容器スプレイポンプ再循環サブ側入口格納容器隔離弁	A 1 原子炉コントロールセンタ
	A 充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 高圧注入ポンプ	4-2(4)A 非常用高圧母線
	B 高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B 電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A 主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	B 主蒸気逃がし弁	A 1 ソレノイド分電盤
	C 主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤
	D 主蒸気逃がし弁	B 1 ソレノイド分電盤

第 1.4-3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ 補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
		常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	燃料プール補給水系 弁	可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系ポンプ	常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
		可搬型代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可搬型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系 非常用高圧母線 2D 系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系 非常用高圧母線 2D 系
		可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系
代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系	
低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C 系	
低圧炉心スプレイ系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系	
原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系 緊急用低圧母線 MCC 2G 系	
	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系	
計測用電源*	可搬型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C 系 非常用低圧母線 MCC 2D 系	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A 125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視装置

第 1.4.3 表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	化学体積調整設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線
			B-B 非常用高圧母線
			A1-1 原子炉コントロールセンタ
			A2-1 原子炉コントロールセンタ
	常設代替交流電源設備	B-A 非常用高圧母線	
		B-B 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		A2-1 原子炉コントロールセンタ	
	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線
			B-B 非常用高圧母線
			A2-1 原子炉コントロールセンタ
			B2-1 原子炉コントロールセンタ
	常設代替交流電源設備	B-A 非常用高圧母線	
		B-B 非常用高圧母線	
A2-1 原子炉コントロールセンタ			
B2-1 原子炉コントロールセンタ			
常設除去設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A 1 非常用高圧母線	
		4-B 1 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		A2-1 原子炉コントロールセンタ	
非常用中心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A 1 非常用高圧母線	
		4-B 1 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		B1-1 原子炉コントロールセンタ	
非常用中心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線	
		B-B 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		B1-1 原子炉コントロールセンタ	
非常用中心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	常設代替交流電源設備	B-A 非常用高圧母線	
		B-B 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		B1-1 原子炉コントロールセンタ	
非常用中心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A 非常用高圧母線	
		B-B 非常用高圧母線	
		A1-1 原子炉コントロールセンタ	
		B1-1 原子炉コントロールセンタ	
所内常設蓄電式直流電源設備	非常用交流電源設備	A-1 直流母線	
		B-1 直流母線	

【大阪】  
記載方針の相違  
(女川審査実績の反映)



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																									
		<p>第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (2/2)</p> <table border="1" data-bbox="1377 223 2004 654"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象全文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="6">2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>B-1A非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>B-1A非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>管内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-1直流母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2次冷却設備（主蒸気設備）弁</td> <td>管内常設蓄電式直流電源設備</td> <td>A-1直流母線</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-1直流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td>代替管内電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ電源系統</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">非常用電源*</td> <td rowspan="5">非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>A2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>C2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>D2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>B-1M設備直流電源分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給母線は従来仕様</p>	対象全文	供給対象設備	給電元		設備	母線	【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-1A非常用高圧母線		B-1B非常用高圧母線	常設代替交流電源設備	B-1A非常用高圧母線		B-1B非常用高圧母線	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線		B-1直流母線	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線		B-1直流母線	代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	代替管内電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備	A2-1非常用交流分電盤	B2-1非常用交流分電盤	C2-1非常用交流分電盤	D2-1非常用交流分電盤	B-1M設備直流電源分電盤	
対象全文	供給対象設備	給電元																																										
		設備	母線																																									
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2次冷却設備（補助給水設備）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-1A非常用高圧母線																																									
			B-1B非常用高圧母線																																									
		常設代替交流電源設備	B-1A非常用高圧母線																																									
			B-1B非常用高圧母線																																									
		管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線																																									
			B-1直流母線																																									
	2次冷却設備（主蒸気設備）弁	管内常設蓄電式直流電源設備	A-1直流母線																																									
			B-1直流母線																																									
	代替格納容器スプレイポンプ	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																									
		常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																									
		可搬型代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																									
		代替管内電源設備	代替格納容器スプレイポンプ電源系統																																									
	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式直流電源設備 常設代替交流電源設備	A2-1非常用交流分電盤																																									
			B2-1非常用交流分電盤																																									
C2-1非常用交流分電盤																																												
D2-1非常用交流分電盤																																												
B-1M設備直流電源分電盤																																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

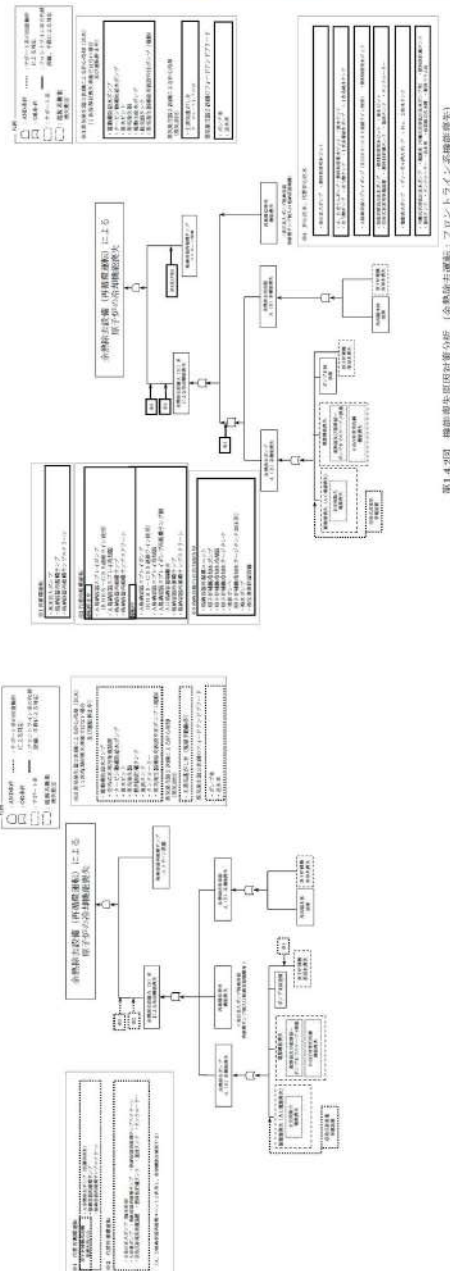

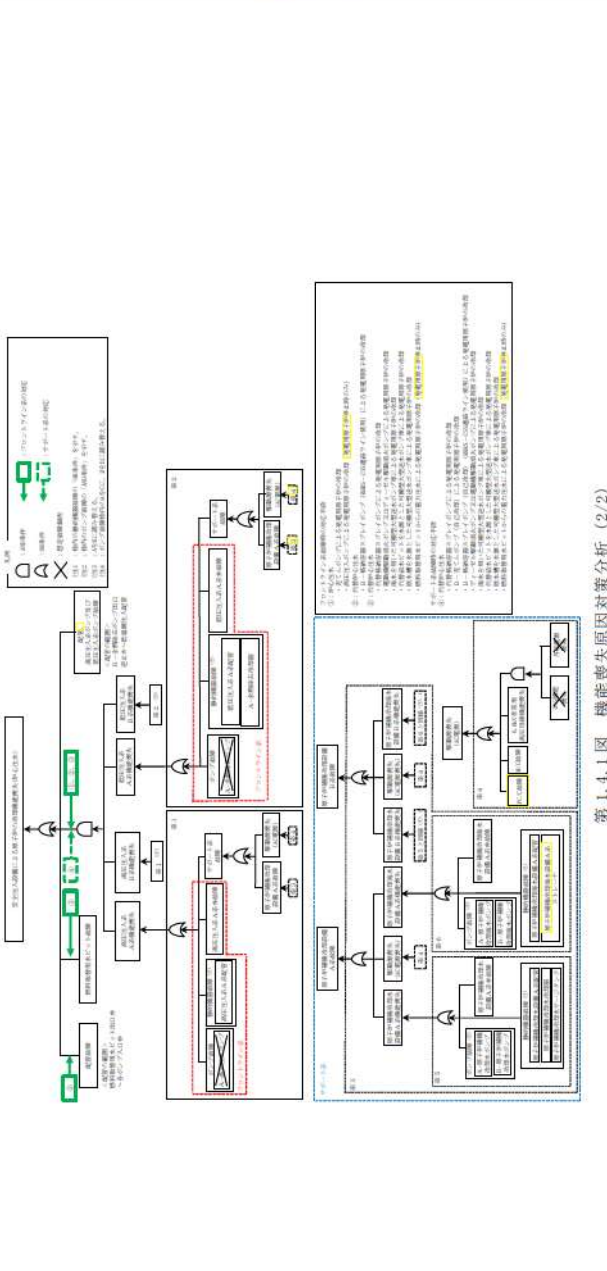
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1.4.1回 機能喪失原因対策分析 (炉心注水：フロントライン系機能喪失)</p>	<p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析 (1/2)</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤字点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠(実線、点線)とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.4.3図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.4図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p>	 <p>第1.4.4.5図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.6図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p>	 <p>第1.4.4.7図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p> <p>第1.4.4.8図 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。</li> <li>・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。</li> <li>・故障想定箇所を×印で記載。</li> <li>・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</li> </ul>

第 1.4.1 図 機能喪失原因対策分析 (2/2)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 319 1357 938" style="border: 1px solid black; height: 388px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="763 963 1341 983">第1.4-2図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="945 1235 1357 1260" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;">                     特開みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 785" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p data-bbox="2024 667 2170 890">【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                      （大飯と同様）</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 320 1364 927" style="border: 1px solid black; height: 380px; width: 271px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="770 954 1350 975">第 1.4-3 図 非常時操作手順書（敷設ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="954 1241 1364 1267" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 183px;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川 2号炉との比較対象なし                     </div>	<p data-bbox="2024 667 2168 890">【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                      （大飯と同様）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 316 1361 1066" style="border: 1px solid black; height: 470px; width: 273px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="770 1093 1346 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（微候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="952 1241 1361 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 183px;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 746 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p data-bbox="2027 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="750 319 1361 1109" style="border: 1px solid black; height: 495px; margin-bottom: 10px;"></div> <p data-bbox="779 1136 1323 1182">第 1.4-5 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー</p> <div data-bbox="949 1236 1355 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</div>	<div data-bbox="1469 742 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">女川 2号炉との比較対象なし</div>	<p data-bbox="2027 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 327 1355 1077" style="border: 1px solid black; height: 470px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="795 1109 1310 1157" style="text-align: center;"> <p>第1.4-6図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー</p> </div> <div data-bbox="952 1228 1355 1252" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1467 742 1915 790" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。                      （大飯と同様）</p>



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 316 1366 869" style="border: 1px solid black; height: 347px; width: 276px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 898 1335 943" style="text-align: center;">                     第1.4-7図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジ-4」における対応フロー                 </div> <div data-bbox="949 1246 1352 1273" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; text-align: center;">                     枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。                 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                         女川2号炉との比較対象なし                     </div>	<p>【女川】                      記載方針の相違                      ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
<p>第 1.4.5 図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	<p>第 1.4-8 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>実施機</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①A</td> <td>CEB 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②A</td> <td>蒸気 サンプリング 取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③A</td> <td>FRBW ポンプ送込弁</td> </tr> <tr> <td>④A</td> <td>1/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤A</td> <td>2/B 3/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥A</td> <td>2/B 1/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧A</td> <td>3/B A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨A</td> <td>3/B 炉ヘッドスプレイトランシエン洗浄装置調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-8 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	実施機	①A	CEB 復水入口弁	②A	蒸気 サンプリング 取出し止め弁	③A	FRBW ポンプ送込弁	④A	1/B 緊急時隔離弁	⑤A	2/B 3/B 緊急時隔離弁	⑥A	2/B 1/B 緊急時隔離弁	⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧A	3/B A 系 LPCI 注入隔離弁	⑨A	3/B 炉ヘッドスプレイトランシエン洗浄装置調整弁	<p>第 1.4.2 図 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 965 1960 1181"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①A</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②A</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③A</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>④A</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤A</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥A</td> <td>体積制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦A</td> <td>体積制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧A</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整機→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨A</td> <td>充てんラインC/B外側止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩A</td> <td>充てんラインC/A外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整機</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①A	A-充てんポンプ	起動確認	②A	B-充てんポンプ	起動確認	③A	C-充てんポンプ	起動確認	④A	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁A	全閉→全開	⑤A	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁B	全閉→全開	⑥A	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉	⑦A	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉	⑧A	充てん流量制御弁	調整機→全開	⑨A	充てんラインC/B外側止め弁	全閉→全開	⑩A	充てんラインC/A外側隔離弁	全閉→全開	⑪	充てん流量制御弁	全開→調整機	<p>【大飯】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】          設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	実施機																																																										
①A	CEB 復水入口弁																																																										
②A	蒸気 サンプリング 取出し止め弁																																																										
③A	FRBW ポンプ送込弁																																																										
④A	1/B 緊急時隔離弁																																																										
⑤A	2/B 3/B 緊急時隔離弁																																																										
⑥A	2/B 1/B 緊急時隔離弁																																																										
⑦	復水貯留タンク 常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
⑧A	3/B A 系 LPCI 注入隔離弁																																																										
⑨A	3/B 炉ヘッドスプレイトランシエン洗浄装置調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
①A	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
②A	B-充てんポンプ	起動確認																																																									
③A	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
④A	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁A	全閉→全開																																																									
⑤A	充てんポンプ入口燃料取扱用水ビット側入口弁B	全閉→全開																																																									
⑥A	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																									
⑦A	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																									
⑧A	充てん流量制御弁	調整機→全開																																																									
⑨A	充てんラインC/B外側止め弁	全閉→全開																																																									
⑩A	充てんラインC/A外側隔離弁	全閉→全開																																																									
⑪	充てん流量制御弁	全開→調整機																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

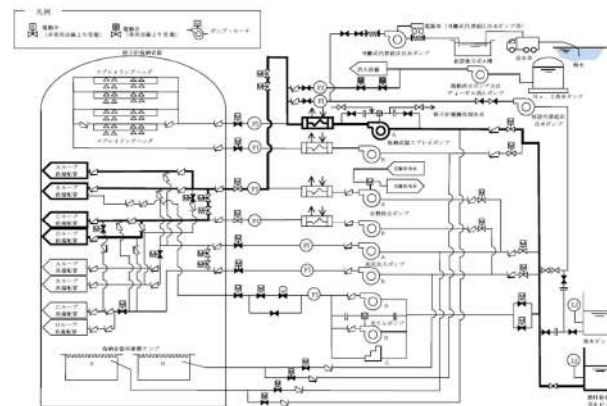
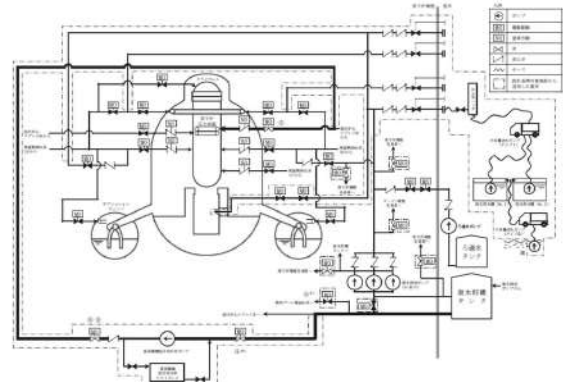
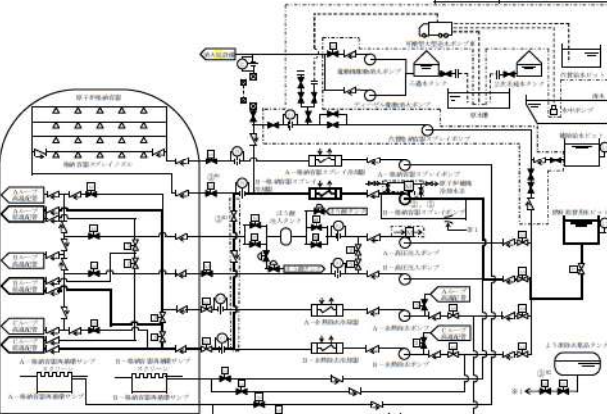
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>		<p>【女川】                  設備の相違(BWR 固有の対応手段)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="873 941 1232 1037"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>炉心注水調整弁</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>注水ポンプ機送弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>DCMポンプ機送弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>DCM自入流量調整弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1422 1061 1960 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>よう素除去薬品タンク注入Bライン止め弁後弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	炉心注水調整弁	起動→停止	②	注水ポンプ機送弁	全開確認	③	DCMポンプ機送弁	全開→全閉	④	DCM自入流量調整弁	全開→全閉	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	②	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開確認	③	よう素除去薬品タンク注入Bライン止め弁後弁	全開→全閉	④	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）	全開→全閉	⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	 <p>第1.4.3図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】          設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	炉心注水調整弁	起動→停止																																		
②	注水ポンプ機送弁	全開確認																																		
③	DCMポンプ機送弁	全開→全閉																																		
④	DCM自入流量調整弁	全開→全閉																																		
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																		
②	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/V外側隔離弁	全開確認																																		
③	よう素除去薬品タンク注入Bライン止め弁後弁	全開→全閉																																		
④	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対象）	全開→全閉																																		
⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																		



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉

経過時間 (分)	5	10	15	20	25	30	35	40	45	備考
手順の項目	7時20分A格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水開始									
要員 (数)	1									
運転員等 (中央制御室)	系統構建									
A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	ポンプ起動確認 原子炉への注水確認									
運転員等 (現場)	移動 RHRS-CSS連絡ライン弁電入									

※：現象移動時間には防護装置動作時間を含む。

第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

経過時間 (分)	10	20	30	40	50	60	70	備考
手順の項目	35分 原子炉圧力容器への注水							
要員 (数)	1							
運転員 (中央制御室) A	電圧確認 <sup>※1</sup>							
低圧代替注水 (常設) (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉圧力容器への注水	系統構成、ポンプ駆動 <sup>※2</sup>							
運転員 (現場) B, C	部内移動、系統構成 <sup>※3</sup>							

※1：中央制御室での状況確認に必要な経過時間  
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間  
 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間

第1.4-11図 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水ポンプ) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉

経過時間 (分)	10	20	30	備考
手順の項目	B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水開始			
要員 (数)	1			
運転員 (中央制御室) A	系統構成 <sup>※1</sup>			
B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水	移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作 <sup>※2</sup>			
運転員 (現場) B	移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作 <sup>※2</sup>			

※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間  
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間  
 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間

第1.4.4図 B-格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

相違理由

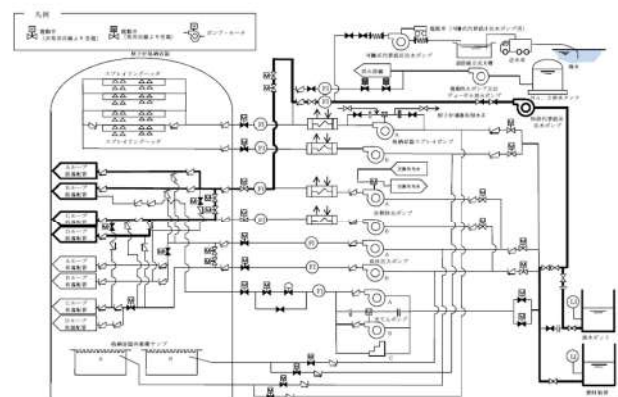
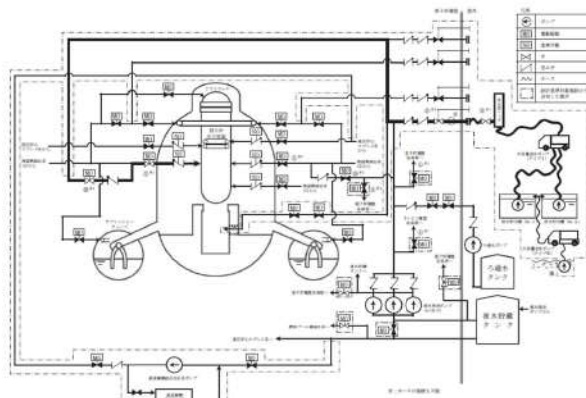
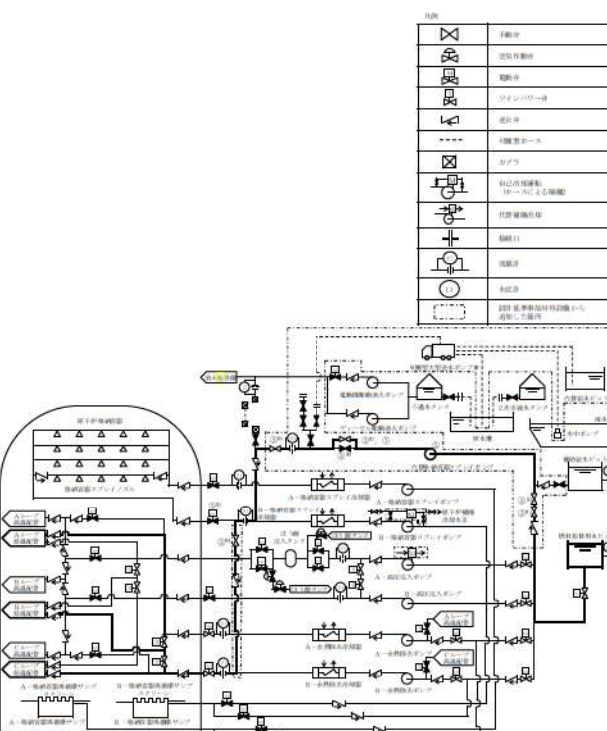
【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加
【女川】 設備の相違 (BWR固有の対応手段)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
 <p>第 1.4.8 図 代替代替注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 861 1299 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>帯名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#2</sup></td> <td>R/B 11F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#3</sup></td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>R/R A 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#2</sup></td> <td>R/R B 系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#1</sup></td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#2</sup></td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>#1</sup></td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>#2</sup></td> <td>R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨を示す。</p> <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	帯名称	④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁	④ <sup>#2</sup>	R/B 11F 緊急時隔離弁	④ <sup>#3</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ <sup>#1</sup>	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁	⑤ <sup>#2</sup>	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁	⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑦ <sup>#1</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑧ <sup>#2</sup>	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.5 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1411 1029 1971 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/C水側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#2</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#3</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#2</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#3</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#1</sup></td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁</td> <td>全閉→調整</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁</td> <td>調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	④ <sup>#1</sup>	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/C水側隔離弁	全閉→全開	④ <sup>#2</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開	④ <sup>#3</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開	⑤ <sup>#1</sup>	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全閉→全開	⑤ <sup>#2</sup>	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	⑤ <sup>#3</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開	⑥ <sup>#1</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全閉→調整	⑦	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	⑧	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	調整	<p>【大飯】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】              設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	帯名称																																																				
④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁																																																				
④ <sup>#2</sup>	R/B 11F 緊急時隔離弁																																																				
④ <sup>#3</sup>	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																				
⑤ <sup>#1</sup>	R/R A 系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑤ <sup>#2</sup>	R/R B 系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁																																																				
⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																				
⑦ <sup>#1</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																				
⑧ <sup>#2</sup>	R/R B 系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																			
④ <sup>#1</sup>	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/C水側隔離弁	全閉→全開																																																			
④ <sup>#2</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口第1止め弁	全閉→全開																																																			
④ <sup>#3</sup>	代替格納容器スプレイポンプ入口第2止め弁	全閉→全開																																																			
⑤ <sup>#1</sup>	B-全熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁（SA対策）	全閉→全開																																																			
⑤ <sup>#2</sup>	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																																																			
⑤ <sup>#3</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ用絞り弁	全閉→全開																																																			
⑥ <sup>#1</sup>	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	全閉→調整																																																			
⑦	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																			
⑧	代替格納容器スプレイポンプ出口中心注水用絞り弁	調整																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

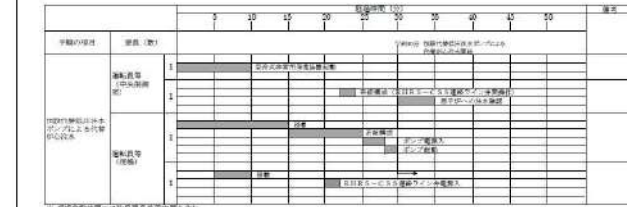
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由



第1.4-9図 無圧代替注水システムによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート



第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート



第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート



第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

フロントライン系故障時



※1：機器の操作時間及び操作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※2：中央監視室から機器作動前までの長所時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

サポート系故障時



※1：代替非常用発電機からの給電は「1.4-電源の確保に関する手順等」にて整備する。  
 ※2：機器の操作時間及び操作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※3：中央監視室から機器作動前までの長所時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※4：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

第1.4.6図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート

【大阪】  
 設備の相違  
 (相違理由②)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1442 285 1727 1307" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員(数)</th> <th colspan="2">経過時間(分)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>10</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)</td> <td>運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1</td> <td></td> <td>25分 ▽</td> <td>操作手順 ②</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>系統構成※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>移動、系統構成※2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間                      ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p> </div>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考	10	30	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1		25分 ▽	操作手順 ②				系統構成※1					移動、系統構成※2		<div data-bbox="2024 754 2130 834" style="color: red; font-size: small;">                     【大飯】                      設備の相違                      (相違理由①)                 </div>
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)			備考																				
		10	30																						
代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1		25分 ▽	操作手順 ②																					
			系統構成※1																						
			移動、系統構成※2																						

第 1.4.7 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水  
 (原子炉格納容器注水から原子炉格納容器への注水切替え)

タイムチャート

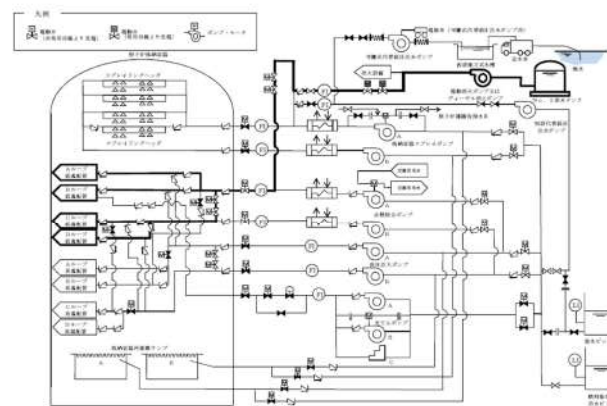
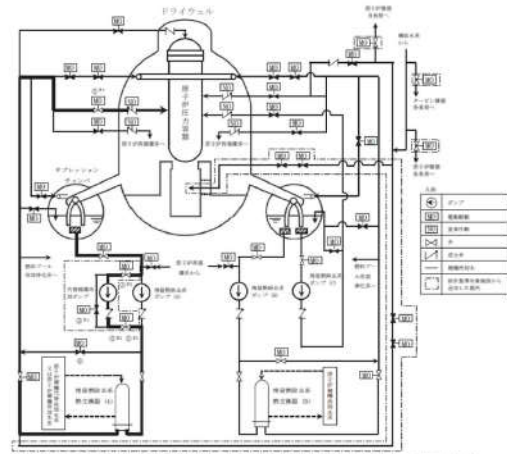
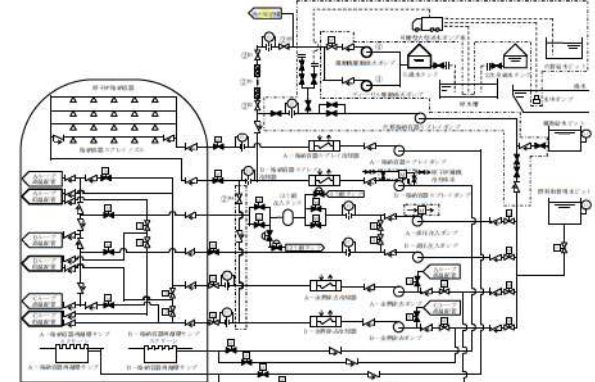


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																											
 <p>第1.4.10図 電動消火ポンプ又はディーゼルのポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 925 1332 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③<sup>#1</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>#2</sup> ⑤<sup>#2</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#3</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>RBR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>組戻熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-16図 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ <sup>#1</sup>	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ <sup>#2</sup> ⑤ <sup>#2</sup>	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	④ <sup>#3</sup>	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ <sup>#1</sup>	RBR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥	組戻熱交換器 (A) バイパス弁	 <p>第1.4.8図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1792 311 1993 654"> <caption>凡例</caption> <tbody> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>空気作動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>タービン駆動弁</td></tr> <tr><td></td><td>停止弁</td></tr> <tr><td></td><td>可搬型弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>水位計</td></tr> <tr><td></td><td>カゲツ</td></tr> <tr><td></td><td>接続口</td></tr> <tr><td></td><td>自己回転機構 (ボースによる制御)</td></tr> <tr><td></td><td>代替炉心注水</td></tr> <tr><td></td><td>設計基準事故対応設備から逃出した蒸気</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1422 1053 1971 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②<sup>#</sup></td> <td>分岐用弁</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#</sup></td> <td>3号機消火水注入ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#</sup></td> <td>3号機消火水供給ライン第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#</sup></td> <td>1号機熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#</sup></td> <td>3号機消火水供給ライン第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>電動機駆動消火ポンプ<sup>#</sup> ディーゼル駆動消火ポンプ<sup>#</sup></td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。          ※：どちらかの1台を起動する。</p>		手動弁		空気作動弁		電動弁		タービン駆動弁		停止弁		可搬型弁		逆止弁		水位計		カゲツ		接続口		自己回転機構 (ボースによる制御)		代替炉心注水		設計基準事故対応設備から逃出した蒸気	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>#</sup>	分岐用弁	ボース接続	② <sup>#</sup>	3号機消火水注入ライン止め弁	全閉→全開	② <sup>#</sup>	3号機消火水供給ライン第2止め弁	全閉→全開	② <sup>#</sup>	1号機熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	② <sup>#</sup>	3号機消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開	④	電動機駆動消火ポンプ <sup>#</sup> ディーゼル駆動消火ポンプ <sup>#</sup>	停止→起動	<p>【大飯】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を組む</p> <p>【女川】          設備の相違(BWR固有の対応手段)</p>
操作手順	弁名称																																																													
③ <sup>#1</sup>	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																																													
③ <sup>#2</sup> ⑤ <sup>#2</sup>	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																													
④ <sup>#3</sup>	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																													
⑤ <sup>#1</sup>	RBR A系 LPCI 注入隔離弁																																																													
⑥	組戻熱交換器 (A) バイパス弁																																																													
	手動弁																																																													
	空気作動弁																																																													
	電動弁																																																													
	タービン駆動弁																																																													
	停止弁																																																													
	可搬型弁																																																													
	逆止弁																																																													
	水位計																																																													
	カゲツ																																																													
	接続口																																																													
	自己回転機構 (ボースによる制御)																																																													
	代替炉心注水																																																													
	設計基準事故対応設備から逃出した蒸気																																																													
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																												
② <sup>#</sup>	分岐用弁	ボース接続																																																												
② <sup>#</sup>	3号機消火水注入ライン止め弁	全閉→全開																																																												
② <sup>#</sup>	3号機消火水供給ライン第2止め弁	全閉→全開																																																												
② <sup>#</sup>	1号機熱除去冷却器出口格納容器スプレッド水注入ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																																												
② <sup>#</sup>	3号機消火水供給ライン第1止め弁	全閉→全開																																																												
④	電動機駆動消火ポンプ <sup>#</sup> ディーゼル駆動消火ポンプ <sup>#</sup>	停止→起動																																																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水	運転員等(中央制御室)	1	電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水開始
	運転員等(現場)	1	系統構成
	運転員等(現場)	1	移動
	運転員等(現場)	1	RHS-CSS連絡ライン弁及び消火水ライン弁電閉入

電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 40分

系統構成

ポンプ起動

注水操作

系統構成

RHS-CSS連絡ライン弁及び消火水ライン弁電閉入

※：現場移動時間には2分保護具着用時間を含む。

第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	15分 原子炉圧力容器への注水
			電源確保 <sup>※1</sup>
			系統構成、ポンプ起動 <sup>※2</sup>
			②
			③～④

電源確保<sup>※1</sup>

系統構成、ポンプ起動<sup>※2</sup>

②

③～④

備考

第1.4-17図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉

手順の項目	要員(数)	経過時間(分)	備考
電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	運転員(中央制御室) A	1	電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水開始 40分
	運転員(現場) B	1	系統構成 <sup>※1</sup>
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成 <sup>※2</sup>
	運転員(現場) C	1	移動、系統構成 <sup>※3</sup>

電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水開始 40分

系統構成<sup>※1</sup>

移動、系統構成<sup>※2</sup>

移動、系統構成<sup>※3</sup>

備考

電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水開始 40分

電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプ 起動<sup>※3</sup>

移動、系統構成<sup>※2</sup>

移動、系統構成<sup>※3</sup>

※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間  
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間  
 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間

第1.4.9図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート

相違理由

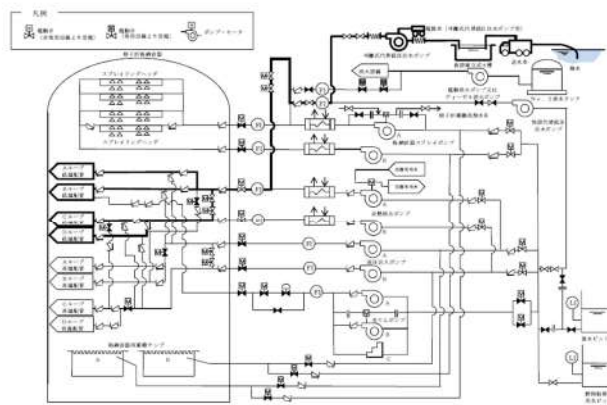
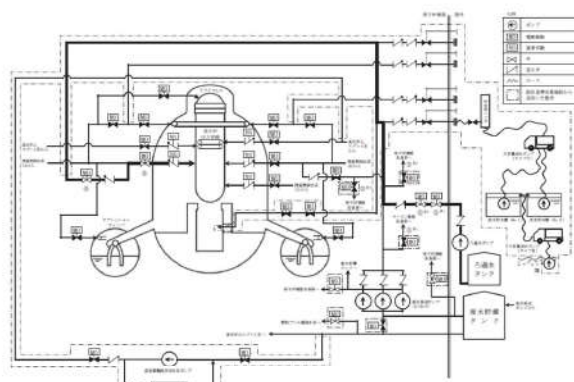
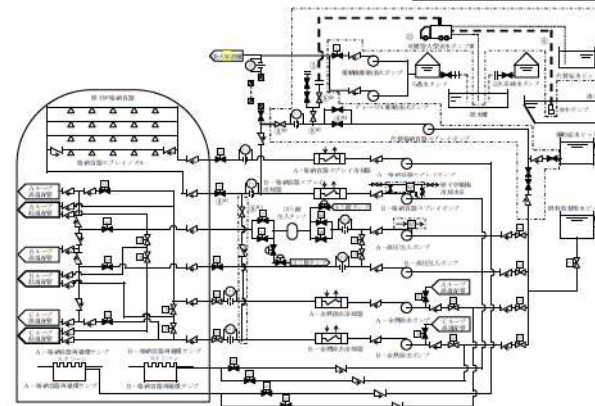
【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
 <p>第 1.4.12 図 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 869 1332 1093"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>R/B B1P 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>R/B 1P 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>R/R A 系 LCVI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	名称	①#1	T/B 緊急時隔離弁	①#2	R/B B1P 緊急時隔離弁	①#3	R/B 1P 緊急時隔離弁	②#1	FW 系連絡第一弁	②#2	FW 系連絡第二弁	③	R/R A 系 LCVI 注入隔離弁	④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.10 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1037 1982 1189"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>ボース接続</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>B-格納容器スプレイ蒸気出口(C)外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>B-系蒸気除去蒸気出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (0A対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#4</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#5</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③#6</td> <td>R/T-システムホスモニア組可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ボース	ボース接続	②	可搬型ボース	ボース接続	③#1	B-格納容器スプレイ蒸気出口(C)外側隔離弁	全閉→全開	③#2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開	③#3	B-系蒸気除去蒸気出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (0A対策)	全閉→全開	③#4	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続弁	全閉→全開	③#5	代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	③#6	R/T-システムホスモニア組可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開	④	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・凡例の記載内容              充実              ・概要図と操作内              容を紐づけ</p>
操作手順	名称																																																
①#1	T/B 緊急時隔離弁																																																
①#2	R/B B1P 緊急時隔離弁																																																
①#3	R/B 1P 緊急時隔離弁																																																
②#1	FW 系連絡第一弁																																																
②#2	FW 系連絡第二弁																																																
③	R/R A 系 LCVI 注入隔離弁																																																
④	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																															
①	可搬型ボース	ボース接続																																															
②	可搬型ボース	ボース接続																																															
③#1	B-格納容器スプレイ蒸気出口(C)外側隔離弁	全閉→全開																																															
③#2	代替格納容器スプレイポンプ接続ライン止め弁	全閉→全開																																															
③#3	B-系蒸気除去蒸気出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (0A対策)	全閉→全開																																															
③#4	代替格納容器スプレイポンプ出口格納容器スプレイ接続弁	全閉→全開																																															
③#5	代替格納容器スプレイポンプ出口可搬型ポンプ接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																															
③#6	R/T-システムホスモニア組可搬型ポンプ車接続ライン止め弁 (SA対策)	全閉→全開																																															
④	可搬型大型送水ポンプ車	停止→起動																																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図1.4.1500 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水 タイムチャート</p> <p>図1.4.1500 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水 タイムチャート</p> <p>※ 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水作業の順序を示す。</p>	<p>図1.4-19 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>図1.4-19 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要な操作時間          ※2：機器の操作時間及び動作時間による要な見込み時間</p>	<p>図1.4.11 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> <p>図1.4.11 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大阪】          記載方針の相違          （女川審査実績の反映）          ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ          ・補足の充実          ・備考欄の追加</p>

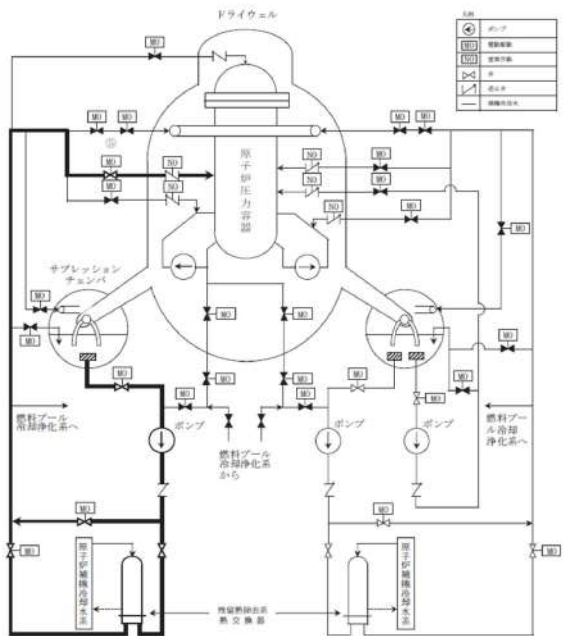
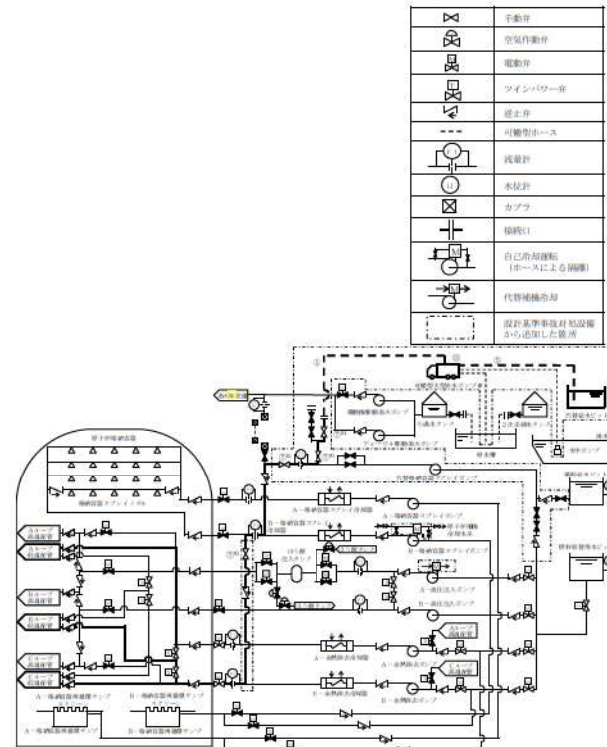


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4-20図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第1.4.12図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

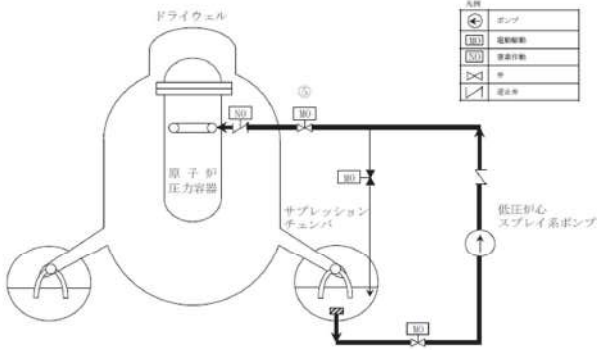
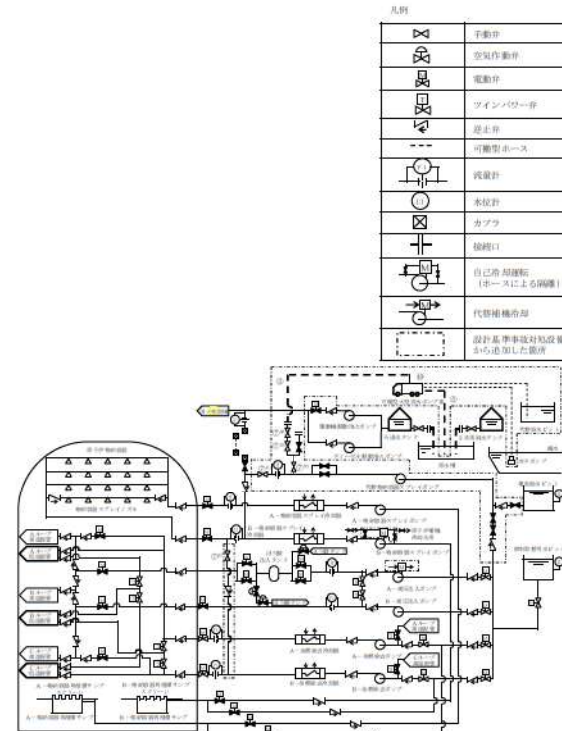
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-21 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4.13 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<p>【大飯】              設備の相違              (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-22 図 低圧炉心スプレー系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.14 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	<p style="text-align: center;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>第1.4-23図 低圧レベル系復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第 1.4.15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大飯】                  設備の相違                  (相違理由③)</p>

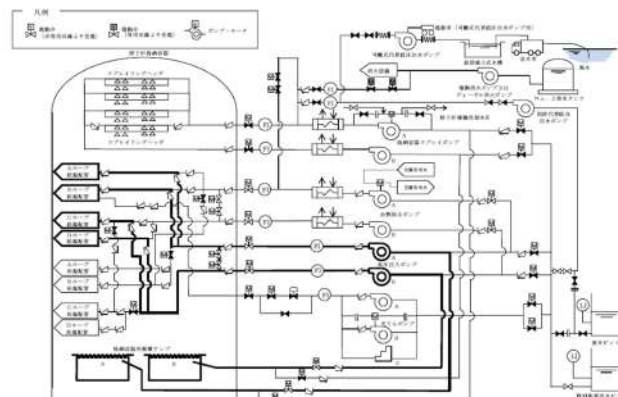
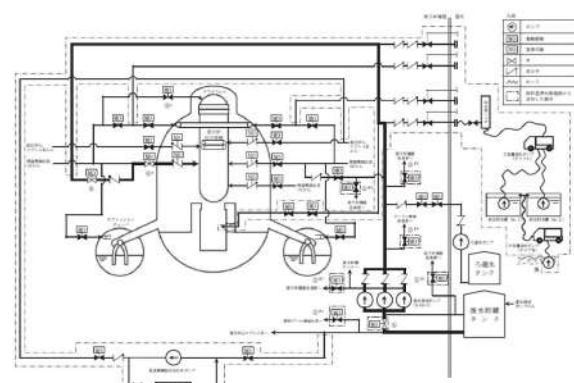
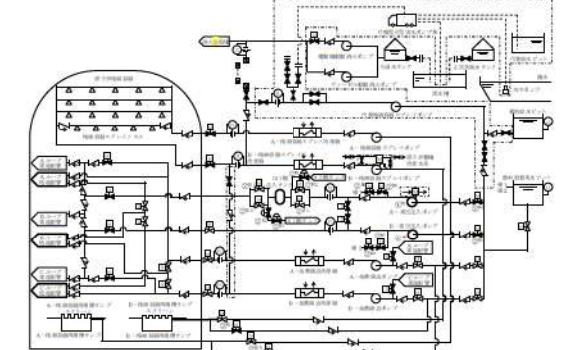


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

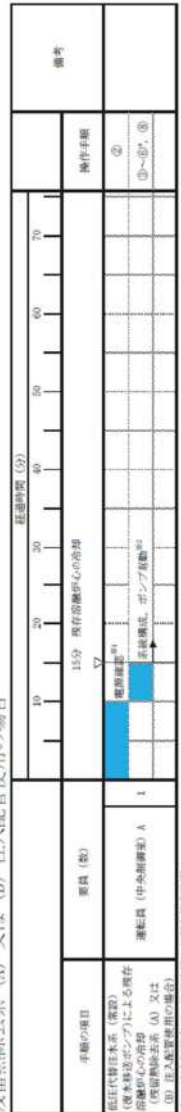
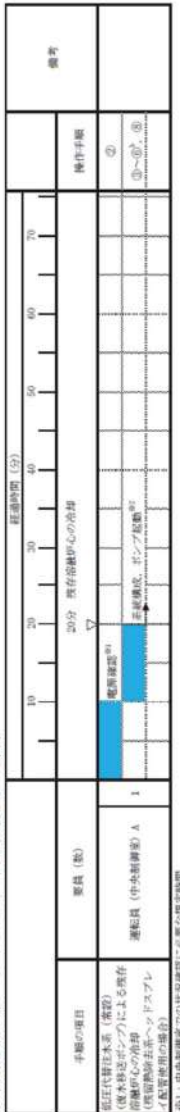
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																												
 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <p>第1.4.14図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概略系統</p>	 <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 861 1265 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①<sup>1)</sup></td><td>C/D 復水入口弁</td></tr> <tr><td>②<sup>1)</sup></td><td>融解 サンプラインダ取出し止め弁</td></tr> <tr><td>③<sup>1)</sup></td><td>同融解 サンプ線込弁</td></tr> <tr><td>④<sup>1)</sup></td><td>R/B 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑤<sup>1)</sup></td><td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑥<sup>1)</sup></td><td>R/B J/F 緊急時隔離弁</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td></tr> <tr><td>⑧<sup>1)</sup></td><td>融解 A系 LPCI 注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑨<sup>1)</sup></td><td>融解 ヘッドスプレイ注入隔離弁</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>融解 ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td></tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-24図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① <sup>1)</sup>	C/D 復水入口弁	② <sup>1)</sup>	融解 サンプラインダ取出し止め弁	③ <sup>1)</sup>	同融解 サンプ線込弁	④ <sup>1)</sup>	R/B 緊急時隔離弁	⑤ <sup>1)</sup>	R/B B/F 緊急時隔離弁	⑥ <sup>1)</sup>	R/B J/F 緊急時隔離弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ <sup>1)</sup>	融解 A系 LPCI 注入隔離弁	⑨ <sup>1)</sup>	融解 ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑩	融解 ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>凡例              ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿</p> <table border="1" data-bbox="1433 917 1948 1236"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク蓄積ライン入口止め弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>②<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク蓄積ライン出口1止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>③<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク蓄積ライン出口2止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>④<sup>1)</sup></td><td>A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑤<sup>1)</sup></td><td>B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑥<sup>1)</sup></td><td>A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑦<sup>1)</sup></td><td>B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑧<sup>1)</sup></td><td>A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑨<sup>1)</sup></td><td>B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑩<sup>1)</sup></td><td>A→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑪<sup>1)</sup></td><td>B→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑫<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク入口弁A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑬<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク入口弁B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑭<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑮<sup>1)</sup></td><td>ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑯<sup>1)</sup></td><td>A→高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑰<sup>1)</sup></td><td>B→高圧注入ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.16図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全開	② <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン出口1止め弁	全開→全閉	③ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン出口2止め弁	全開→全閉	④ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉→全開	⑤ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉→全開	⑥ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	⑦ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	⑧ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	⑨ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	⑩ <sup>1)</sup>	A→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁	全閉→全開	⑪ <sup>1)</sup>	B→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁	全閉→全開	⑫ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク入口弁A	全閉→全開	⑬ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク入口弁B	全閉→全開	⑭ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開	⑮ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開	⑯ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ	停止→起動	⑰ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																														
① <sup>1)</sup>	C/D 復水入口弁																																																																														
② <sup>1)</sup>	融解 サンプラインダ取出し止め弁																																																																														
③ <sup>1)</sup>	同融解 サンプ線込弁																																																																														
④ <sup>1)</sup>	R/B 緊急時隔離弁																																																																														
⑤ <sup>1)</sup>	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑥ <sup>1)</sup>	R/B J/F 緊急時隔離弁																																																																														
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																														
⑧ <sup>1)</sup>	融解 A系 LPCI 注入隔離弁																																																																														
⑨ <sup>1)</sup>	融解 ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																														
⑩	融解 ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																													
① <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン入口止め弁	全閉→全開																																																																													
② <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン出口1止め弁	全開→全閉																																																																													
③ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク蓄積ライン出口2止め弁	全開→全閉																																																																													
④ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉→全開																																																																													
⑤ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁	全閉→全開																																																																													
⑥ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑦ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑧ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑨ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開																																																																													
⑩ <sup>1)</sup>	A→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁	全閉→全開																																																																													
⑪ <sup>1)</sup>	B→安全注入ポンプ再循環サンプ側A/C/V外側隔離弁	全閉→全開																																																																													
⑫ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク入口弁A	全閉→全開																																																																													
⑬ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク入口弁B	全閉→全開																																																																													
⑭ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開																																																																													
⑮ <sup>1)</sup>	ほう復注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開																																																																													
⑯ <sup>1)</sup>	A→高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													
⑰ <sup>1)</sup>	B→高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由	
	<p>残留熱除去系 (A) 又は (B) 注入配管使用の場合</p>  <p>15分 既存溶融炉心の冷却</p> <p>電源確保<sup>※1</sup>                  系統構成、ポンプ駆動<sup>※2</sup></p> <p>要員 (数)                  運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>手順の項目                  低圧代替注水系 (常設)                  (復水移送ポンプ) による既存溶融炉心の冷却                  (残留熱除去系 (A) 又は (B)) 注入配管使用の場合)</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要員想定時間                  ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を足込んだ時間</p>	<p>残留熱除去系ヘッドスプレイレ配管使用の場合</p>  <p>20分 既存溶融炉心の冷却</p> <p>電源確保<sup>※1</sup>                  系統構成、ポンプ駆動<sup>※2</sup></p> <p>要員 (数)                  運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>手順の項目                  低圧代替注水系 (常設)                  (復水移送ポンプ) による既存溶融炉心の冷却                  (残留熱除去系ヘッドスプレイレ配管使用の場合)</p> <p>※1：中央制御室での状況確認による要員想定時間                  ※2：機器の動作時間及び動作時間に余裕を足込んだ時間</p> <p>第 1.4-25 図 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による既存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>第 1.4.15 図 A格納容器スプレイポンプ (RHRC-CSS 連絡ライン使用) による代替循環運転 概略図</p>	<p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="784 957 1321 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>#1</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#2</sup> ③<sup>#2</sup> ④<sup>#2</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#3</sup></td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#4</sup></td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>#4</sup></td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	① <sup>#1</sup>	代替循環冷却ポンプバイパス弁	② <sup>#2</sup> ③ <sup>#2</sup> ④ <sup>#2</sup>	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	⑤ <sup>#3</sup>	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑥ <sup>#4</sup>	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑦ <sup>#4</sup>	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	<p>第 1.4.17 図 B-格納容器スプレイポンプ (RHRC-CSS 連絡ライン使用) による代替再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1960 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>#1</sup></td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>#1</sup></td> <td>上り割除去装置タンク注入Bライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③<sup>#1</sup></td> <td>B-熱除去ポンプRHR側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#1</sup></td> <td>B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>#1</sup>	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁	全開→全閉	② <sup>#1</sup>	上り割除去装置タンク注入Bライン止め弁	全開→全閉	③ <sup>#1</sup>	B-熱除去ポンプRHR側入口弁	全開確認	④ <sup>#1</sup>	B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁	全開→全閉	⑤ <sup>#1</sup>	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	全開確認	⑥ <sup>#1</sup>	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	⑦	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】              記載方針の相違              (女川審査実績の反映)              ・凡例の記載内容              充実              ・概要図と操作内              容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																								
① <sup>#1</sup>	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																								
② <sup>#2</sup> ③ <sup>#2</sup> ④ <sup>#2</sup>	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																								
⑤ <sup>#3</sup>	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																								
⑥ <sup>#4</sup>	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																								
⑦ <sup>#4</sup>	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																								
⑧	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																								
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																							
① <sup>#1</sup>	B-格納容器スプレイ冷却器出口C/A外側隔離弁	全開→全閉																																							
② <sup>#1</sup>	上り割除去装置タンク注入Bライン止め弁	全開→全閉																																							
③ <sup>#1</sup>	B-熱除去ポンプRHR側入口弁	全開確認																																							
④ <sup>#1</sup>	B-熱除去ポンプ再循環センズ側入口弁	全開→全閉																																							
⑤ <sup>#1</sup>	B-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット側入口弁	全開確認																																							
⑥ <sup>#1</sup>	B-熱除去冷却器出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																							
⑦	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																							

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉



※ 変更移動時には防振器具取付時間を含む。

第1.4.16図 A格納容器スプレイポンプ (RHRSS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉



※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間  
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合



※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間  
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間

泊発電所3号炉



※1：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間  
 ※3：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

第1.4.18図 B一格納容器スプレイポンプ (RHRSS-CSS連絡ライン使用)

による代替再循環運転 タイムチャート

- 【大阪】  
 記載方針の相違  
 (女川審査実績の反映)  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

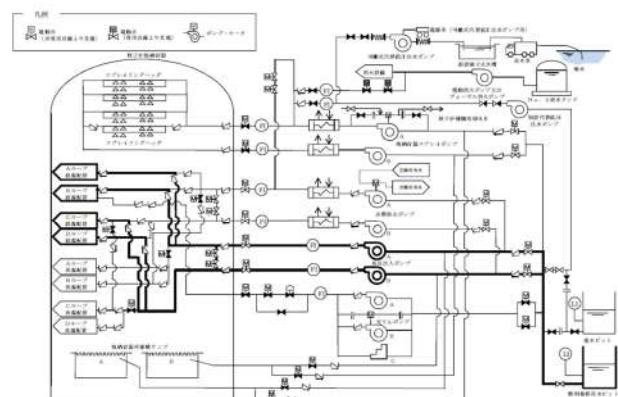
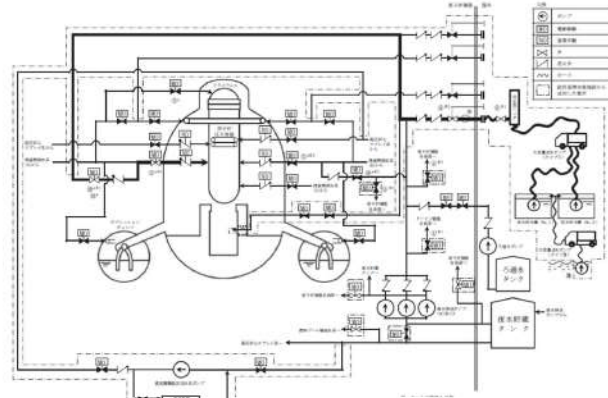
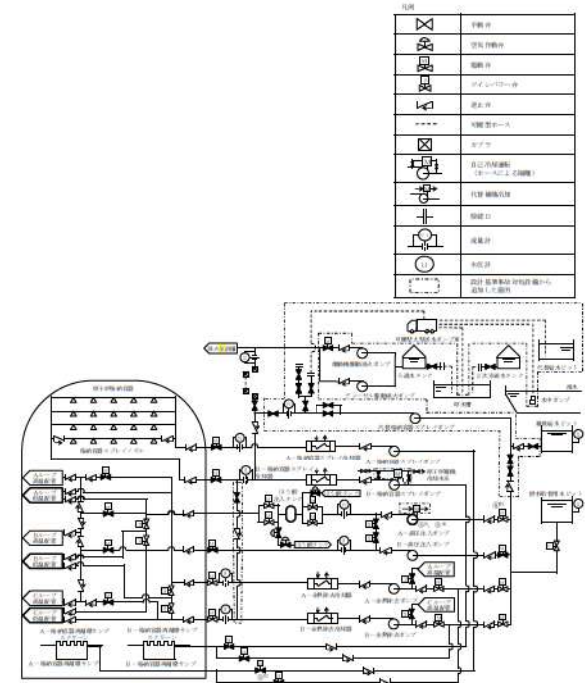


1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																	
 <p>第1.4.17図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概要図</p>	 <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 861 1299 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④<sup>#1</sup></td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#2</sup></td> <td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④<sup>#3</sup></td> <td>R/B 1/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#1</sup></td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#2</sup></td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#</sup></td> <td>R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#1</sup></td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#2</sup></td> <td>緊急時原子炉東側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>#1</sup> ⑧<sup>#</sup></td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>#2</sup></td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-28図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	赤名称	④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁	④ <sup>#2</sup>	R/B B/F 緊急時隔離弁	④ <sup>#3</sup>	R/B 1/F 緊急時隔離弁	⑤ <sup>#1</sup>	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ <sup>#2</sup>	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑤ <sup>#</sup>	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁	⑧ <sup>#1</sup> ⑧ <sup>#</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁	⑧ <sup>#2</sup>	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁	 <table border="1" data-bbox="1769 335 1960 630"> <thead> <tr> <th>記号</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(X)</td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td>(Y)</td> <td>遠隔操作弁</td> </tr> <tr> <td>(Z)</td> <td>隔離弁</td> </tr> <tr> <td>(A)</td> <td>ワンウェイバルブ</td> </tr> <tr> <td>(B)</td> <td>逆止弁</td> </tr> <tr> <td>(C)</td> <td>隔離型バルブ</td> </tr> <tr> <td>(D)</td> <td>安全弁</td> </tr> <tr> <td>(E)</td> <td>自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）</td> </tr> <tr> <td>(F)</td> <td>圧力感知機構</td> </tr> <tr> <td>(G)</td> <td>検知口</td> </tr> <tr> <td>(H)</td> <td>調整弁</td> </tr> <tr> <td>(I)</td> <td>弁駆動機</td> </tr> <tr> <td>(J)</td> <td>自力駆動型弁駆動機構（圧力による駆動）</td> </tr> </tbody> </table> <p>第1.4.19図 格納容器再循環サンプルスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1422 1029 1937 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤<sup>#</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#</sup></td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプル側入口C/F側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>#</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料冷却器排水ピット側入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>#</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	記号	説明	(X)	手動弁	(Y)	遠隔操作弁	(Z)	隔離弁	(A)	ワンウェイバルブ	(B)	逆止弁	(C)	隔離型バルブ	(D)	安全弁	(E)	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）	(F)	圧力感知機構	(G)	検知口	(H)	調整弁	(I)	弁駆動機	(J)	自力駆動型弁駆動機構（圧力による駆動）	操作手順	操作対象機器	状態の変化	⑤ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑥ <sup>#</sup>	A-安全注入ポンプ再循環サンプル側入口C/F側隔離弁	全開→全閉	⑥ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ燃料冷却器排水ピット側入口弁	全開→全閉	⑤ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	赤名称																																																																			
④ <sup>#1</sup>	T/B 緊急時隔離弁																																																																			
④ <sup>#2</sup>	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																																			
④ <sup>#3</sup>	R/B 1/F 緊急時隔離弁																																																																			
⑤ <sup>#1</sup>	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																			
⑤ <sup>#2</sup>	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																																			
⑤ <sup>#</sup>	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																			
⑥ <sup>#1</sup>	原子炉・格納容器下部注水弁																																																																			
⑥ <sup>#2</sup>	緊急時原子炉東側外部注水入口弁																																																																			
⑧ <sup>#1</sup> ⑧ <sup>#</sup>	R/R ヘッドスプレイライン洗冷流量調整弁																																																																			
⑧ <sup>#2</sup>	R/R B系格納容器冷却ライン洗冷流量調整弁																																																																			
記号	説明																																																																			
(X)	手動弁																																																																			
(Y)	遠隔操作弁																																																																			
(Z)	隔離弁																																																																			
(A)	ワンウェイバルブ																																																																			
(B)	逆止弁																																																																			
(C)	隔離型バルブ																																																																			
(D)	安全弁																																																																			
(E)	自力閉鎖機構（圧力による閉鎖）																																																																			
(F)	圧力感知機構																																																																			
(G)	検知口																																																																			
(H)	調整弁																																																																			
(I)	弁駆動機																																																																			
(J)	自力駆動型弁駆動機構（圧力による駆動）																																																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																		
⑤ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																		
⑥ <sup>#</sup>	A-安全注入ポンプ再循環サンプル側入口C/F側隔離弁	全開→全閉																																																																		
⑥ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ燃料冷却器排水ピット側入口弁	全開→全閉																																																																		
⑤ <sup>#</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

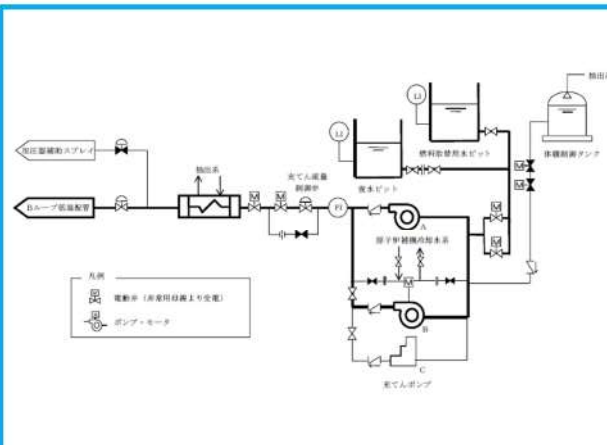
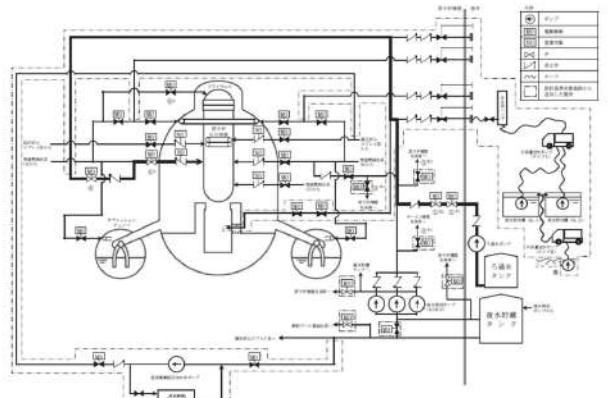
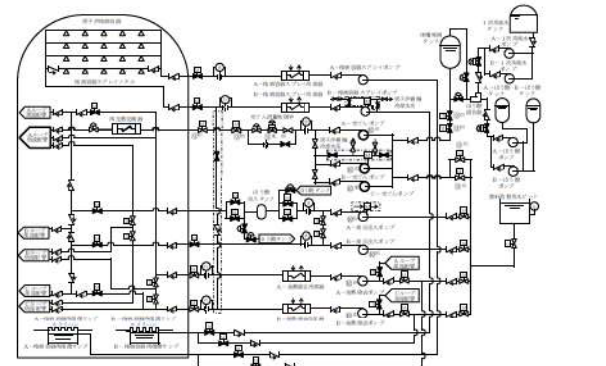
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		
	<p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>【比較のため、第1.4.5図を再掲】</p>  <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#*</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#*</td> <td>R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-31図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#*	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#*	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1433 1029 1971 1292"> <tbody> <tr> <td>②#*</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#*</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③#*</td> <td>作動確認タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>③#*</td> <td>作動確認タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>充てん流量調節弁</td> <td>調整値へ全開</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>充てんラインのV形開止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>充てんラインのV形開隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>充てん流量調節弁</td> <td>全閉→調整値</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>A-全熱源弁ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>④#*</td> <td>B-全熱源弁ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.20図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ビットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (2/2)</p>	②#*	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A	全開確認	②#*	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B	全開確認	③#*	作動確認タンク出口第1止め弁	全閉確認	③#*	作動確認タンク出口第2止め弁	全閉確認	④#*	充てん流量調節弁	調整値へ全開	④#*	充てんラインのV形開止め弁	全閉→全開	④#*	充てんラインのV形開隔離弁	全閉→全開	④#*	充てん流量調節弁	全閉→調整値	④#*	A-充てんポンプ	起動→停止	④#*	B-充てんポンプ	起動→停止	④#*	C-充てんポンプ	起動→停止	④#*	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#*	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	④#*	A-全熱源弁ポンプ	起動→停止	④#*	B-全熱源弁ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】              記載方針の相違（女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																	
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																	
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																	
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																	
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																	
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																	
⑥#*	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																																	
⑥#*	R/R ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																	
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																	
②#*	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁A	全開確認																																																																
②#*	充てんポンプ入口燃料取替用水ビット吸入弁B	全開確認																																																																
③#*	作動確認タンク出口第1止め弁	全閉確認																																																																
③#*	作動確認タンク出口第2止め弁	全閉確認																																																																
④#*	充てん流量調節弁	調整値へ全開																																																																
④#*	充てんラインのV形開止め弁	全閉→全開																																																																
④#*	充てんラインのV形開隔離弁	全閉→全開																																																																
④#*	充てん流量調節弁	全閉→調整値																																																																
④#*	A-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#*	B-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#*	C-充てんポンプ	起動→停止																																																																
④#*	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																
④#*	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																
④#*	A-全熱源弁ポンプ	起動→停止																																																																
④#*	B-全熱源弁ポンプ	起動→停止																																																																

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>経過時間 (分)</p> <p>20分 残存溶融炉心の冷却</p> <p>電源確保<sup>※1</sup></p> <p>系統構成、ポンプ起動<sup>※2</sup></p> <p>手順の項目</p> <p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A</p> <p>1</p> <p>過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間                  ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p> </div> <p>第1.4-32図 過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p>		

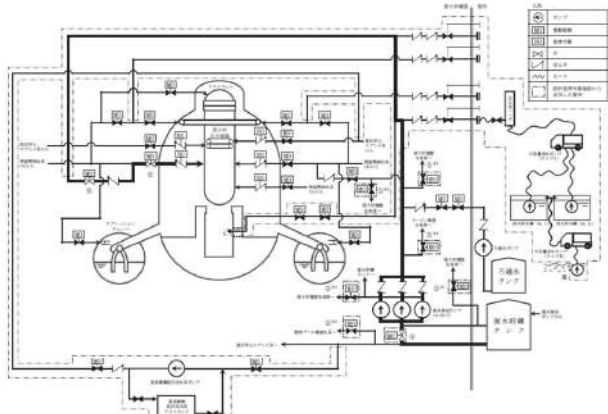
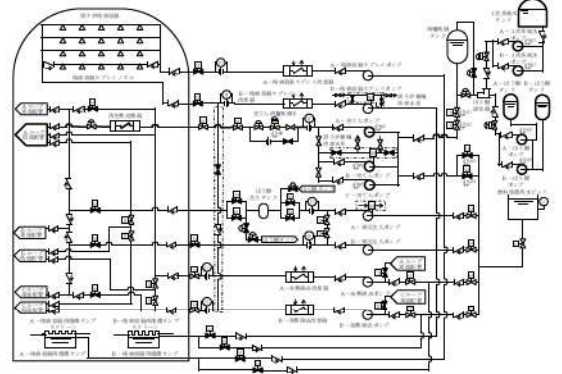


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p>第1.4-33図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 901 1254 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①*</td><td>CRD復水入口弁</td></tr> <tr><td>②*</td><td>循環ポンプ出口弁閉止</td></tr> <tr><td>③*</td><td>循環ポンプ送達弁</td></tr> <tr><td>④*</td><td>圧力調整弁</td></tr> <tr><td>⑤*</td><td>圧力調整弁</td></tr> <tr><td>⑥*</td><td>圧力調整弁</td></tr> <tr><td>⑦*</td><td>圧力調整弁</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>循環系圧力注入調整弁</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>循環ヘッドスプレイライオン冷却液流量調整弁</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-33図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	状態	①*	CRD復水入口弁	②*	循環ポンプ出口弁閉止	③*	循環ポンプ送達弁	④*	圧力調整弁	⑤*	圧力調整弁	⑥*	圧力調整弁	⑦*	圧力調整弁	⑧	復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑨	循環系圧力注入調整弁	⑩	循環ヘッドスプレイライオン冷却液流量調整弁	 <p>第1.4.21図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1456 1037 1937 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①*</td><td>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>②*</td><td>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>③*</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>④*</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑤*</td><td>A-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑥*</td><td>B-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑦*</td><td>C-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑧*</td><td>A-ほう酸ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑨*</td><td>B-ほう酸ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑩*</td><td>A-1次系補給水ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑪*</td><td>B-1次系補給水ポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>⑫*</td><td>充てん流量調整弁</td><td>流量調整</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。          ※2：いずれかの1台を起動する。          ※3：どちらかの1台を起動する。</p> <p>第1.4.21図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①*	格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合	全閉→全開	②*	格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合	全閉→全開	③*	充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁	全閉→全開	④*	充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁	全閉→全開	⑤*	A-充てんポンプ	停止→起動	⑥*	B-充てんポンプ	停止→起動	⑦*	C-充てんポンプ	停止→起動	⑧*	A-ほう酸ポンプ	停止→起動	⑨*	B-ほう酸ポンプ	停止→起動	⑩*	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動	⑪*	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動	⑫*	充てん流量調整弁	流量調整	<p>【大阪】              記載方針の相違              ・泊3号炉は1次系純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる原子炉注水の状態を示す概略系統を第1.4.21図に整理した。</p>
操作手順	状態																																																															
①*	CRD復水入口弁																																																															
②*	循環ポンプ出口弁閉止																																																															
③*	循環ポンプ送達弁																																																															
④*	圧力調整弁																																																															
⑤*	圧力調整弁																																																															
⑥*	圧力調整弁																																																															
⑦*	圧力調整弁																																																															
⑧	復水貯蔵タンク常引、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																															
⑨	循環系圧力注入調整弁																																																															
⑩	循環ヘッドスプレイライオン冷却液流量調整弁																																																															
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																														
①*	格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合	全閉→全開																																																														
②*	格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合	全閉→全開																																																														
③*	充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁	全閉→全開																																																														
④*	充てんポンプ入口燃料取扱用本ビット投入口弁	全閉→全開																																																														
⑤*	A-充てんポンプ	停止→起動																																																														
⑥*	B-充てんポンプ	停止→起動																																																														
⑦*	C-充てんポンプ	停止→起動																																																														
⑧*	A-ほう酸ポンプ	停止→起動																																																														
⑨*	B-ほう酸ポンプ	停止→起動																																																														
⑩*	A-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																																														
⑪*	B-1次系補給水ポンプ	停止→起動																																																														
⑫*	充てん流量調整弁	流量調整																																																														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第 1.4-34 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

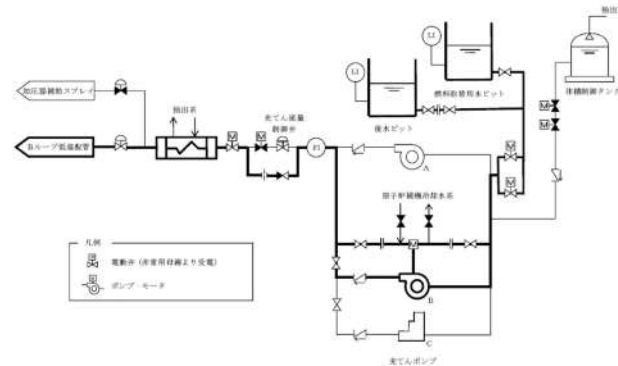
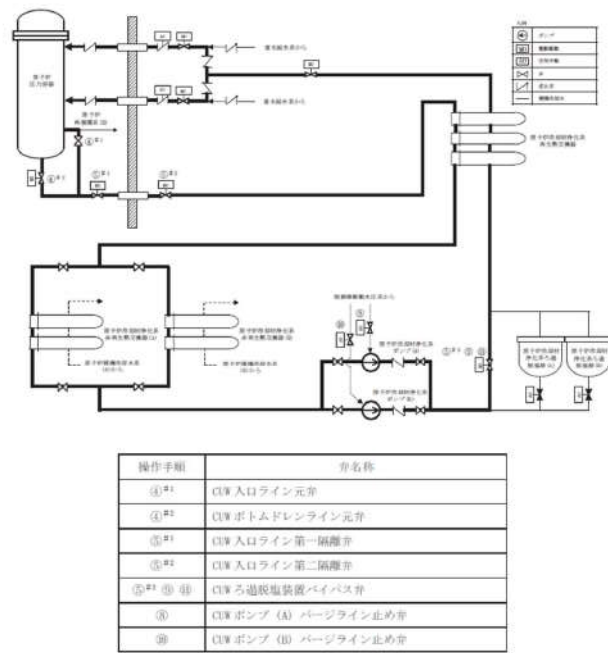
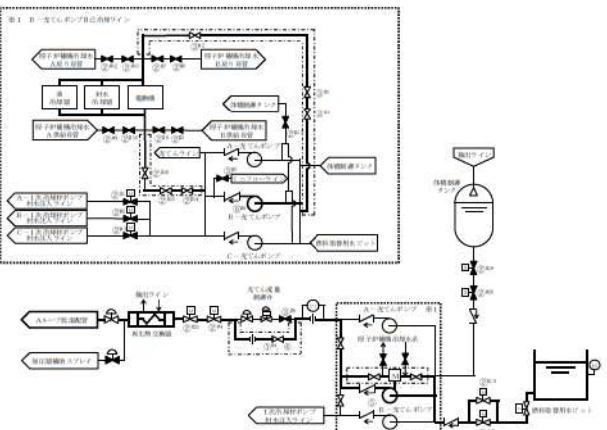
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.21 図 A弁閉鎖去ボンプ（空潤用冷水）による代替炉心注水 概略系統</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】                  設備の相違                  (相違理由⑥)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
 <p>図 1.4.22 図 B-充電ポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <table border="1" data-bbox="862 877 1254 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>券名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④#1</td> <td>CUW 入口ライン元弁</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>CUW ボトムドレンライン元弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>CUW 入口ライン第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>CUW 入口ライン第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#1 ⑥#2</td> <td>CUW ろ過脱塩装置バイパス弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>CUW ポンプ (A) バージライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>CUW ポンプ (B) バージライン止め弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-35 図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	券名称	④#1	CUW 入口ライン元弁	④#2	CUW ボトムドレンライン元弁	⑤#1	CUW 入口ライン第一隔離弁	⑤#2	CUW 入口ライン第二隔離弁	⑥#1 ⑥#2	CUW ろ過脱塩装置バイパス弁	⑦	CUW ポンプ (A) バージライン止め弁	⑧	CUW ポンプ (B) バージライン止め弁	 <p>第 1.4.22 図 B-充電ポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・凡例の記載内容充実          ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	券名称																		
④#1	CUW 入口ライン元弁																		
④#2	CUW ボトムドレンライン元弁																		
⑤#1	CUW 入口ライン第一隔離弁																		
⑤#2	CUW 入口ライン第二隔離弁																		
⑥#1 ⑥#2	CUW ろ過脱塩装置バイパス弁																		
⑦	CUW ポンプ (A) バージライン止め弁																		
⑧	CUW ポンプ (B) バージライン止め弁																		



泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																										
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">操作手順</th> <th style="width: 70%;">操作対象機器</th> <th style="width: 20%;">状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>②<sup>10</sup></td><td>A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>11</sup></td><td>B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>12</sup></td><td>C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>13</sup></td><td>充てんラインCV外側止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>14</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>15</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>16</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>17</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>18</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②<sup>19</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②<sup>20</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②<sup>21</sup></td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②<sup>22</sup></td><td>充てんポンプ入口ベントライン止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>23</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>24</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>25</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>26</sup></td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>27</sup></td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>28</sup></td><td>圧縮機排気タンク出口第1止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>29</sup></td><td>圧縮機排気タンク出口第2止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>30</sup></td><td>充てんラインCV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>31</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>32</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>33</sup></td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>34</sup></td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→調整</td></tr> <tr><td>②<sup>35</sup></td><td>B-充てんポンプ流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②<sup>36</sup></td><td>充てんライン流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②</td><td>B-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>②</td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>流量調整</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② <sup>10</sup>	A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② <sup>11</sup>	B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② <sup>12</sup>	C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② <sup>13</sup>	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉	② <sup>14</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全閉	② <sup>15</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全閉	② <sup>16</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全閉	② <sup>17</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全閉	② <sup>18</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認	② <sup>19</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認	② <sup>20</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認	② <sup>21</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認	② <sup>22</sup>	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉	② <sup>23</sup>	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>24</sup>	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>25</sup>	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>26</sup>	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全閉	② <sup>27</sup>	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全閉	② <sup>28</sup>	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉	② <sup>29</sup>	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉	② <sup>30</sup>	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全閉	② <sup>31</sup>	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>32</sup>	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>33</sup>	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全閉	② <sup>34</sup>	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整	② <sup>35</sup>	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉	② <sup>36</sup>	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉	②	B-充てんポンプ	停止→起動	②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 凡例の記載内容 充実</li> <li>・ 概要図と操作内容を紐づけ</li> </ul>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																											
② <sup>10</sup>	A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>11</sup>	B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>12</sup>	C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>13</sup>	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>14</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>15</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>16</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>17</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>18</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② <sup>19</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② <sup>20</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② <sup>21</sup>	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② <sup>22</sup>	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>23</sup>	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>24</sup>	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>25</sup>	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>26</sup>	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全閉																																																																																											
② <sup>27</sup>	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全閉																																																																																											
② <sup>28</sup>	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>29</sup>	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>30</sup>	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>31</sup>	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>32</sup>	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>33</sup>	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全閉																																																																																											
② <sup>34</sup>	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整																																																																																											
② <sup>35</sup>	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
② <sup>36</sup>	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
②	B-充てんポンプ	停止→起動																																																																																											
②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整																																																																																											

第 1.4.22 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図（2/2）

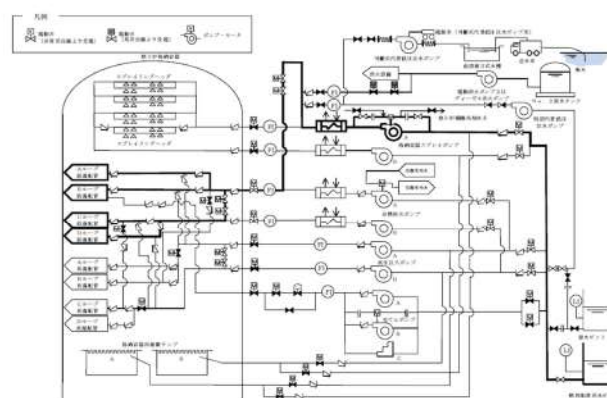
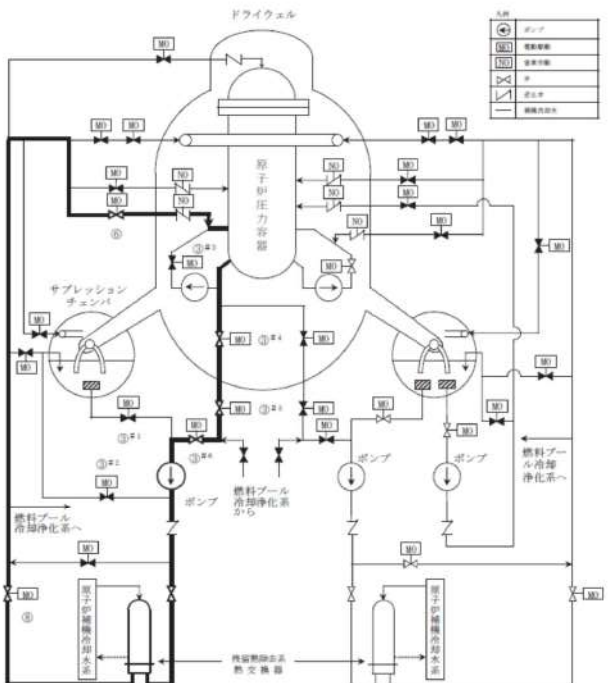
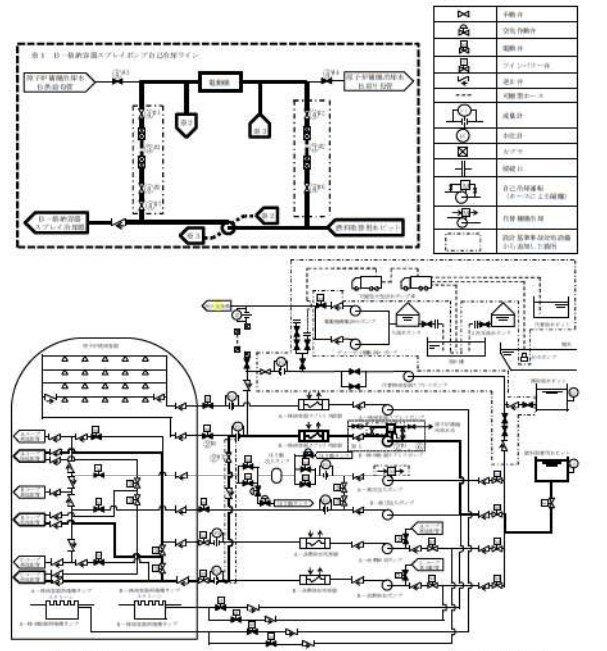


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

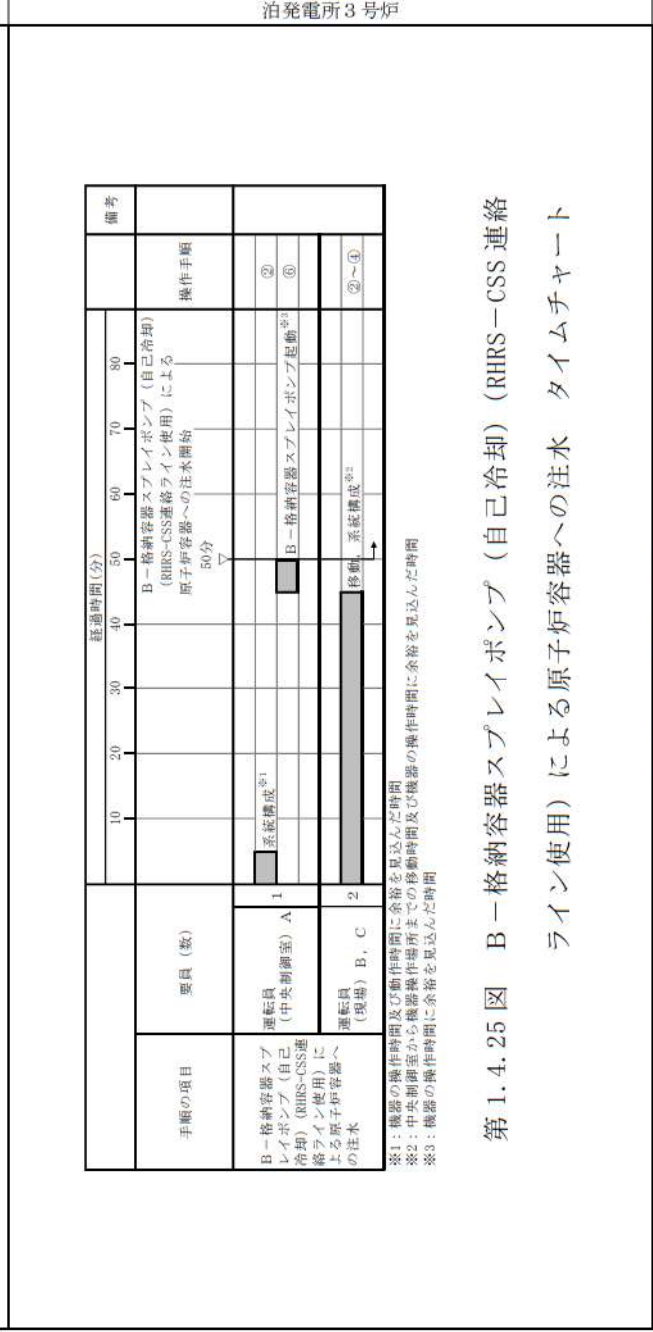
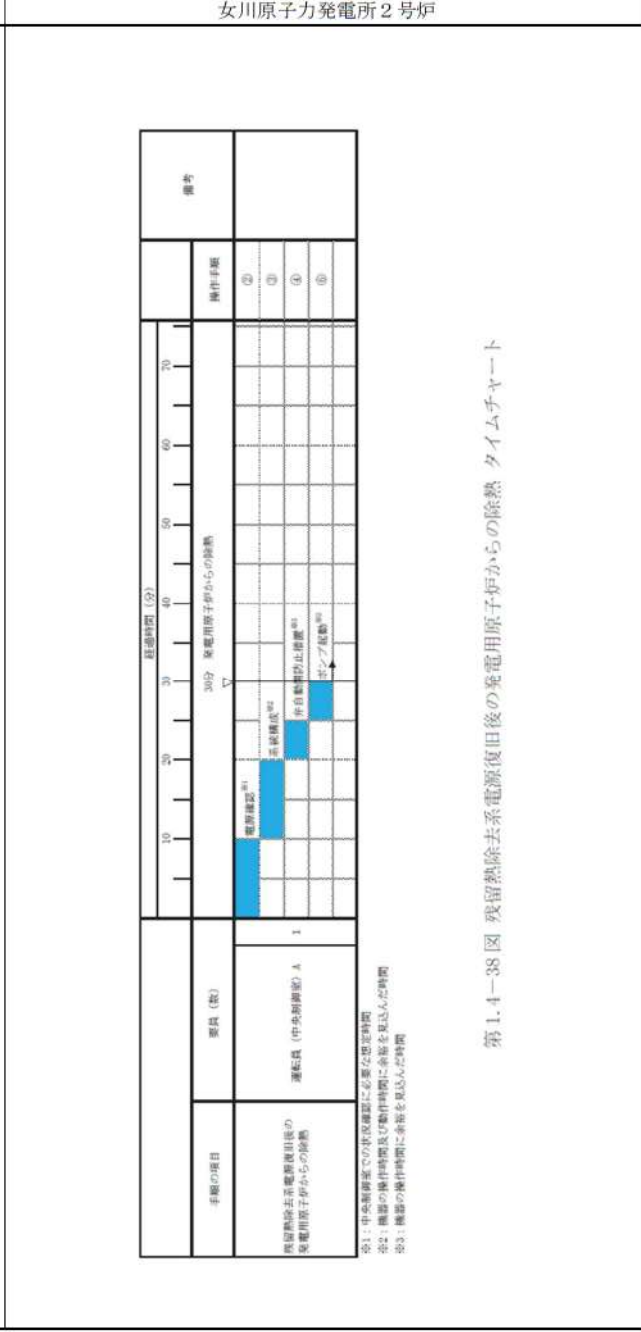
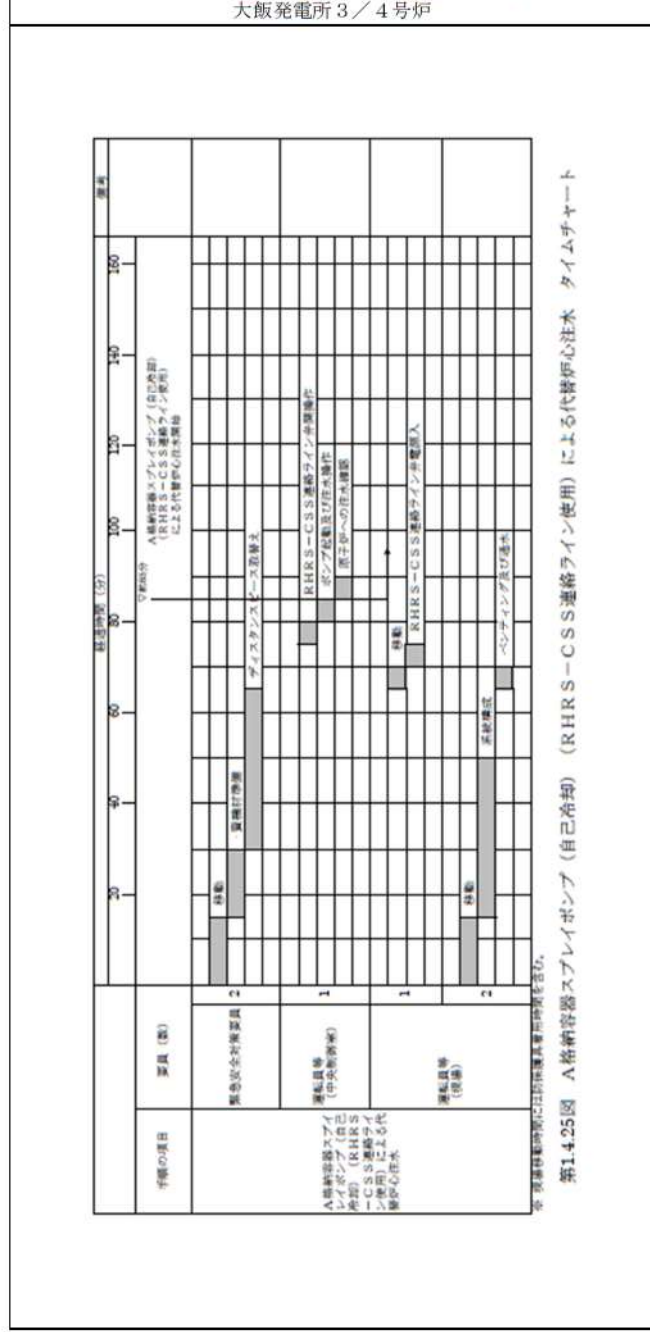
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
 <p>図 1.4-24 図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概要図</p>	 <table border="1" data-bbox="828 989 1265 1244"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>赤名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③<sup>01</sup></td> <td>RHRポンプ(A)S/C吸込弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>02</sup></td> <td>RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>03</sup></td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>04</sup></td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>05</sup></td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③<sup>06</sup></td> <td>RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>RHR熱交換器(A)出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-37 図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	赤名称	③ <sup>01</sup>	RHRポンプ(A)S/C吸込弁	③ <sup>02</sup>	RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁	③ <sup>03</sup>	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	③ <sup>04</sup>	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	③ <sup>05</sup>	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	③ <sup>06</sup>	RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁	④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	⑤	RHR熱交換器(A)出口弁	 <table border="1" data-bbox="1433 973 1926 1197"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③<sup>01</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>③<sup>02</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ吐出ライン外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>03</sup></td> <td>B-1全熱除去系吐出格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>04</sup></td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>05</sup></td> <td>可搬型ホース</td> <td>ホース接続</td> </tr> <tr> <td>③<sup>06</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>07</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>08</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ電機機軸給排水入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>09</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ機軸給排水出口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>10</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>11</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>12</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン閉り弁 (SA設置)</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>13</sup></td> <td>B-1格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～③同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.24 図 B-1格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	③ <sup>01</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ	起動→停止	③ <sup>02</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ吐出ライン外側隔離弁	全閉→全開	③ <sup>03</sup>	B-1全熱除去系吐出格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>04</sup>	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>05</sup>	可搬型ホース	ホース接続	③ <sup>06</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>07</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>08</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ電機機軸給排水入口弁	全閉→全開	③ <sup>09</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ機軸給排水出口止め弁	全閉→全開	③ <sup>10</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>11</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>12</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン閉り弁 (SA設置)	全閉→全開	③ <sup>13</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	赤名称																																																														
③ <sup>01</sup>	RHRポンプ(A)S/C吸込弁																																																														
③ <sup>02</sup>	RHRポンプ(A)ミニマムフロー弁																																																														
③ <sup>03</sup>	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																																														
③ <sup>04</sup>	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																														
③ <sup>05</sup>	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																														
③ <sup>06</sup>	RHRポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																																														
④	RHR A系停止時冷却注入隔離弁																																																														
⑤	RHR熱交換器(A)出口弁																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																													
③ <sup>01</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																																													
③ <sup>02</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ吐出ライン外側隔離弁	全閉→全開																																																													
③ <sup>03</sup>	B-1全熱除去系吐出格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>04</sup>	可搬型ホース	ホース接続																																																													
③ <sup>05</sup>	可搬型ホース	ホース接続																																																													
③ <sup>06</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水入口弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>07</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水出口弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>08</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ電機機軸給排水入口弁	全閉→全開																																																													
③ <sup>09</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ機軸給排水出口止め弁	全閉→全開																																																													
③ <sup>10</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>11</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水戻りライン止め弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>12</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ自冷水供給ライン閉り弁 (SA設置)	全閉→全開																																																													
③ <sup>13</sup>	B-1格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



相違理由

【大阪】  
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）  
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ  
 ・補足の充実  
 ・備考欄の追加

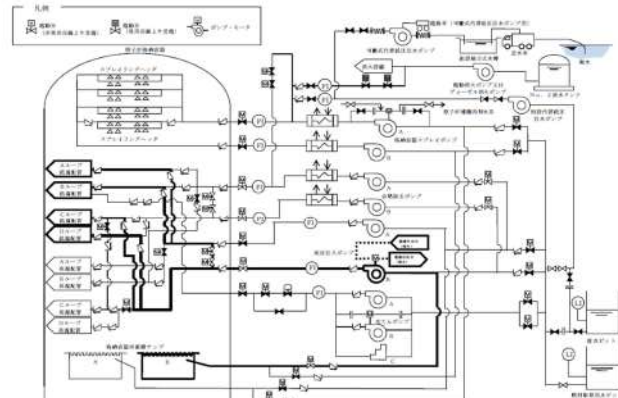
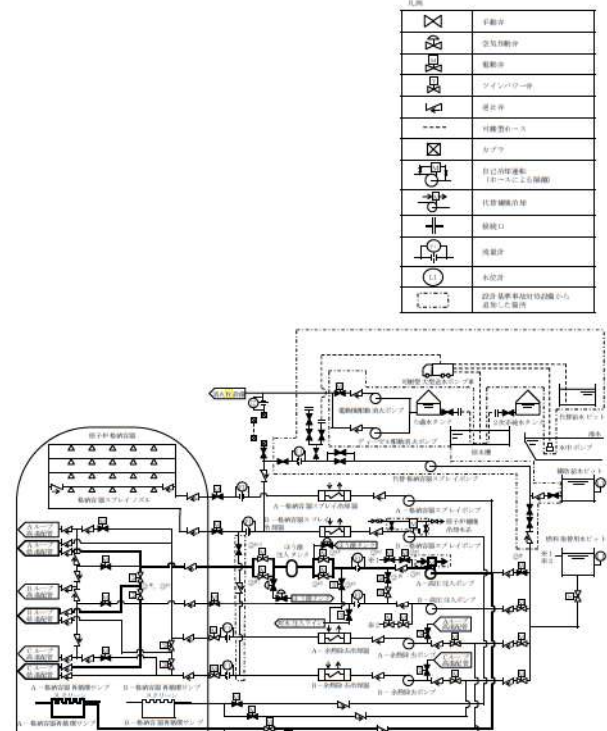


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
 <p>第 1.4.26 図 B 高圧注入ポンプ（海水希釈）による高圧代替循環運転 概略系統</p>		 <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A - 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1411 1085 1971 1356"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ第 1 ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ第 2 ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>2)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ燃料取得用水ビッド側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>2)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>2)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ排水ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>2)</sup></td> <td>B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>2)</sup></td> <td>A - 安全注入ポンプ西側タンク側入口C/V外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>2)</sup></td> <td>ほう酸注入タンク入口弁 A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨<sup>2)</sup></td> <td>ほう酸注入タンク入口弁 B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩<sup>2)</sup></td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪<sup>2)</sup></td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫<sup>2)</sup></td> <td>A - 高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑬<sup>2)</sup></td> <td>B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A - 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	A - 高圧注入ポンプ第 1 ミニフロー弁	全閉→全開	② <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ第 2 ミニフロー弁	全閉→全開	③ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ燃料取得用水ビッド側入口弁	全閉→全開	④ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	全閉→全開	⑤ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ排水ライン止め弁	全閉→全開	⑥ <sup>2)</sup>	B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全閉→全開	⑦ <sup>2)</sup>	A - 安全注入ポンプ西側タンク側入口C/V外側隔離弁	全閉→全開	⑧ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全開	⑨ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全開	⑩ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 A	全閉→全開	⑪ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 B	全閉→全開	⑫ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ	停止→起動	⑬ <sup>2)</sup>	B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全閉→全開	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																											
① <sup>1)</sup>	A - 高圧注入ポンプ第 1 ミニフロー弁	全閉→全開																																											
② <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ第 2 ミニフロー弁	全閉→全開																																											
③ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ燃料取得用水ビッド側入口弁	全閉→全開																																											
④ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ出口C/V外側連絡弁	全閉→全開																																											
⑤ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ排水ライン止め弁	全閉→全開																																											
⑥ <sup>2)</sup>	B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全閉→全開																																											
⑦ <sup>2)</sup>	A - 安全注入ポンプ西側タンク側入口C/V外側隔離弁	全閉→全開																																											
⑧ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク入口弁 A	全閉→全開																																											
⑨ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク入口弁 B	全閉→全開																																											
⑩ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 A	全閉→全開																																											
⑪ <sup>2)</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁 B	全閉→全開																																											
⑫ <sup>2)</sup>	A - 高圧注入ポンプ	停止→起動																																											
⑬ <sup>2)</sup>	B - 高圧注入ポンプ出口C/V内側連絡弁	全閉→全開																																											

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>手順の項目</p> <p>緊急安全対策員</p> <p>20</p> <p>運転員等 (守矢新幹生)</p> <p>1</p>	<p>要員(数)</p> <p>14</p> <p>1</p>	<p>手順の項目</p> <p>緊急安全対策員</p> <p>20</p> <p>運転員等 (守矢新幹生)</p> <p>1</p>	<p>要員(数)</p> <p>14</p> <p>1</p>	<p>手順の項目</p> <p>緊急安全対策員</p> <p>20</p> <p>運転員等 (守矢新幹生)</p> <p>1</p>	<p>要員(数)</p> <p>14</p> <p>1</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>
<p>第1.4.27図 B高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 操業時稼働時には防護員業務時間を含む。</p>		<p>第1.4.27図 B高圧注入ポンプ(海水冷却)による高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 操業時稼働時には防護員業務時間を含む。</p>		<p>第1.4.27図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたAー高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 1：機器の稼働時間及び動作時間には余裕を見込んだ時間</p>		<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.28 図 Δ余熱除去ポンプ（空潤滑冷水）による低圧代替昇降管運転： 凝縮蒸気</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由⑧)</p>

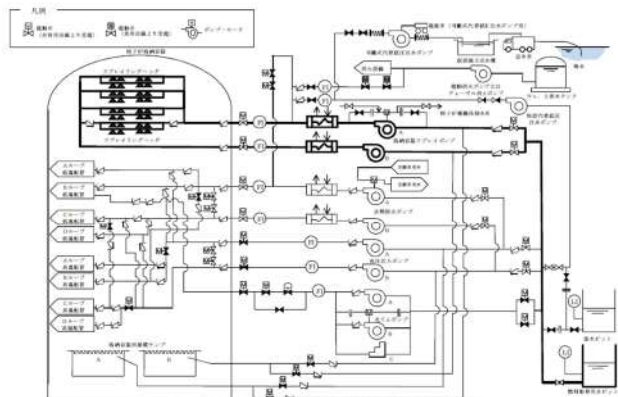
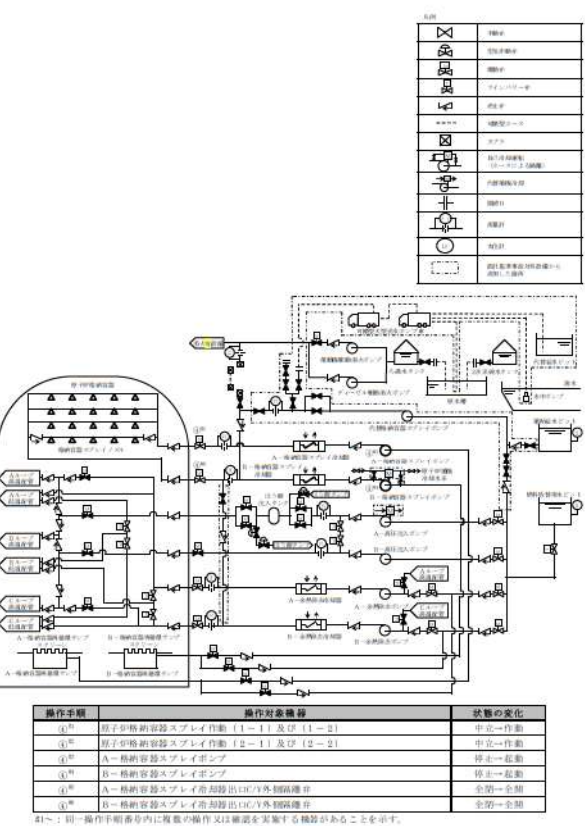




灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

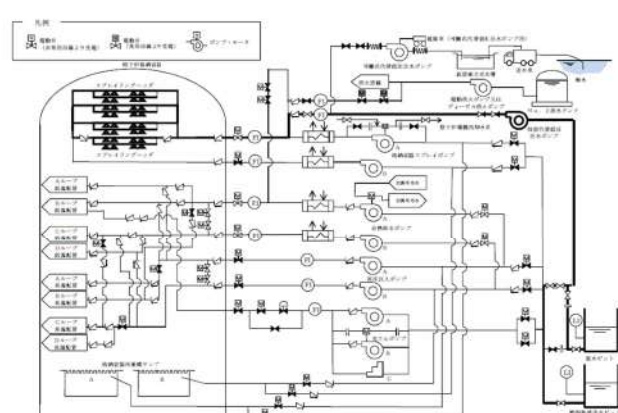
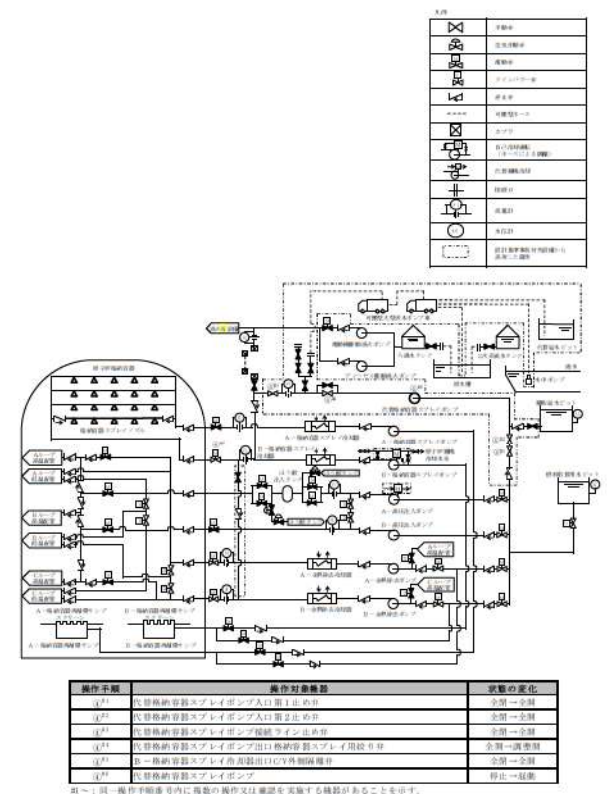
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																									
 <p>凡例</p> <p>図1.4.22 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の対応 概略系統 (格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1792 351 1971 622"> <tr><td></td><td>開閉弁</td></tr> <tr><td></td><td>格納容器</td></tr> <tr><td></td><td>開閉弁</td></tr> <tr><td></td><td>サイリスタ整流器</td></tr> <tr><td></td><td>ポンプ</td></tr> <tr><td></td><td>電動機</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源</td></tr> <tr><td></td><td>電源</td></tr> <tr><td></td><td>圧力</td></tr> <tr><td></td><td>温度</td></tr> <tr><td></td><td>水位</td></tr> <tr><td></td><td>流量</td></tr> <tr><td></td><td>電圧</td></tr> <tr><td></td><td>電流</td></tr> <tr><td></td><td>回転速度</td></tr> <tr><td></td><td>位置</td></tr> <tr><td></td><td>状態</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> <tr><td></td><td>制御電源供給線</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1411 1037 1926 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>原子炉格納容器スプレイ作動「1-1」及び「1-2」</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>原子炉格納容器スプレイ作動「2-1」及び「2-2」</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>A-格納容器スプレイ冷却器出口(C/A)外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口(C/B)外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～⑥：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>		開閉弁		格納容器		開閉弁		サイリスタ整流器		ポンプ		電動機		制御電源		電源		圧力		温度		水位		流量		電圧		電流		回転速度		位置		状態		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線		制御電源供給線	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	原子炉格納容器スプレイ作動「1-1」及び「1-2」	停止→作動	②	原子炉格納容器スプレイ作動「2-1」及び「2-2」	停止→作動	③	A-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	④	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	⑤	A-格納容器スプレイ冷却器出口(C/A)外側隔離弁	全閉→全開	⑥	B-格納容器スプレイ冷却器出口(C/B)外側隔離弁	全閉→全開	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・凡例の記載内容                  充実                  ・概要図と操作内                  容を紐づけ</p>
	開閉弁																																																																																																																											
	格納容器																																																																																																																											
	開閉弁																																																																																																																											
	サイリスタ整流器																																																																																																																											
	ポンプ																																																																																																																											
	電動機																																																																																																																											
	制御電源																																																																																																																											
	電源																																																																																																																											
	圧力																																																																																																																											
	温度																																																																																																																											
	水位																																																																																																																											
	流量																																																																																																																											
	電圧																																																																																																																											
	電流																																																																																																																											
	回転速度																																																																																																																											
	位置																																																																																																																											
	状態																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
	制御電源供給線																																																																																																																											
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																										
①	原子炉格納容器スプレイ作動「1-1」及び「1-2」	停止→作動																																																																																																																										
②	原子炉格納容器スプレイ作動「2-1」及び「2-2」	停止→作動																																																																																																																										
③	A-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																																																																																										
④	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																																																																																										
⑤	A-格納容器スプレイ冷却器出口(C/A)外側隔離弁	全閉→全開																																																																																																																										
⑥	B-格納容器スプレイ冷却器出口(C/B)外側隔離弁	全閉→全開																																																																																																																										
<p>第1.4.29 図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 概要図                  (格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却)</p>																																																																																																																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

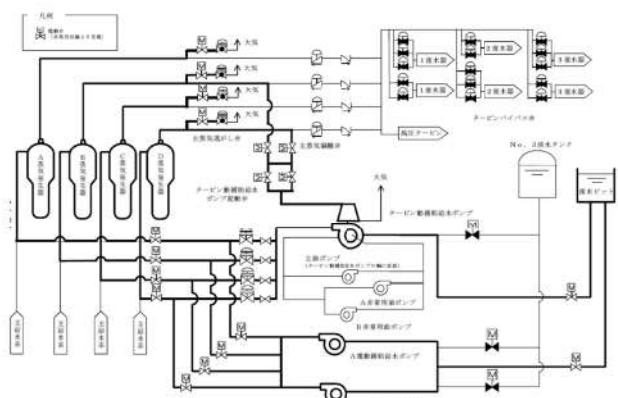
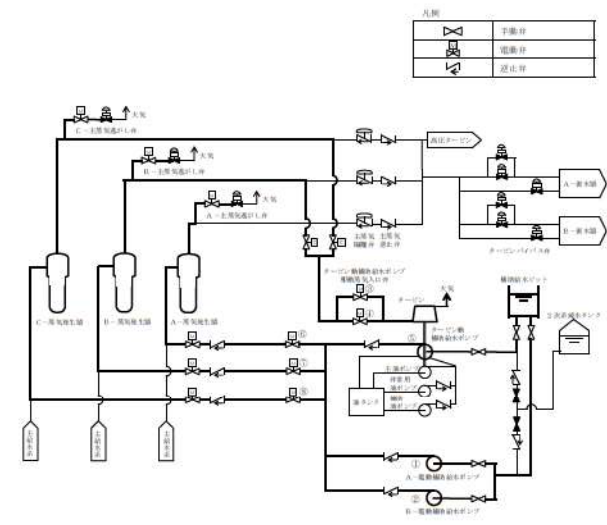
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>図 1.4.33 図 溶融炉心が原子炉容器に残存する場合の冷却 概略系統              (代替格納容器スプレイによる代替格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 1021 1948 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①A</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>①B</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②A</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ運転再開</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②B</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口換熱器スプレイ用送り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③A</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口の弁閉鎖</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③B</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>注：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する轉接があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①A	代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め	全閉→全開	①B	代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め	全閉→全開	②A	代替格納容器スプレイポンプ運転再開	全開→全閉	②B	代替格納容器スプレイポンプ出口換熱器スプレイ用送り弁	全開→全閉	③A	代替格納容器スプレイポンプ出口の弁閉鎖	全開→全閉	③B	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																						
①A	代替格納容器スプレイポンプ入口弁1止め	全閉→全開																						
①B	代替格納容器スプレイポンプ入口弁2止め	全閉→全開																						
②A	代替格納容器スプレイポンプ運転再開	全開→全閉																						
②B	代替格納容器スプレイポンプ出口換熱器スプレイ用送り弁	全開→全閉																						
③A	代替格納容器スプレイポンプ出口の弁閉鎖	全開→全閉																						
③B	代替格納容器スプレイポンプ	停止→起動																						
		<p>第 1.4.30 図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手段 概要図                  (代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却)</p>																						

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
 <p>図 1.4.35 電動補助給水ポンプ及び蒸気発生器2次側による蒸気冷却系 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 941 1904 1085"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整済</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整済</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>C-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁</td> <td>調整済</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> <p>第 1.4.31 図 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	A-電動補助給水ポンプ	停止→起動	②	B-電動補助給水ポンプ	停止→起動	③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開	④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開	⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動	⑥	A-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済	⑦	B-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済	⑧	C-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済	<p>【大阪】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）              ・凡例の記載内容充実              ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化																												
①	A-電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
②	B-電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開																												
④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開																												
⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動																												
⑥	A-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済																												
⑦	B-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済																												
⑧	C-電動補助給水ポンプ出口流量調整弁	調整済																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

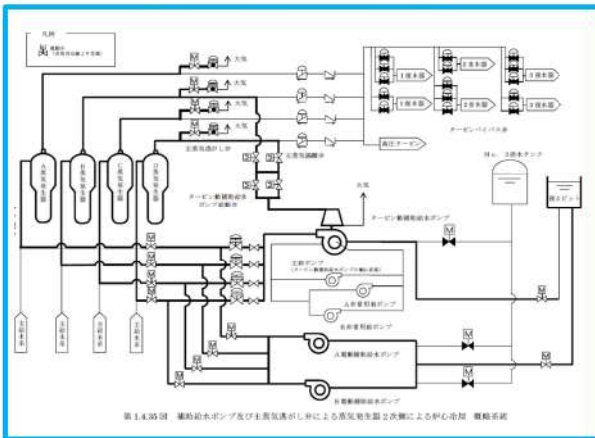
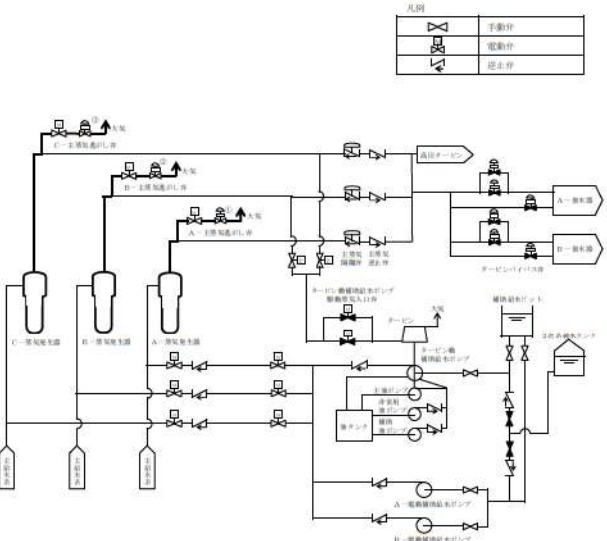
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 399 1998 981" style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="1814 406 1998 486" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>凡例</caption> <tr><td></td><td>手操作弁</td></tr> <tr><td></td><td>空気操作弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>遮断弁</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="1422 1013 1915 1061" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動主給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>圧力制御弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1422 1069 1960 1101" style="font-size: small;">*本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p> </div>		手操作弁		空気操作弁		電動弁		遮断弁	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	電動主給水ポンプ	停止→起動	②	圧力制御弁	全閉→全開	<div data-bbox="2027 742 2150 821" style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
	手操作弁																			
	空気操作弁																			
	電動弁																			
	遮断弁																			
操作順序*	操作対象機器	状態の変化																		
①	電動主給水ポンプ	停止→起動																		
②	圧力制御弁	全閉→全開																		
第 1.4.32 図 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図																				



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.35図を再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第1.4.35図 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器立役による炉心冷却 概略図</p>		 <table border="1" data-bbox="1780 470 1971 534"> <caption>凡例</caption> <tr> <td></td> <td>手動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電動弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>遮断弁</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="1400 1013 1960 1093"> <thead> <tr> <th>操作順序<sup>※</sup></th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p> <p style="text-align: center;">第1.4.33図 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 概要図</p>		手動弁		電動弁		遮断弁	操作順序 <sup>※</sup>	操作対象機器	状態の変化	①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
	手動弁																				
	電動弁																				
	遮断弁																				
操作順序 <sup>※</sup>	操作対象機器	状態の変化																			
①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開																			
②	B-主蒸気逃がし弁	全閉→全開																			
③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開																			

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

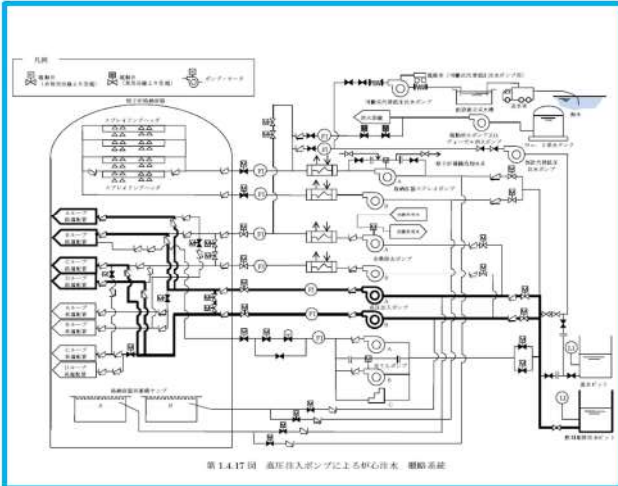
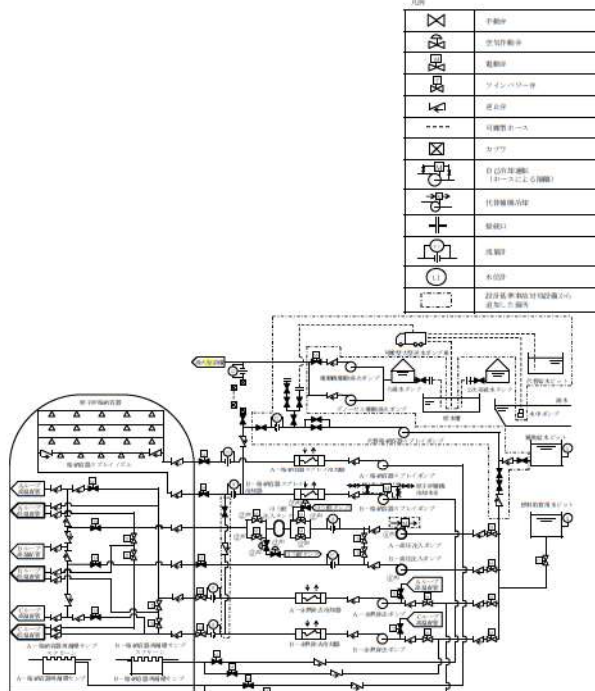
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1384 395 2004 949" style="text-align: center;"> <table border="1" data-bbox="1411 1013 1944 1053" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th>操作順序<sup>※</sup></th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>全閉→真制御</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1411 1053 1944 1093" style="font-size: small;">※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p> </div>	操作順序 <sup>※</sup>	操作対象機器	状態の変化	①	タービンバイパス弁	全閉→真制御	<div data-bbox="2027 758 2150 837" style="color: blue;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
操作順序 <sup>※</sup>	操作対象機器	状態の変化							
①	タービンバイパス弁	全閉→真制御							

第1.4.34図 タービンバイパス弁による蒸気放出 概要図

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

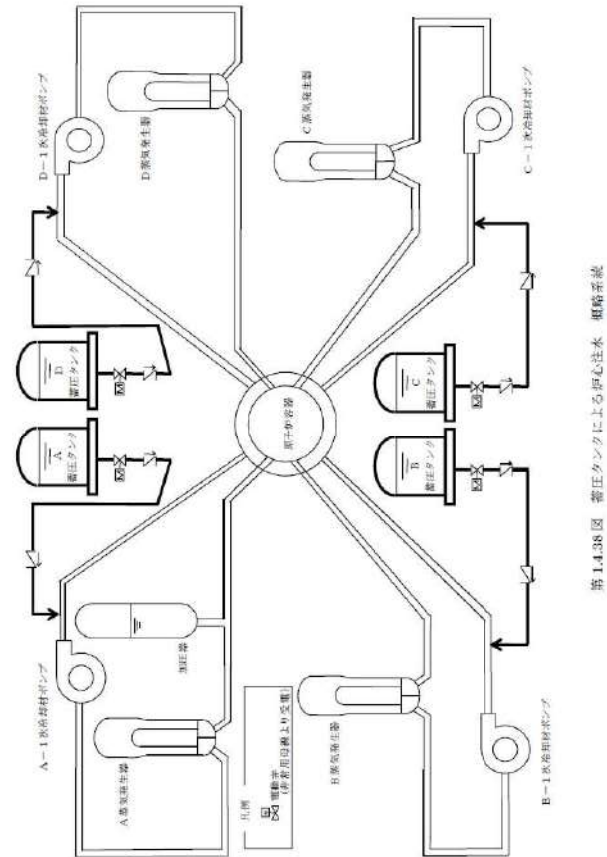
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																								
<p style="text-align: center;">【比較のため、第 1.4.17 図を再掲】</p>  <p style="text-align: center;">第 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1803 327 1993 638"> <thead> <tr> <th>凡例</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>手動弁</td></tr> <tr><td></td><td>自動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁</td></tr> <tr><td></td><td>電動弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> <tr><td></td><td>逆止弁（逆方向）</td></tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1400 1029 1948 1220"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>①</sup></td> <td>ほう酸注入タンク箱底ライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②<sup>②</sup></td> <td>ほう酸注入タンク箱底ライン出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③<sup>③</sup></td> <td>ほう酸注入タンク箱底ライン出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④<sup>④</sup></td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤<sup>⑤</sup></td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥<sup>⑥</sup></td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦<sup>⑦</sup></td> <td>ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧<sup>⑧</sup></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑨<sup>⑨</sup></td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center;">第 1.4.35 図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	凡例			手動弁		自動弁		電動弁		電動弁（逆方向）		逆止弁		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）		逆止弁（逆方向）	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>①</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン入口止め弁	全開→全閉	② <sup>②</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン出口第1止め弁	全開→全閉	③ <sup>③</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン出口第2止め弁	全開→全閉	④ <sup>④</sup>	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全開	⑤ <sup>⑤</sup>	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全開	⑥ <sup>⑥</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全開→全開	⑦ <sup>⑦</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全開→全開	⑧ <sup>⑧</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑨ <sup>⑨</sup>	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】                  記載方針の相違（女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
凡例																																																																																																																																																																																																																																											
	手動弁																																																																																																																																																																																																																																										
	自動弁																																																																																																																																																																																																																																										
	電動弁																																																																																																																																																																																																																																										
	電動弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
	逆止弁（逆方向）																																																																																																																																																																																																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																																																																																									
① <sup>①</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン入口止め弁	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																									
② <sup>②</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン出口第1止め弁	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																									
③ <sup>③</sup>	ほう酸注入タンク箱底ライン出口第2止め弁	全開→全閉																																																																																																																																																																																																																																									
④ <sup>④</sup>	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全開																																																																																																																																																																																																																																									
⑤ <sup>⑤</sup>	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全開																																																																																																																																																																																																																																									
⑥ <sup>⑥</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全開→全開																																																																																																																																																																																																																																									
⑦ <sup>⑦</sup>	ほう酸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全開→全開																																																																																																																																																																																																																																									
⑧ <sup>⑧</sup>	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																																																																																																																																																																																									
⑨ <sup>⑨</sup>	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																																																																																																																																																																																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図 1.4.38 図 蓄圧タンクによる炉心注水 概略系統</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>



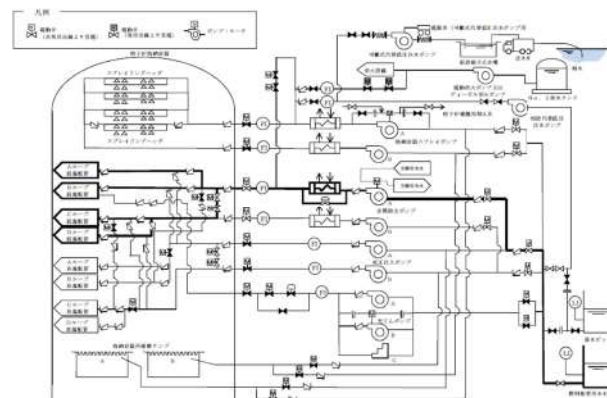
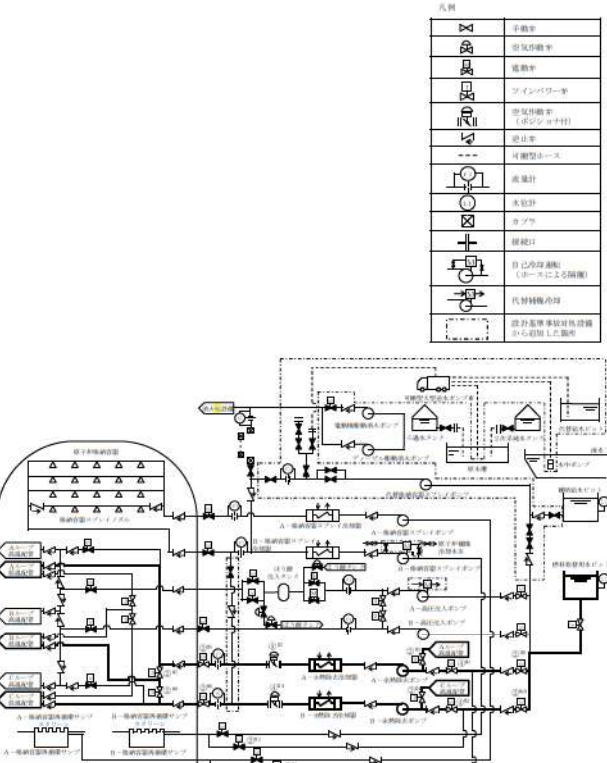


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																													
 <p>図 1.4.40 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 概略系統</p>		 <p>図 1.4.36 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1411 1085 1971 1356"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①<sup>21</sup></td><td>A-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>②<sup>22</sup></td><td>B-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁</td><td>全閉確認</td></tr> <tr><td>③<sup>23</sup></td><td>A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>④<sup>24</sup></td><td>B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑤<sup>25</sup></td><td>余熱除去AラインC/V外側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑥<sup>26</sup></td><td>余熱除去BラインC/V外側隔離弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑦<sup>27</sup></td><td>A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑧<sup>28</sup></td><td>B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑨<sup>29</sup></td><td>A-余熱除去ポンプRSP側入口弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑩<sup>30</sup></td><td>B-余熱除去ポンプRSP側入口弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>⑪<sup>31</sup></td><td>A-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑫<sup>32</sup></td><td>B-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁</td><td>全閉→全開</td></tr> <tr><td>⑬<sup>33</sup></td><td>A-余熱除去冷却器出口流量調節弁</td><td>全開→調整開</td></tr> <tr><td>⑭<sup>34</sup></td><td>B-余熱除去冷却器出口流量調節弁</td><td>全開→調整開</td></tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.36 図 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>21</sup>	A-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	全閉確認	② <sup>22</sup>	B-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	全閉確認	③ <sup>23</sup>	A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全開確認	④ <sup>24</sup>	B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全開確認	⑤ <sup>25</sup>	余熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認	⑥ <sup>26</sup>	余熱除去BラインC/V外側隔離弁	全開確認	⑦ <sup>27</sup>	A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全開確認	⑧ <sup>28</sup>	B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全開確認	⑨ <sup>29</sup>	A-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開確認	⑩ <sup>30</sup>	B-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開確認	⑪ <sup>31</sup>	A-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁	全閉→全開	⑫ <sup>32</sup>	B-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁	全閉→全開	⑬ <sup>33</sup>	A-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開	⑭ <sup>34</sup>	B-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  （女川審査実績の反映）                  ・凡例の記載内容充実                  ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																														
① <sup>21</sup>	A-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	全閉確認																																														
② <sup>22</sup>	B-余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁	全閉確認																																														
③ <sup>23</sup>	A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全開確認																																														
④ <sup>24</sup>	B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全開確認																																														
⑤ <sup>25</sup>	余熱除去AラインC/V外側隔離弁	全開確認																																														
⑥ <sup>26</sup>	余熱除去BラインC/V外側隔離弁	全開確認																																														
⑦ <sup>27</sup>	A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全開確認																																														
⑧ <sup>28</sup>	B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全開確認																																														
⑨ <sup>29</sup>	A-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開確認																																														
⑩ <sup>30</sup>	B-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開確認																																														
⑪ <sup>31</sup>	A-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁	全閉→全開																																														
⑫ <sup>32</sup>	B-余熱除去ポンプRSP/再循環サンプ側入口弁	全閉→全開																																														
⑬ <sup>33</sup>	A-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開																																														
⑭ <sup>34</sup>	B-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全開→調整開																																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

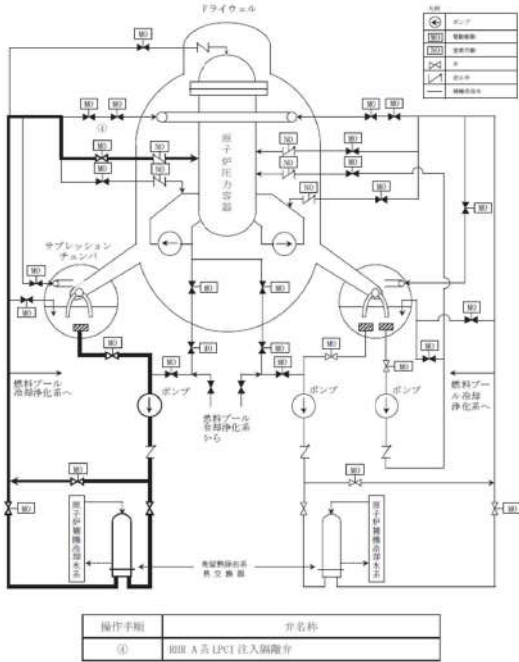
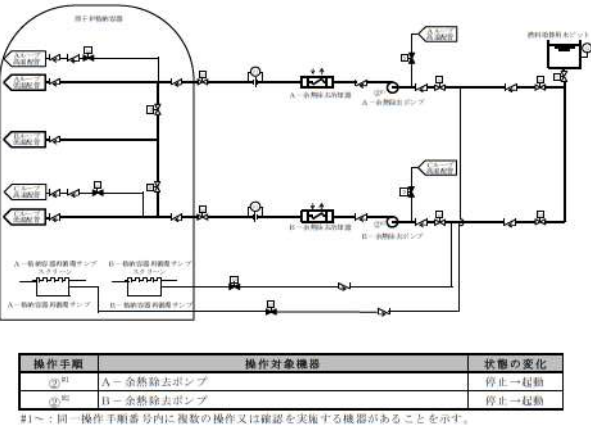
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="text-align: center;"> <p>第1.4.42図 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 タイムチャート</p> </div> <p>※ 原簿移動時間には防保職員単用時間を含む。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>	<p><b>【大飯】</b>                  運用の相違                  (相違理由③)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。</li> <li>・泊3号炉は、代替非常用発電機からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。</li> </ul>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-39 図 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.37 図 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	<p>【大阪】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）                      ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

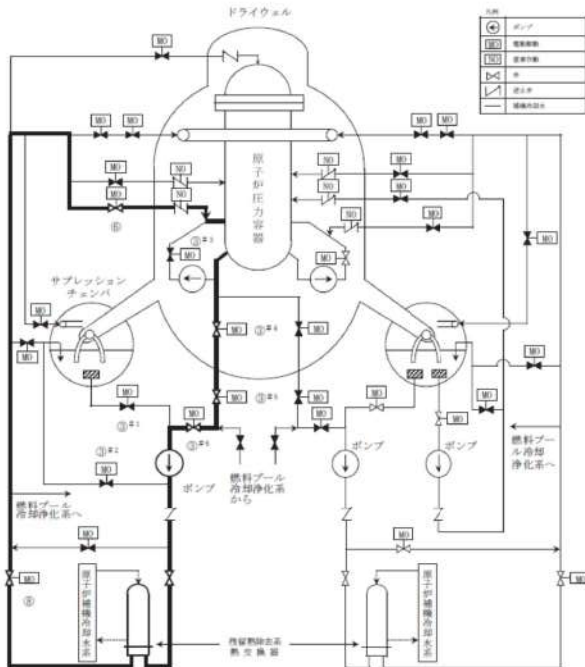
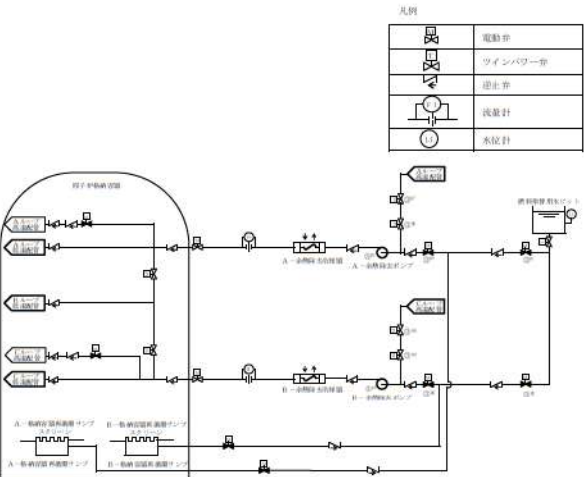
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>	<div data-bbox="745 544 1357 906"> </div> <div data-bbox="860 938 1267 992"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>LPCS 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="786 1018 1344 1040"> <p>第 1.4-40 図 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 概要図</p> </div>	操作手順	弁名称	①	LPCS 注入隔離弁	<div data-bbox="1377 432 1960 943"> </div> <div data-bbox="1393 967 1935 1062"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①<sup>1)</sup></td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②<sup>2)</sup></td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③<sup>3)</sup></td> <td>A-余熱除去ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④<sup>4)</sup></td> <td>B-余熱除去ポンプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1393 1066 1848 1082"> <p>*1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div> <div data-bbox="1422 1137 1915 1160"> <p>第 1.4.38 図 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転 概要図</p> </div>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① <sup>1)</sup>	A-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁	全開→全開	② <sup>2)</sup>	B-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁	全開→全開	③ <sup>3)</sup>	A-余熱除去ポンプ側入口弁	全開→全開	④ <sup>4)</sup>	B-余熱除去ポンプ側入口弁	全開→全開	<div data-bbox="2027 639 2172 890"> <p>【大飯】                      記載方針の相違（女川審査実績の反映）                      ・泊は、重大事故等                      対処設備（設計                      基準拡張）の手                      順を整理してい                      る。</p> </div>
操作手順	弁名称																					
①	LPCS 注入隔離弁																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																				
① <sup>1)</sup>	A-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁	全開→全開																				
② <sup>2)</sup>	B-余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁	全開→全開																				
③ <sup>3)</sup>	A-余熱除去ポンプ側入口弁	全開→全開																				
④ <sup>4)</sup>	B-余熱除去ポンプ側入口弁	全開→全開																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

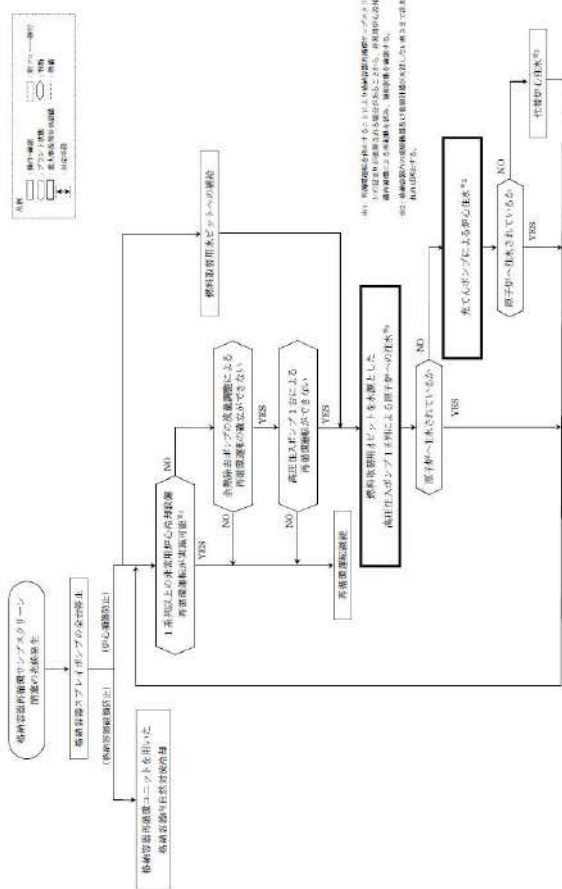
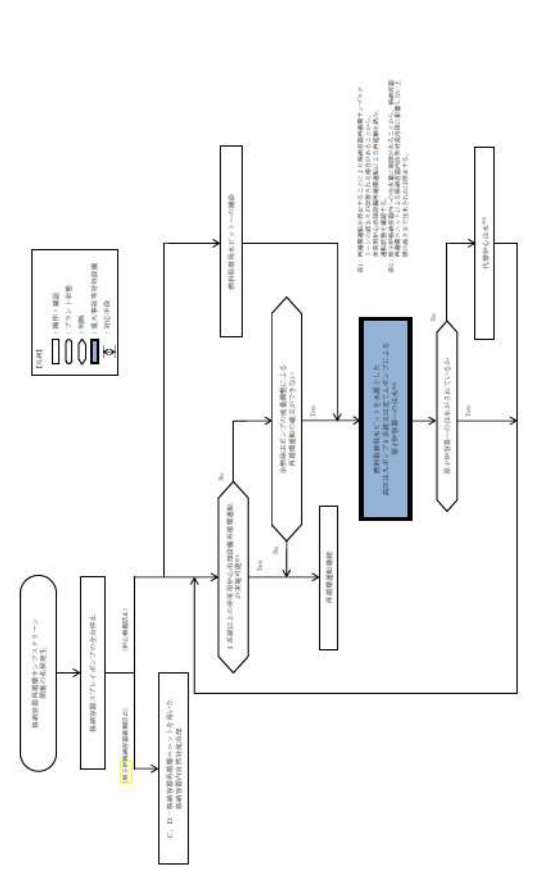
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="840 965 1265 1220"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>寄名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>留取ポンプ(A)S/C吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>留取ポンプ(A)ミニマムブロー弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>留取A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>留取熱交換器(A)出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>①#～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-41図 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	寄名称	①#1	留取ポンプ(A)S/C吸込弁	①#2	留取ポンプ(A)ミニマムブロー弁	①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	①#4	留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁	①#5	留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁	①#6	留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	①#7	留取A系停止時冷却注入隔離弁	①#8	留取熱交換器(A)出口弁	 <table border="1" data-bbox="1406 909 1953 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-系熱除去ポンプRSPM入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>B-系熱除去ポンプRSPM入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>A-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>B-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>A-系熱除去ポンプ入口/A内側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>B-系熱除去ポンプ入口/B内側隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>熱除去Aライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>熱除去Bライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#9</td> <td>A-系熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>①#10</td> <td>B-系熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①#～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.39図 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-系熱除去ポンプRSPM入口弁	全開→全閉	①#2	B-系熱除去ポンプRSPM入口弁	全開→全閉	①#3	A-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁	全開→全閉	①#4	B-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁	全開→全閉	①#5	A-系熱除去ポンプ入口/A内側隔離弁	全開→全閉	①#6	B-系熱除去ポンプ入口/B内側隔離弁	全開→全閉	①#7	熱除去Aライン入口止め弁	全開→全閉	①#8	熱除去Bライン入口止め弁	全開→全閉	①#9	A-系熱除去ポンプ	停止→起動	①#10	B-系熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大阪】          記載方針の相違（女川審査実績の反映）          ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	寄名称																																																					
①#1	留取ポンプ(A)S/C吸込弁																																																					
①#2	留取ポンプ(A)ミニマムブロー弁																																																					
①#3	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																																					
①#4	留取A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																					
①#5	留取A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																					
①#6	留取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																																					
①#7	留取A系停止時冷却注入隔離弁																																																					
①#8	留取熱交換器(A)出口弁																																																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																				
①#1	A-系熱除去ポンプRSPM入口弁	全開→全閉																																																				
①#2	B-系熱除去ポンプRSPM入口弁	全開→全閉																																																				
①#3	A-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁	全開→全閉																																																				
①#4	B-系熱除去ポンプRSP/再循環サンプリング入口弁	全開→全閉																																																				
①#5	A-系熱除去ポンプ入口/A内側隔離弁	全開→全閉																																																				
①#6	B-系熱除去ポンプ入口/B内側隔離弁	全開→全閉																																																				
①#7	熱除去Aライン入口止め弁	全開→全閉																																																				
①#8	熱除去Bライン入口止め弁	全開→全閉																																																				
①#9	A-系熱除去ポンプ	停止→起動																																																				
①#10	B-系熱除去ポンプ	停止→起動																																																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

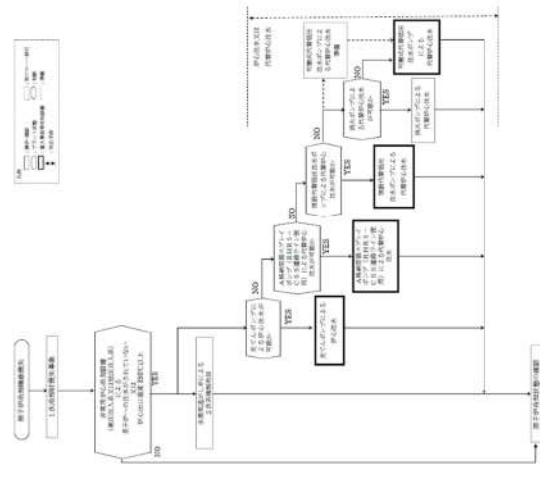
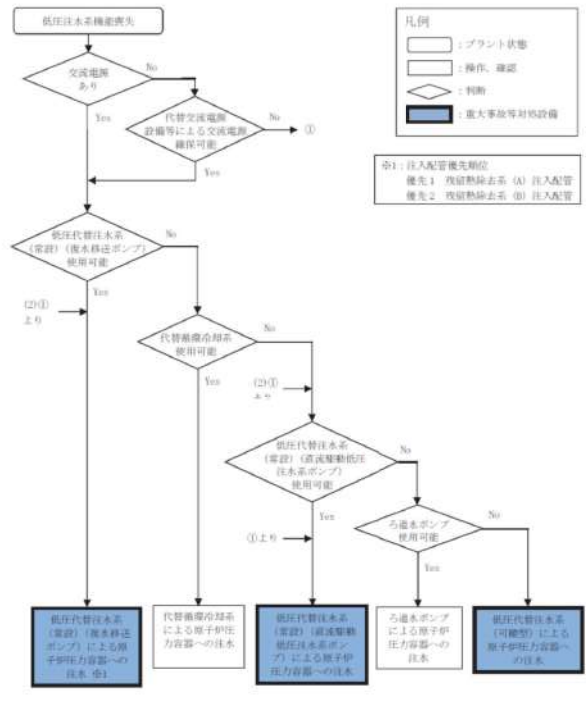
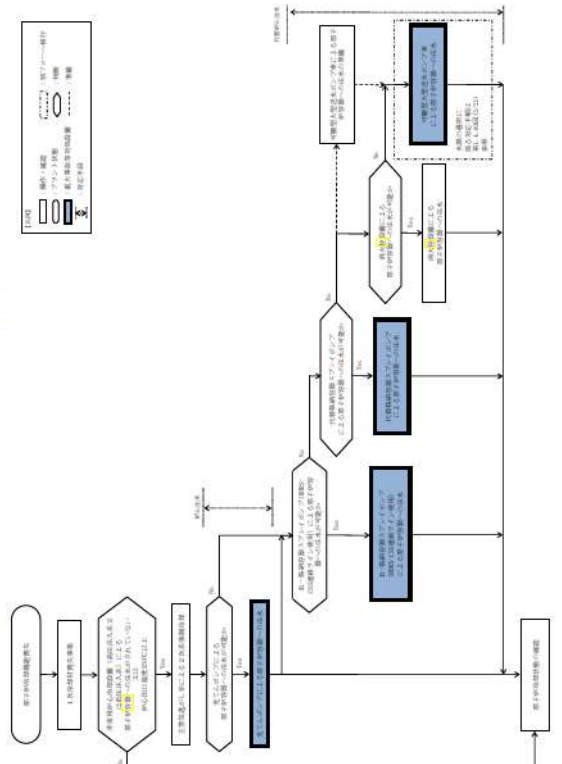
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図 1.4.38 図 格納容器再循環システム閉塞の高圧が見られた場合の手順</p>		 <p>図 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>第1.4.43図 非常用炉心冷却装置による原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時の対応手順</p>	<p>(1) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉運転中）</p>  <p>第1.4-42図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/4)</p>	<p>(2) 非常用炉心冷却装置による原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時の対応手順（フロントライン系故障） (1/2)</p>  <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>



1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 459 1406 1262" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     (2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(2/2)                 </div> <div data-bbox="1435 539 1951 1155" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1977 595 2007 1123" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">                     第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/21)                 </div>	<div data-bbox="2029 724 2134 804" style="color: red;"> <b>【大飯】</b>                      設備の相違                      (相違理由③)                 </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

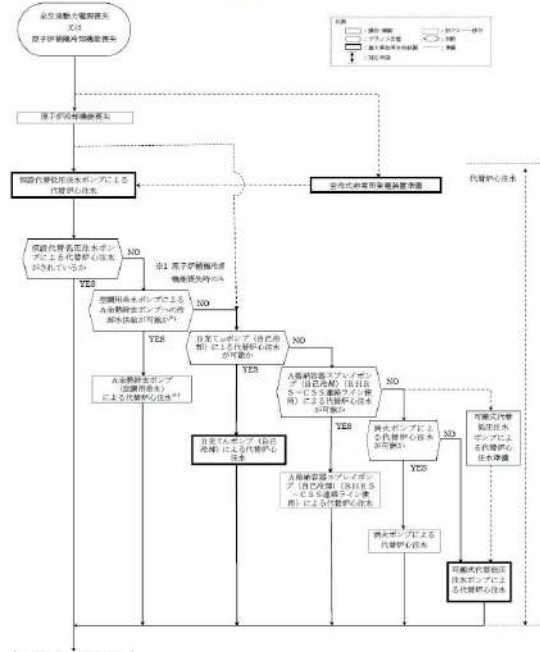
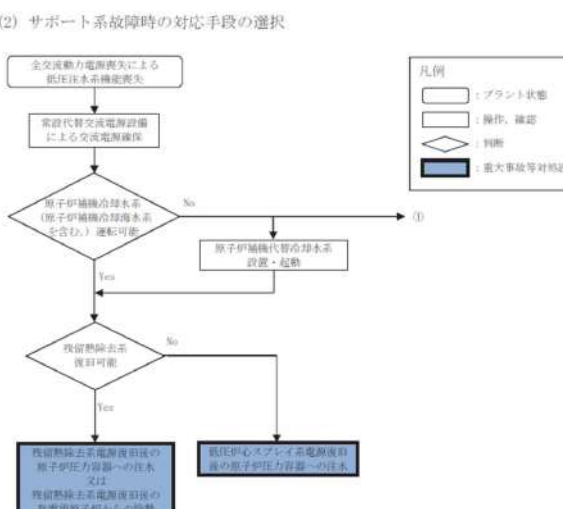
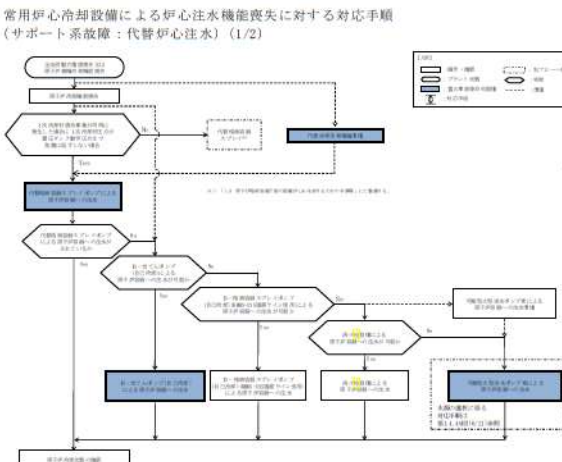
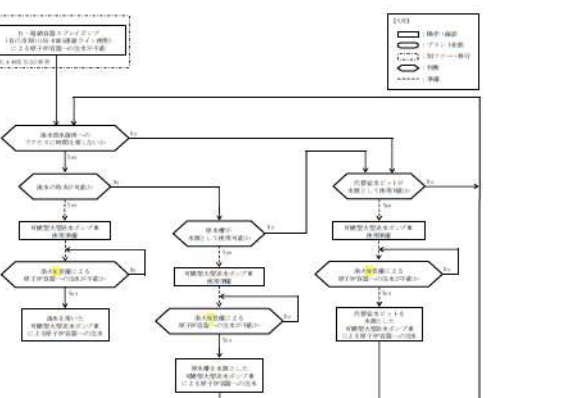
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.20 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順          (フロントライン系機能喪失：再循環運転及び代替再循環運転)</p>		<p>(3) 余熱除去設備の再循環運転による原子炉冷却機能喪失に対する対応手段          (フロントライン系故障)</p> <p>図 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/21)</p>	<p>【大飯】          記載方針の相違          (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】          炉型の相違による          設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p>第 1.4.40 図 非常時炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系故障：代替炉心注水）</p>	 <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/4)</p>	 <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (5/21)</p>  <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (6/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p> <p>【大阪】 設備の相違 （相違理由③）</p>
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4.31図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順          (サポート系機喪失：代替再循環運転)</p>	<p>（空欄）</p>	<p>(5) 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順          (サポート系故障：代替再循環運転)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (7/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4.34図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順</p>	<p>(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手段の選択</p> <p>第1.4-42図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/4)</p>	<p>(6) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (1/2)</p> <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (8/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<div data-bbox="1377 542 1915 1157"> <p>(6) 溶解炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (2/2)</p> </div>	<p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (9/21)</p> <p>【大飯】                      設備の相違                      (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.36 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（フロントライン系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p> <p>第1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (10/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 475 1951 539" style="text-align: center;">                     (7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の                      対応手順（フロントライン系故障）(2/2)                 </div> <div data-bbox="1377 544 2004 1077" style="text-align: center;"> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> </div>	

第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (11/21)



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

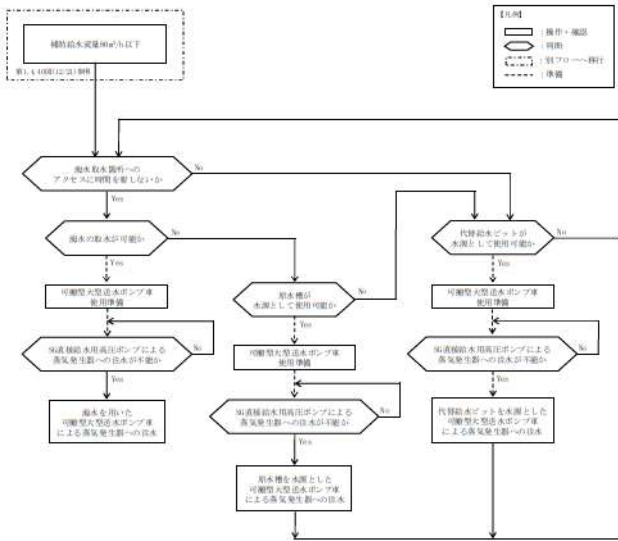
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.37 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（サポート系機能喪失）</p>		<p>(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(1/2)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (12/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(2/2)</p>  <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (13/21)</p>	<p>【大阪】                  設備の相違                  (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

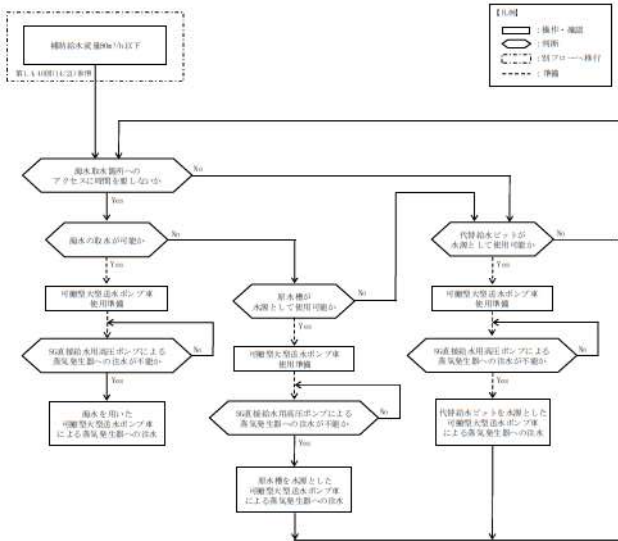
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1/2）</p>	<p>(4) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉停止中）</p> <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（4/4）</p>	<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）（1/4）</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（14/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順                      (フロントライン系故障) (2/4)</p>  <p style="text-align: right;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	

第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (15/21)



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）（2/2）</p>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順              （フロントライン系故障）（3/4）</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（16/21）</p>	<p>【大阪】              記載方針の相違              （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】              炉型の相違による              設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順                      (フロントライン系故障) (4/4)</p> <div data-bbox="1377 510 1993 1045"> </div> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (17/21)</p>	<p>【大飯】                      設備の相違                      (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

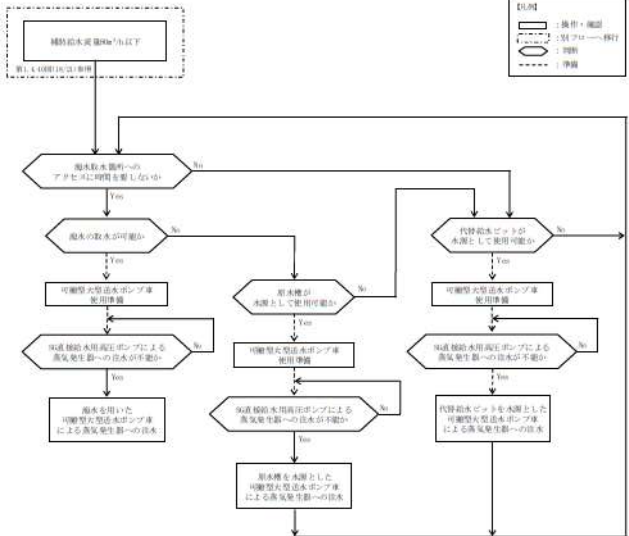
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>停止中の全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却材圧バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</p> <p>図 1.4.43 図 運転停止中の原子炉冷却材圧バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順 (サポート系機能喪失) (1/2)</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (1/4)</p> <p>図 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (18/21)</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     泊3号炉との比較対象なし                 </div>		<p data-bbox="1377 395 1798 454">(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (2/4)</p>  <p data-bbox="1429 1129 1975 1152">第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (19/21)</p>	<p data-bbox="2027 726 2139 805">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>図 1.4.43 停機停止中の原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 (サポート系機能喪失) (2/2)</p>		<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順                  (サポート系故障) (3/4)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (20/21)</p>	<p>【大阪】                  記載方針の相違                  (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】                  炉型の相違による                  設備の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉			
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】			
添付資料 1.4.1			
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)			
技術的能力審査基準 (1.4)	番号	設置許可基準規則 (47条)	技術基準規則 (62条)
<b>【本文】</b> 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	<b>【本文】</b> 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。	<b>【本文】</b> 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。
<b>【解釈】</b> 1「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。	—	<b>【解釈】</b> 1 第47条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	<b>【解釈】</b> 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。
(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。	②	(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。	(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。
(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。	③	b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。	b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。
—	—	c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。	c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）  
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉				相違理由
添付資料1.4.1-(1)				
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/13)				
技術的能力審査基準 (1.4)	番号	設置許可基準規則 (四十七条)	技術基準規則 (六十二条)	
<b>【本文】</b> 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。	①	<b>【本文】</b> 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。	<b>【本文】</b> 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。	
<b>【解釈】</b> 1「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。	—	<b>【解釈】</b> 1 第47条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	<b>【解釈】</b> 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。	
(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。	②	(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。	(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。	
(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。	③	b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。	b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。	
—	—	c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。	c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。	

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川実績の反映)  
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。  
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)									
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)					
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可稼	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
原子炉の冷却 モードによる発電用	残留熱除去系ポンプ	既設							
	サブプレッションチェンバ	既設							
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ 迄2	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
発電用原子炉の冷却 低圧炉心スプレイ系による	低圧炉心スプレイ系ポンプ	既設							
	サブプレッションチェンバ	既設							
	低圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパージャ	既設							
	原子炉圧力容器	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
原子炉からの除熱 冷却モードによる発電用	残留熱除去系ポンプ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	残留熱除去系熱交換器	既設							
	残留熱除去系配管・弁	既設							
	原子炉再循環系配管・弁・ジェットポンプ	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							

※1: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)  
 ※2: 残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉										
添付資料1.4.1-(2)										
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/13)										
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)						
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策							
対応手段	機器名称	既設新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可稼	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	
高圧注入ポンプによる発電用原子炉の冷却	高圧注入ポンプ	既設								
	ほう酸注入タンク	既設								
	燃料取替用水ピット	既設								
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設								
	非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁	既設								
	原子炉補機冷却設備	既設	①④	-	-	-	-	-	-	
	非常用取水設備	既設								
	1次冷却設備	既設								
	原子炉容器	既設								
	非常用交流電源設備	既設 新設								
	炉内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設								
	余熱除去ポンプによる発電用原子炉の冷却	余熱除去ポンプ	既設							
燃料取替用水ピット		既設								
余熱除去冷却器		既設								
非常用炉心冷却設備 配管・弁		既設								
非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁		既設								
原子炉補機冷却設備		既設	①④	-	-	-	-	-	-	
非常用取水設備		既設								
1次冷却設備		既設								
原子炉容器		既設								
非常用交流電源設備		既設 新設								
高圧注入ポンプによる高圧再循環運転		高圧注入ポンプ	既設							
		ほう酸注入タンク	既設							
	格納容器再循環サンブ	既設								
	格納容器再循環サンブスクリーン	既設								
	安全注入ポンプ再循環サンブ積入口CVR再循環弁	既設								
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	①④	-	-	-	-	-	-	
	非常用炉心冷却設備 (高圧注入系) 配管・弁	既設								
	原子炉補機冷却設備	既設								
	非常用取水設備	既設								
	1次冷却設備	既設								
	原子炉容器	既設								
	非常用交流電源設備	既設 新設								

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川実績の反映)

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉										泊発電所3号炉										相違理由
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】										添付資料1.4.1-(3)										【女川】 設備の相違による対応手段の相違  【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/8)										審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (3/13)										
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）										
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段					自主対策					重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段					自主対策					備考
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可換	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考	対応 手段	機器名称	常設 可換	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考					
低圧代替注水系（常設）による発電用原子炉の冷却	復水移送ポンプ	既設	① ④ ⑥ ⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	復水貯蔵タンク	既設																		
	補給水系 配管・弁	既設 新設																		
	残留熱除去系 配管・弁	既設																		
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁	既設 新設																		
	燃料プール補給水系 弁	既設																		
	原子炉圧力容器	既設																		
	非常用交流電源設備	既設																		
	常設代替交流電源設備	新設																		
	可換型代替交流電源設備	新設																		
	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設																		
	代替所内電気設備	新設																		
低圧代替注水系（常設）による発電用原子炉の冷却	直流駆動低圧注水系ポンプ	新設	① ④ ⑥ ⑦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	復水貯蔵タンク	既設																		
	補給水系 配管	既設																		
	直流駆動低圧注水系 配管・弁	新設																		
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁・スパージャ	既設																		
	燃料プール補給水系 弁	既設																		
	原子炉圧力容器	既設																		
	常設代替交流電源設備	既設																		
	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設																		
	常設代替交流電源設備	新設																		
	可換型代替交流電源設備	新設																		
	発電用原子炉からの除熱	余熱除去ポンプ														既設	① ④	-	-	-
結納容器再循環ポンプ		既設																		
結納容器再循環ポンプスクリーン		既設																		
余熱除去ポンプ再循環ポンプ側入口弁		既設																		
余熱除去冷却器		既設																		
非常用炉心冷却設備 配管・弁		既設																		
非常用炉心冷却設備（低圧注水系）配管・弁		既設																		
原子炉補機冷却設備		既設																		
非常用取水設備		既設																		
1次冷却設備		既設																		
原子炉容器		既設																		
非常用交流電源設備		既設 新設																		
充てんポンプによる発電用原子炉の冷却	余熱除去ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	余熱除去冷却器	既設																		
	余熱除去設備 配管・弁	既設																		
	原子炉補機冷却設備	既設																		
	非常用取水設備	既設																		
	1次冷却設備	既設																		
	原子炉容器	既設																		
	非常用交流電源設備	既設 新設																		
	充てんポンプ	既設																		
	燃料取替用水ピット	既設																		
	再生熱交換器	既設																		
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																		
化学体積制御設備 配管・弁	既設																			
1次冷却設備	既設																			
原子炉容器	既設																			
原子炉補機冷却設備	既設																			
非常用取水設備	既設																			
非常用交流電源設備	既設 新設																			
充てんポンプによる発電用原子炉の冷却	ほう騰ポンプ	常設	① ④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	自主対策とする場合は本文参照					
	ほう騰タンク	常設																		
	1次系補給水ポンプ	常設																		
	1次系給水タンク	常設																		
	給水結露設備 配管・弁	常設																		
	化学体積制御設備 配管・弁	常設																		
	常用電源設備	常設																		

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要なとなる水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）  
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/8)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時稼働に使用 可能か	対応可能な人員で 稼働可能か	備考
低圧代替注水系へ可動型への対応による発電用原子炉の冷却	大容量送水ポンプ（タイプ1）	新設	①②④⑥⑦	-	-	-	-	-	-
	低圧貯水槽（No.1）※1	新設							
	低圧貯水槽（No.2）※1	新設							
	ホース延長回収車	新設							
	ホース・注水用ヘッダ・接続口	新設							
	補助水系 配管・弁	既設 新設							
	残留熱除去系 配管・弁	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	常設代替交流電源設備	新設							
可動型代替交流電源設備	新設								
代替所内電気設備	新設								
燃料補給設備	既設 新設								
-	-	-	-	-	代替循環冷却ポンプ	常設	15分	1名	自主対策とする理由は本文参照
					サブプレッションチェンバ	常設			
					残留熱除去系熱交換器	常設			
					残留熱除去系 配管・弁・ストレータ	常設			
					原子炉圧力容器	常設			
					原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	常設			
					非常用取水設備	常設			
					原子炉補機代替冷却水系	可設			
					非常用交流電源設備	常設			
					常設代替交流電源設備	常設			
代替所内電気設備	常設								
-	-	-	-	-	ろ過水ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照
					ろ過水タンク	常設			
					ろ過水系 配管・弁	常設			
					補助水系 配管・弁	常設			
					残留熱除去系 配管・弁	常設			
					原子炉圧力容器	常設			
					非常用交流電源設備	常設			
					常設代替交流電源設備	常設			

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）  
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
添付資料1.4.1-(4)									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/13)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可設	必要時稼働に 使用可能か	対応可能な 人員で 使用可能か	備考
発電用原子炉の冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	格納容器スプレイ冷却器	既設							
	燃料取扱用ホット	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設 新設							
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	原子炉補機冷却設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
非常用交流電源設備	既設 新設								
代替格納容器スプレイポンプによる発電用原子炉の冷却	代替格納容器スプレイポンプ	新設	①④⑥⑦	-	-	-	-	-	-
	燃料取扱用ホット	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設 新設							
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	補助給水ピット	既設							
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設 新設							
	非常用交流電源設備	既設 新設							
常設代替交流電源設備	既設 新設								
可動型代替交流電源設備	既設 新設								
代替所内電気設備	既設 新設								
-	-	-	-	-	電動機駆動消防ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照
					ディーゼル駆動消防ポンプ	常設			
					ろ過水タンク	常設			
					可動型ホース	可設			
					火災防護設備（煙火検知器）配管・弁	常設			
					給水処理設備 配管・弁	常設			
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設			
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設			
					1次冷却設備	常設			
					原子炉容器	常設			
非常用電源設備	常設								

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川実績の反映）

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/8)									
■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可兼	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
常設代替交流電源設備による モードの復旧 低圧注水	残留熱除去系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※2	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							
常設代替交流電源設備による 低圧伊心スプレィ系の復旧	低圧伊心スプレィ系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	低圧伊心スプレィ系配管・弁・ストレーナ・スパージャ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							

※1: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)  
 ※2: 残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
添付資料 1.4.1-(5)									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/13)									
■ : 重大事故等対処設備 □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要時間内に使用 可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
海水を用いた可兼型大型送水ポンプ車による 発電用原子炉の冷却	可兼型大型送水ポンプ車	新設	① ② ④ ⑤ ⑦	-	-	-	-	-	-
	可兼型ホース・接続口	新設							
	ホース延長・回収車 (送水車用)	新設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	非常用炉心冷却設備 (低圧注水系) 配管・弁	既設							
	原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	非常用取水設備	既設							
	燃料補給設備	既設							
	燃料補給設備	既設							
可兼型大型代替給水ポンプ車による 発電用原子炉の冷却	可兼型大型送水ポンプ車	可兼	-	-	-	-	-	-	自主対策とする理由は本文参照
	可兼型ホース・接続口	可兼							
	ホース延長・回収車 (送水車用)	可兼							
	代替給水ピット	常設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設							
	非常用炉心冷却設備 (低圧注水系) 配管・弁	常設							
	原子炉格納容器スプレィ設備 配管・弁	常設							
	1次冷却設備	常設							
	原子炉容器	常設							
	燃料補給設備	常設							
	燃料補給設備	常設							

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川実績の反映)  
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。  
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/8)

■ : 重大事故等対処設備    □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	備考
低圧代替注水系(常設) 残存溶融炉心の冷却 ポンプによる	復水移送ポンプ	既設	① ④	低圧代替注水系(常設) 残存溶融炉心の冷却 ポンプによる	復水移送ポンプ	常設	自主対策とする理由は 本文参照
	復水貯蔵タンク	既設			復水貯蔵タンク	常設	
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設	
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設	
	高圧炉心スプレイス 配管・弁	既設 新設			残留熱除去系ヘッドス プレイ 配管・弁	常設	
	燃料プール補給水系 弁	既設			高圧炉心スプレイス 配管・弁	常設	
	原子炉圧力容器	既設			燃料プール補給水系 弁	常設	
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設	
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設	
	所内常設蓄電式直流電 源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	常設 可設	
	代替所内電気設備	新設			所内常設蓄電式直流電 源設備	常設	
	—	—			代替所内電気設備	常設	
低圧代替注水系(可搬型) による	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設	① ④	低圧代替注水系(可搬型) による	大容量送水ポンプ (タイプ1)	可設	自主対策とする理由は 本文参照
	淡水貯水槽 (No.1) ※1	新設			淡水貯水槽 (No.1) ※1	常設	
	淡水貯水槽 (No.2) ※1	新設			淡水貯水槽 (No.2) ※1	常設	
	ホース延長回収車	新設			ホース延長回収車	可設	
	ホース・注水用ヘッ ダ・接続口	新設			ホース・注水用ヘッ ダ・接続口	可設	
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設	
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設	
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドス プレイ 配管・弁	常設	
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設	
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設	
	代替所内電気設備	新設			可搬型代替交流電源設備	常設 可設	
	燃料補給設備	既設 新設			代替所内電気設備	常設	
—	—	燃料補給設備	常設 可設				

※1: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替水源 (措置)  
 ※2: 残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉

添付資料1.4.1-(6)

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (6/13)

■ : 重大事故等対処設備    □ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策			
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可設	備考
—	—	—	—	—	可搬型大型送水ポンプ車	可設	自主対策とする理由は本文参照
					可搬型ホース・接続口	可設	
					ホース延長・回収車 (送水車用)	可設	
					原水槽	常設	
					2次系純水タンク	常設	
					ろ過水タンク	常設	
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	
					非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	常設	
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設	
					給水処理設備 配管・弁	常設	
					1次冷却設備	常設	
					原子炉容器	常設	
燃料補給設備	常設 可設						
—	—	—	① ④	—	B-格納容器スプレイポンプ	既設	自主対策とする理由は本文参照
					B-格納容器スプレイ冷却器	既設	
					B-安全注入ポンプ再循環タンク投入口C/外側開閉弁	既設	
					格納容器再循環タンク	既設	
					格納容器再循環タンクスクリーン	既設	
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	新設	
					非常用炉心冷却設備 (低圧注入系) 配管・弁	既設	
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設	
					1次冷却設備	既設	
					原子炉容器	既設	
					原子炉補機冷却設備	既設	
					非常用取水設備	既設	
非常用交流電源設備	既設 新設						

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 (女川実績の反映)  
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。  
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉																
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】																
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (7/8)																
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）																
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策												
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可操	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考							
代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	新設	①	代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照							
	サブプレッションチェンバ	既設			サブプレッションチェンバ	常設										
	残留熱除去系熱交換器	既設			残留熱除去系熱交換器	常設										
	残留熱除去系 配管・弁・ストレータ	既設 新設			残留熱除去系 配管・弁・ストレータ	常設										
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドスプレィ 配管・弁	常設										
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設			原子炉圧力容器	常設										
	非常用取水設備	既設			原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	常設										
	原子炉補機代替冷却水系	新設			非常用取水設備	常設										
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉補機代替冷却水系	可操										
	代替所内電気設備	新設			常設代替交流電源設備	常設										
—	—	—	—	代替所内電気設備	常設	—	—	—	—							
—	—	—	—	残存溶融炉心の冷却	ろ過水ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照							
					ろ過水タンク	常設										
					ろ過水系 配管・弁	常設										
					補給水系 配管・弁	常設										
					残留熱除去系 配管・弁	常設										
					残留熱除去系ヘッドスプレィ 配管・弁	常設										
					原子炉圧力容器	常設										
					常設代替交流電源設備	常設										
					—	—				—	—	—	—	—	—	—
					—	—				—	—	—	—	—	—	—

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）  
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
添付資料1.4.1-(7)									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (7/13)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可操	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
格納容器再循環システム（注水車用）の未稼働が見られた場合の手順	高圧注入ポンプ	既設	④	格納容器再循環システム（注水車用）の未稼働が見られた場合の手順	ほう酸ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照
	光てんポンプ	既設			1次系補給水ポンプ	常設			
	代替格納容器スプレィポンプ	既設			電動機駆動消防ポンプ	常設			
	B-格納容器スプレィポンプ	既設			ディーゼル駆動消防ポンプ	常設			
	可操型大型送水ポンプ車	新設			可操型大型送水ポンプ車	可操			
	可操型ホース・接続口	新設			可操型ホース・接続口	可操			
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設			ホース延長・回収車（送水車用）	可操			
	燃料取扱替用水ビット	既設			ほう酸タンク	常設			
	補助給水ビット	既設			1次系純水タンク	常設			
	ほう酸注入タンク	既設			代替給水ビット	常設			
	非常用炉心冷却設備（配管・弁）	既設 新設			原水槽	常設			
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設 新設			2次系純水タンク	常設			
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設 新設			ろ過水タンク	常設			
	再生熱交換器	既設			非常用炉心冷却設備（配管・弁）	常設			
	化学体積制御設備（配管・弁）	既設			非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設			
	B-格納容器スプレィ冷却器	既設			原子炉格納容器スプレィ設備（配管・弁）	常設			
	原子炉格納容器スプレィ設備（配管・弁）	既設 新設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設			
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			給水処理設備（配管・弁）	常設			
	1次冷却設備	既設			1次冷却設備	常設			
	原子炉容器	既設			原子炉容器	常設			
非常用取水設備	既設	非常用交流電源設備	常設						
燃料補給設備	既設 新設	常用電源設備	常設						
原子炉補機冷却設備	既設	燃料補給設備	常設 可操						
非常用取水設備	既設	—	—						
非常用交流電源設備	既設 新設	—	—						

【女川】  
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】  
 記載方針の相違  
 （女川実績の反映）  
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。  
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																			
	添付資料 1.4.1-(9) 審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (9/13) ■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）		【女川】 設備の相違による対応手段の相違  【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設新設</th> <th>解釈対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設可能</th> <th>必要時間内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>電機用原子炉冷却ポンプの冷却ポンプによる</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="10">40分</td> <td rowspan="10">3名</td> <td rowspan="10">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>電動機駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td rowspan="15">① ③ ④</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環ポンプスクリーン</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>A-安全注入ポンプ再循環ポンプ側入口C/D外側隔離弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほう酸注入タンク</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉容器</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用取水設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可能	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	-	-	-	-	電機用原子炉冷却ポンプの冷却ポンプによる	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照						電動機駆動消火ポンプ	常設						ろ過水タンク	常設						可搬型ホース	可搬						火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設						給水処理設備 配管・弁	常設						非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設						原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設						1次冷却設備	常設						原子炉容器	常設						常用電源設備	常設		A-高圧注入ポンプ	既設		① ③ ④							格納容器再循環ポンプ	既設									格納容器再循環ポンプスクリーン	既設									A-安全注入ポンプ再循環ポンプ側入口C/D外側隔離弁	既設									ほう酸注入タンク	既設									可搬型炉心冷却設備 配管・弁	既設									可搬型炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設									1次冷却設備	既設									原子炉容器	既設									可搬型大型送水ポンプ車	新設									可搬型ホース・接続口	新設									ホース延長・回収車（送水車用）	新設									原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水設備）配管・弁	既設 新設									非常用取水設備	既設									常設代替交流電源設備	既設 新設									燃料補給設備	既設 新設								【女川】
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																																																																																																																																																		
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可能	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																																													
-	-	-	-	電機用原子炉冷却ポンプの冷却ポンプによる	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	40分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																																													
					電動機駆動消火ポンプ	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					ろ過水タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					可搬型ホース	可搬																																																																																																																																																																																																																																																																
					火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					給水処理設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					1次冷却設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					原子炉容器	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
					常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																																																
	A-高圧注入ポンプ	既設		① ③ ④																																																																																																																																																																																																																																																																		
	格納容器再循環ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	格納容器再循環ポンプスクリーン	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	A-安全注入ポンプ再循環ポンプ側入口C/D外側隔離弁	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ほう酸注入タンク	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	可搬型炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	可搬型炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	1次冷却設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	原子炉容器	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	可搬型大型送水ポンプ車	新設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	可搬型ホース・接続口	新設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	原子炉補機冷却設備（原子炉補機冷却水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	非常用取水設備	既設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																																																																																																																																																				
	燃料補給設備	既設 新設																																																																																																																																																																																																																																																																				



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																									
	<p style="text-align: right;">添付資料1.4.1-(10)</p> <p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (10/13)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可兼</th> <th>必要期限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">① ③ ④</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却</td> <td>電動機駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">35分</td> <td rowspan="2">3名</td> <td rowspan="20" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> <td>ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用ホット</td> <td>既設</td> <td>可兼型大型送水ポンプ車</td> <td>可兼</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ホット</td> <td>既設</td> <td>可兼型ホース・接続口</td> <td>可兼</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>既設</td> <td>ホース延長・回収車（送水専用）</td> <td>可兼</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td>代替給水ホット</td> <td>常設</td> <td>170分</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> <td>取水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">225分</td> <td rowspan="2">9名</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>スプレイノズル</td> <td>既設</td> <td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>スプレイリング</td> <td>既設</td> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> <td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設</td> <td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>可兼型代替交流電源設備</td> <td>既設</td> <td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備</td> <td>既設</td> <td>スプレイノズル</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却設備</td> <td>既設</td> <td>スプレイリング</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td>既設</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設</td> <td>非常用取水設備</td> <td>常設</td> <td>225分</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却	電動機駆動消火ポンプ	常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照	代替格納容器スプレイポンプ	新設	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	燃料取替用ホット	既設	可兼型大型送水ポンプ車	可兼	-	-	補助給水ホット	既設	可兼型ホース・接続口	可兼	格納容器スプレイ冷却器	既設	ホース延長・回収車（送水専用）	可兼	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	代替給水ホット	常設	170分	9名	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	取水槽	常設	225分	9名	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設	2次系純水タンク	常設	スプレイノズル	既設	ろ過水タンク	常設	-	-	スプレイリング	既設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	原子炉格納容器	既設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設	-	-	常設代替交流電源設備	既設	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	可兼型代替交流電源設備	既設	給水処理設備 配管・弁	常設	-	-	代替所内電気設備	既設	スプレイノズル	常設	原子炉補機冷却設備	既設	スプレイリング	常設	-	-	非常用取水設備	既設	原子炉格納容器	常設	非常用交流電源設備	既設	非常用取水設備	常設	225分	9名	-	-	-	-	非常用交流電源設備	常設	-	-	-	-	-	-	常設代替交流電源設備	常設	-	-	-	-	常用電源設備	常設	-	-	-	-	-	-	燃料補給設備	常設	<p>設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。</li> <li>・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																																							
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																		
格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断炉心の冷却	電動機駆動消火ポンプ	常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																		
	代替格納容器スプレイポンプ	新設			ディーゼル駆動消火ポンプ	常設																																																																																																																																					
	燃料取替用ホット	既設			可兼型大型送水ポンプ車	可兼	-	-																																																																																																																																			
	補助給水ホット	既設			可兼型ホース・接続口	可兼																																																																																																																																					
	格納容器スプレイ冷却器	既設			ホース延長・回収車（送水専用）	可兼																																																																																																																																					
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設			代替給水ホット	常設	170分	9名																																																																																																																																			
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設			取水槽	常設	225分	9名																																																																																																																																			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設			2次系純水タンク	常設																																																																																																																																					
	スプレイノズル	既設			ろ過水タンク	常設	-	-																																																																																																																																			
	スプレイリング	既設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																																					
	原子炉格納容器	既設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設	-	-																																																																																																																																			
	常設代替交流電源設備	既設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設																																																																																																																																					
	可兼型代替交流電源設備	既設			給水処理設備 配管・弁	常設	-	-																																																																																																																																			
	代替所内電気設備	既設			スプレイノズル	常設																																																																																																																																					
	原子炉補機冷却設備	既設			スプレイリング	常設	-	-																																																																																																																																			
	非常用取水設備	既設			原子炉格納容器	常設																																																																																																																																					
	非常用交流電源設備	既設			非常用取水設備	常設	225分	9名																																																																																																																																			
	-	-			-	-	非常用交流電源設備	常設		-	-																																																																																																																																
	-	-			-	-	常設代替交流電源設備	常設																																																																																																																																			
	-	-			-	-	常用電源設備	常設		-	-																																																																																																																																
-	-	-	-	燃料補給設備	常設																																																																																																																																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="8" style="vertical-align: middle;">① ④</td> </tr> <tr> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>補助給水ホット</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池式交流電源設備</td> <td>既設</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号	タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	補助給水ホット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	非常用交流電源設備	既設	所内常設蓄電池式交流電源設備	既設																																																																																																																		
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応番号																																																																																																																																								
タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④																																																																																																																																								
	タービン駆動補助給水ポンプ	既設																																																																																																																																									
	補助給水ホット	既設																																																																																																																																									
	蒸気発生器	既設																																																																																																																																									
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																																																									
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																																																									
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																																																									
	非常用交流電源設備	既設																																																																																																																																									
所内常設蓄電池式交流電源設備	既設																																																																																																																																										



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
	<p style="text-align: right;">添付資料1.4.1-(11)</p> <p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (11/13)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>経設新設</th> <th>解釈対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設可設</th> <th>必要時間内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備</td> <td>電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備</td> <td>常設 常設 常設 常設 常設</td> <td>-</td> <td>1名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>SG直接蒸気給水用ポンプへの注水による</td> <td>SG直接蒸気給水用ポンプ 可搬型ホース 補助給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設</td> <td>60分</td> <td>4名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用放水設備 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備</td> <td>可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設</td> <td>230分</td> <td>8名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>代替可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水</td> <td>代替可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 代替給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備</td> <td>可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設</td> <td>180分</td> <td>8名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策				対応手段	機器名称	経設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可設	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	-	-	-	-	電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備	電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備	常設 常設 常設 常設 常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照	-	-	-	-	SG直接蒸気給水用ポンプへの注水による	SG直接蒸気給水用ポンプ 可搬型ホース 補助給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	常設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照	-	-	-	-	可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水	可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用放水設備 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照	-	-	-	-	代替可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水	代替可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 代替給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。</li> <li>泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</li> </ul>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																								
対応手段	機器名称	経設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可設	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																																			
-	-	-	-	電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備	電機主給水ポンプ 蒸気発生器 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管・弁 常用電源設備	常設 常設 常設 常設 常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																			
-	-	-	-	SG直接蒸気給水用ポンプへの注水による	SG直接蒸気給水用ポンプ 可搬型ホース 補助給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 常設代替交流電源設備	常設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照																																																			
-	-	-	-	可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水	可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用放水設備 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																			
-	-	-	-	代替可搬型大型送水ポンプ車を用いた注水による蒸気発生器への注水	代替可搬型大型送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 代替給水ビット 蒸気発生器 2次冷却設備（給水設備）配管 2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	可設 可設 可設 常設 常設 常設 常設 常設 常設 常設	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																			



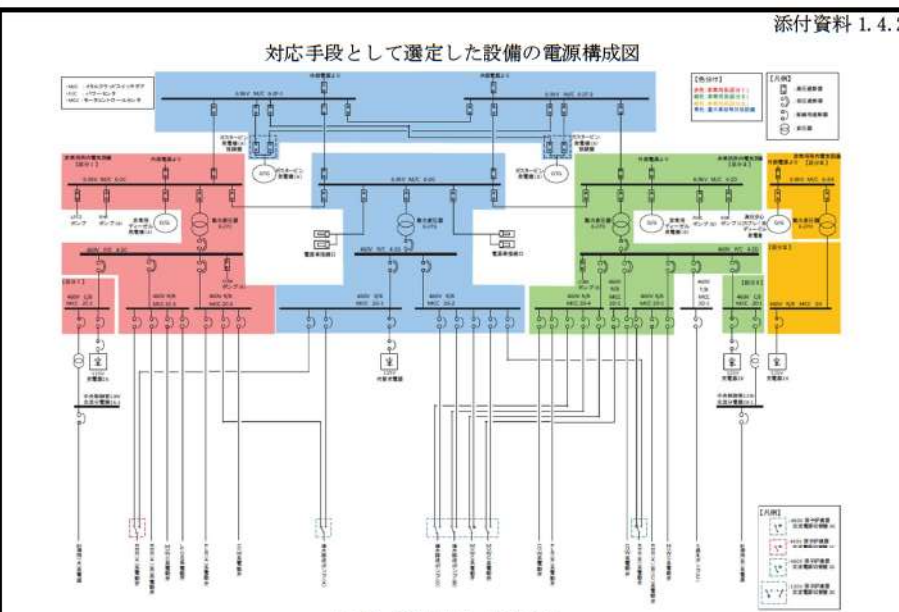
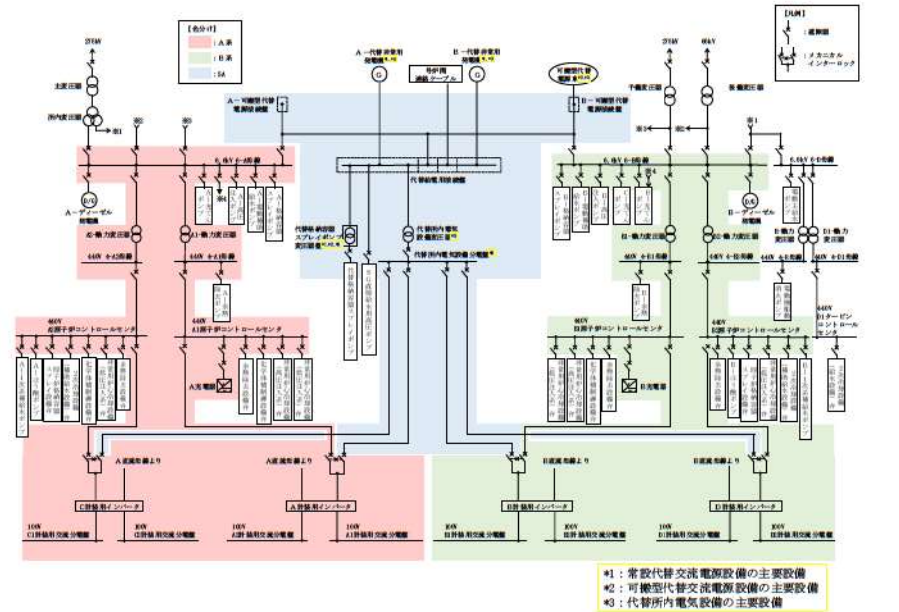
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉		相違理由																																																																																																																														
	添付資料 1.4.1-(13) 審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (13/13) ■：重大事故等対処設備    ■：重大事故等対処設備（設計基準拡張）																																																																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可兼</th> <th>必要時限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水</td> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">① ③ ④</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="9" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（給水設備）配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>電動補助給水ポンプ</td><td>既設</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">現場手動操作による蒸気放出</td> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>既設</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">① ④</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">電動補助給水ポンプによる注水</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">① ④</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td><td>既設</td></tr> <tr><td>蒸気発生器</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（給水設備）配管</td><td>既設</td></tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td><td>既設</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr><td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td><td>既設 新設</td></tr> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">燃料取替用水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">1名</td> <td rowspan="7" style="text-align: center;">自主対策とする理由は本文参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">余熱除去ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">余熱除去冷却器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>		重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要時限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ピット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電動補助給水ポンプ	既設	常設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設	現場手動操作による蒸気放出	主蒸気逃がし弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電動補助給水ポンプによる注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ピット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	常設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	燃料取替用水ピット	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照					余熱除去ポンプ	常設				余熱除去冷却器	常設				非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設				非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設				1次冷却設備	常設				原子炉容器	常設				非常用交流電源設備	常設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料 1.4.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																																													
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要時限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																								
電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																								
	補助給水ピット	既設																																																																																																																															
	蒸気発生器	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																																															
	電動補助給水ポンプ	既設																																																																																																																															
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																															
	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設																																																																																																																															
現場手動操作による蒸気放出	主蒸気逃がし弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																								
	蒸気発生器	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																																															
電動補助給水ポンプによる注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																																								
	補助給水ピット	既設																																																																																																																															
	蒸気発生器	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																																															
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																																															
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																															
所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設																																																																																																																																
-	-	-	-	燃料取替用水ピット	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																									
			余熱除去ポンプ	常設																																																																																																																													
			余熱除去冷却器	常設																																																																																																																													
			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																																													
			非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設																																																																																																																													
			1次冷却設備	常設																																																																																																																													
			原子炉容器	常設																																																																																																																													
			非常用交流電源設備	常設																																																																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <p style="text-align: center;">【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.2を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">添付資料 1.4.2</p> <p style="text-align: center;">対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p style="text-align: center;">第1図 電源構成図（交流電源）</p> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.2-(1)</p> <p style="text-align: center;">対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p style="text-align: center;">第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p>*1：常設代替交流電源設備の主要設備              *2：可搬型代替交流電源設備の主要設備              *3：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】                  設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  (女川実績の反映)                  ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</p>



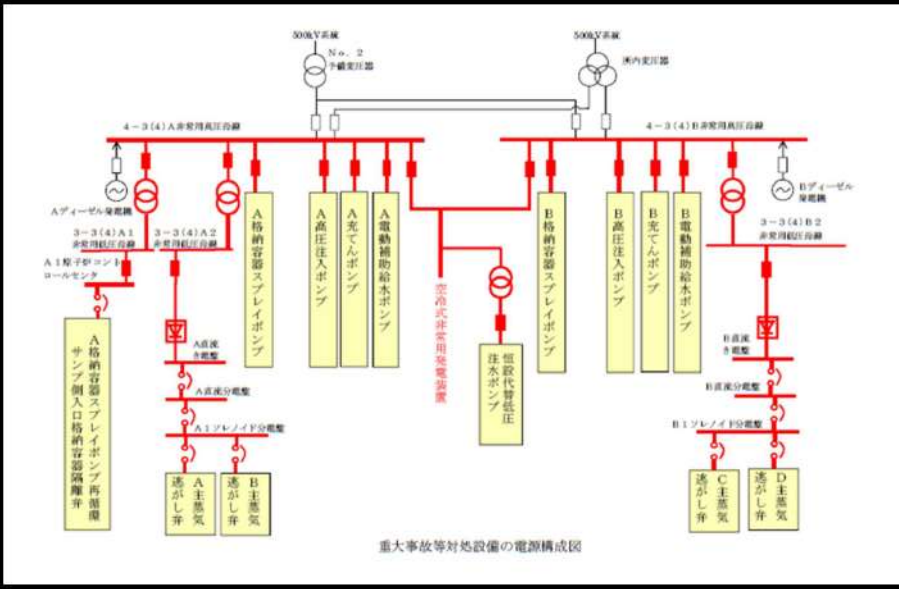
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.2を掲載】</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料1.4.2-(2)</p>	<p>相違理由</p>
<p>第2図 電源構成図（直流電源）</p>	<p>第2図 電源構成図（直流電源）</p> <p>※1：高設代替交流電源設備の主要設備              ※2：可搬型代替交流電源設備の主要設備              ※3：内蔵所内電気設備の主要設備              ※4：所内高設蓄電式直流電源設備の主要設備</p>	<p>【女川】                  設備の相違による電源構成の相違</p>
<p>第3図 電源構成図（直流電源）</p>		

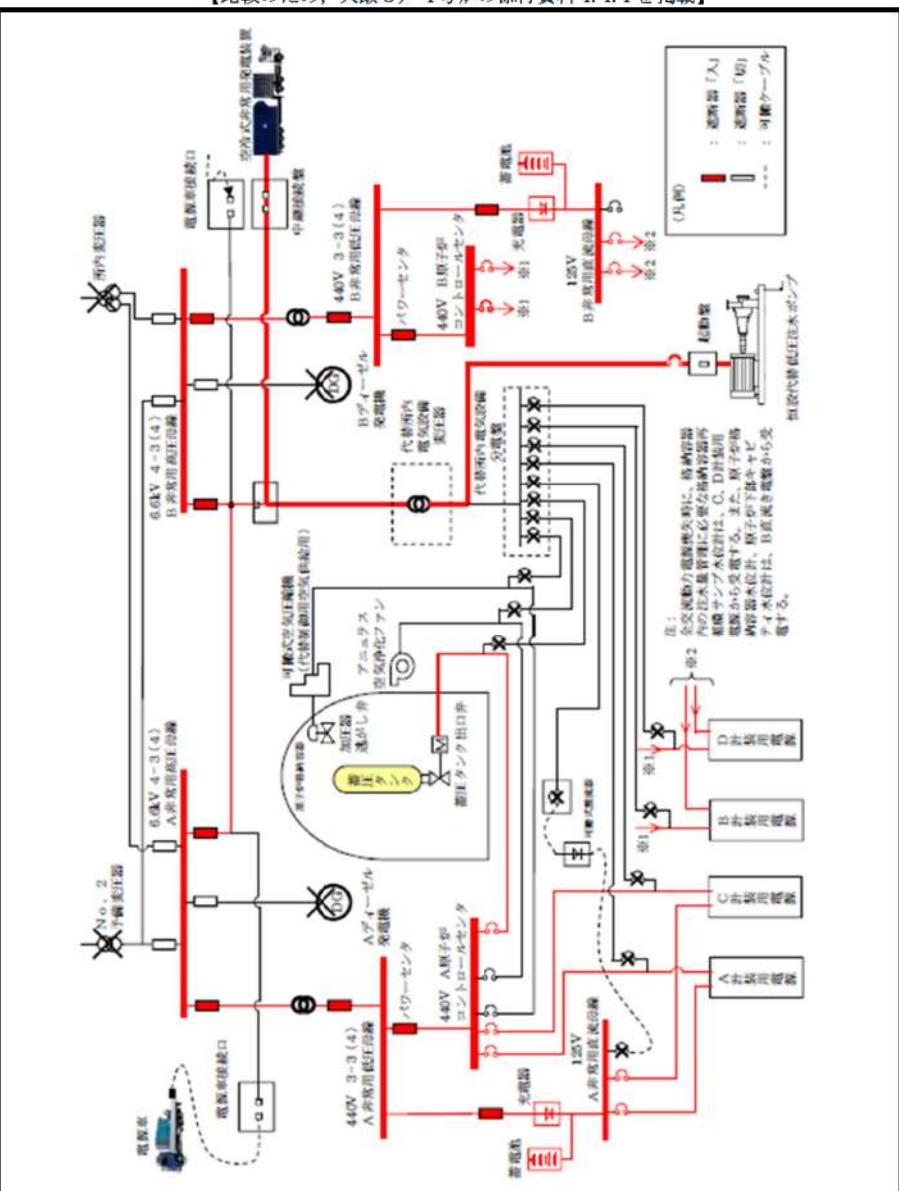
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>【比較のため、大飯 3 / 4号炉の添付資料 1.4.1 を掲載】</p>  <p>重大事故等対処設備の電源構成図</p>	<p>比較対象は泊 3号炉の添付資料 1.4.1 参照</p>	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      (女川実績の反映)                      ・泊は流路及び給電                      に使用する設備を                      記載</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、大飯3/4号炉の添付資料1.4.1を掲載】</p> 	<p>泊発電所 3号炉</p> <p>比較対象は泊3号炉の添付資料 1.4.1 参照</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違                      (女川実績の反映)                      ・泊は「第1図 電源構成図(交流電源)」にまとめて記載</p>





泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
添付資料 1.4.3-(1)						添付資料 1.4.3						
多様性拡張設備仕様						自主対策設備仕様						
機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数	機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数	【大飯】設備の相違 (相違理由③, ④, ⑤, ⑥)
電動消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m <sup>3</sup> /h	83m	1台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	138m	1台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m <sup>3</sup> /h	55m	1台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m <sup>3</sup> /h	133m	1台	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	約8,000m <sup>3</sup>	—	1基	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	2基	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h	80m	2基	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m <sup>3</sup> /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m <sup>3</sup>	—	2基	代替給水ピット	常設	Cクラス	約473m <sup>3</sup>	—	1基	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m <sup>3</sup> /h	80m	2台	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m <sup>3</sup>	—	2基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m <sup>3</sup>	—	2基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m <sup>3</sup>	—	2基	
A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） （RHR S-CSS連絡ライン使用）	常設	Sクラス	約1,200m <sup>3</sup> /h	約175m	1台	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m <sup>3</sup> /h	72m	2台	
燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	3号炉：約2,900m <sup>3</sup> （4号炉：約2,100m <sup>3</sup> ）	—	1基	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m <sup>3</sup>	—	2基	
A余熱除去ポンプ（空調用冷水）	常設	Sクラス	約1,020m <sup>3</sup> （安全注入時 及び再循環時） 約681m <sup>3</sup> （余熱除去時）	約91m（安全注入 時及び再循環 時）約107m（余 熱除去時）	1台	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m <sup>3</sup> /h	95m	2台	
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m <sup>3</sup>	—	1基	
納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基	B-格納容器スプレイポンプ	常設	Sクラス	約940m <sup>3</sup> /h	約170m	1台	
						燃料取替用水ピット	常設	Sクラス	約2,000m <sup>3</sup>	—	1基	
						電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,400m <sup>3</sup> /h	620m	1台	
						脱気器タンク	常設	Cクラス	約400m <sup>3</sup>	—	1基	
						SG直接給水用高圧ポンプ	常設	免震	90m <sup>3</sup> /h	900m	1台	
						補助給水ピット	常設	Sクラス	約660m <sup>3</sup>	—	1基	
						タービンバイパス弁	常設	Cクラス	約350t/h	—	6個	

添付資料 1.4.3-(2)					
機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m <sup>3</sup> /h	約620m	1台
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m <sup>3</sup>	—	1基
蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）	可搬	—	50m <sup>3</sup> /h	300m	1台
復水ピット	常設	Sクラス	約1,200m <sup>3</sup>	—	1基
タービンバイパス弁	常設	Cクラス	—	—	15台
ポンプ車	可搬	—	120 m <sup>3</sup> /h	85m	1台
送水車	可搬	—	300m <sup>3</sup> /h	約120m	3台

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による代替炉心注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要                      A格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した炉心注水のため、RHRS-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：10分                      操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                       作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による原子炉容器への注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要                      B格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した原子炉容器への注水のため、RHRS-CSS連絡ラインの弁操作を行う。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：20分                      操作時間（訓練実績等）：11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）                      ・作業場所の追加                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違                      ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。（女川と同様）                      ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。（伊方、玄海と同様）                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）                      ・防護具は必要に応じて着用する記載としている                      ・以降、同様の相違理由は省略する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>  <p>RHRS-CSS連絡ライン弁電源入                      (制御建屋 E.L.+15.8m)</p>	<p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>  <p>RHRS-CSS 連絡ライン手動弁操作                      (原子炉補助建屋 T.P. 14.5m)</p>	<p>【大飯】設備の相違                      (相違理由①)                      【大飯】                      記載表現の相違                      (女川実績の反映)</p>




赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5</p> <p style="text-align: center;">恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【恒設代替低圧注水ポンプ系統構成、電源投入及び起動操作】</p> <p>1. 操作概要                      恒設代替低圧注水ポンプ起動準備として、系統構成及び電源を入とし、現場にてポンプ起動を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：4名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：24分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う電源操作及び弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 976 526 1273">  </div> <div data-bbox="600 976 945 1273">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="152 1292 519 1348"> <p>① 恒設代替低圧注水ポンプ系統構成                      (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div data-bbox="609 1292 976 1348"> <p>② 恒設代替低圧注水ポンプ起動操作                      (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">②の写真はイメージ</div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプ系統構成】</p> <p>1. 操作概要                      代替格納容器スプレイポンプ起動準備として系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.24.8m                      原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1093 1002 1460 1279">  </div> <div data-bbox="1505 1002 1872 1279">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1153 1292 1406 1348"> <p>代替格納容器スプレイポンプ                      (周辺補機棟 T.P.10.3m)</p> </div> <div data-bbox="1518 1292 1848 1348"> <p>代替格納容器スプレイポンプ系統構成                      (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違                      (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違                      (女川実績の反映)</p>





1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等



大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 751 674 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(2)</p> <p><b>【代替格納容器スプレイポンプ起動操作】</b></p> <p>1. 操作概要                  代替格納容器スプレイポンプを現場にて起動する。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T.P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 5分                  操作時間（訓練実績等） : 3分（現場移動時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性：代替格納容器スプレイポンプの操作場所は、通路付近にあり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div data-bbox="1274 919 1637 1193" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレイポンプ起動操作                  (周辺補機棟 T.P. 10. 3m)</p>	<p><b>【大飯】</b>                  記載方針の相違                  ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象なし</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(3)</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプ受電操作】</p> <p>1. 操作概要                      非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が必要な場合、非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 15分                      操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作                              (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作                              (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】                      記載方針の相違                      ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(4)</p> <p><b>【代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイから原子炉容器への注水への切り替え】</b></p> <p>1. 操作概要                  代替格納容器スプレイポンプにて原子炉格納容器内へのスプレイを実施していた場合に、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水が必要と判断すれば、代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉格納容器から原子炉容器へ切り替え、原子炉容器への注水を行う。</p> <p>2. 操作場所                  周辺補機棟 T. P. 10.3m                  原子炉補助建屋 T. P. 14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数 : 1名                  操作時間（想定） : 25分                  操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>格納容器スプレイから炉心注水への切り替え                      系統構成                      （周辺補機棟 T. P. 10.3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>RHRS-CSS 連絡ライン手動弁操作                      （原子炉補助建屋 T. P. 14.5m）</p> </div> </div>	<p><b>【大飯】設備の相違</b>                  （相違理由⑨）</p> <p>・泊は代替格納容器スプレイポンプの注水先の切替えに現場操作が必要であるため、操作の成立性について整理している。（伊方と同様）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(1)</p> <p style="text-align: center;">電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【消火ポンプによる炉心注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要                      消火水を原子炉へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：21分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6</p> <p style="text-align: center;">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【消火ポンプによる原子炉容器への注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要                      消火水を原子炉容器へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所</p> <p>周辺補機棟T.P.17.8m                      原子炉補助建屋T.P.2.8m, T.P.10.3m, T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p>(1) 運転員（現場）B                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（訓練実績等）：18分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員（現場）C                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。また、可搬型ホースの接続はクイックカプラ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑩)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p data-bbox="322 598 748 667">消火水注水ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1173 389 1467 480">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1520 389 1814 480">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) C) <b>周辺補機棟</b> T.P. 17. 8m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1182 719 1480 831">消火水系配管と格納容器スプレィ系配管との接続のための可搬型ホース接続前 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1509 719 1839 831">消火水系配管と格納容器スプレィ系配管との接続のための可搬型ホース配管接続後 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p data-bbox="1966 639 2119 687">【大飯】設備の相違 (相違理由②)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(2)</p> <p><b>【消火ポンプによる炉心注水ライン弁電源投入】</b></p> <p>1. 操作概要                      消火水を原子炉へ注水するための系統構成のうち、RHRS-CSS連絡ライン弁及び消火水注入ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：10分                      操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>消火水注入ライン弁電源入                      (制御建屋 E.L.+15.8m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p><b>【大飯】設備の相違（相違理由①）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。</li> <li>・消火ポンプ注水ラインの電動弁は常時電源入であるため、電源投入操作は不要。</li> </ul>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【送水車、可搬型ホース等配備】</p> <p>1. 作業概要                  海水を<b>仮設組立式水槽</b>へ注水するための<b>送水車</b>、<b>可搬型ホース</b>等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数：5名/ユニット                  作業時間（想定）：3.4時間                  作業時間（実績）：90分</p> <p>3. 作業の成立性  <b>アクセス性</b>：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。  <b>作業環境</b>：<b>可搬型設備</b>保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                  また、汚染が予想されることから<b>個人線量計</b>を携帯し、<b>全面マスク</b>等を着用する。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要                  海水を原子炉容器へ注水するための<b>可搬型ホース</b>の敷設、<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>の設置及び<b>海水取水箇所</b>への<b>水中ポンプ</b>設置等を行う。</p> <p>2. 作業場所  <b>周辺補機棟</b>T.P. 10. 3m, T.P. 33. 1m                  屋外T.P. 10. 3m, T.P. 33. 1m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数：6名                  作業時間（想定）：200分                  作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性  <b>移動経路</b>：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、<b>アクセスルート</b>上に支障となる設備はない。  <b>作業環境</b>：<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。  <b>操作</b>は汚染の可能性を考慮し、<b>防護具</b>（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違                  ・泊は、海水を取水するために<b>ポンプ車</b>付属の<b>水中ポンプ</b>を使用する。（海水取水に<b>水中ポンプ</b>を使用するのは、川内及び玄海と同様）</p> <p>【大飯】                  記載方針の相違                  ・大飯は「送水車及び可搬型ホース等配備」、「<b>仮設組立式水槽</b>の設置」、「<b>可搬式代替低圧注水ポンプ</b>等配備」及び「<b>系統構成</b>」の資料構成としている。                  ・泊は、「<b>可搬型大型送水ポンプ車</b>及び<b>可搬型ホース</b>等の設置（<b>水中ポンプ</b>の設置含む。）」及び「<b>系統構成</b>」の資料構成としている。                  ・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違（<b>女川実績</b>の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>作業性：送水車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>また、接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバ一、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。</p> <p>また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。</p> <p>海水取水箇所から吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】 設備名称の相違 【大飯】設備の相違 ・泊はホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設の作業性の容易性を整理している。（女川と同様） ・泊の可搬型ホースの接続は「汎用の結合金具」である。（女川と同様） ・泊の可搬型大型送水ポンプ車の水中ポンプは人力により設置が可能。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 設備名称の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 送水車の移動 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 可搬型ホースの接続前 (屋外)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ 可搬型ホースの接続後 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>写真はイメージ</p> </div>	<p style="text-align: center;">泊発電所 3号炉</p> <p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">敷設ルート</th> <th style="width: 20%;">敷設長さ</th> <th style="width: 20%;">ホース口径</th> <th style="width: 30%;">本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口</td> <td>約 400m×1系統 約 50m×1系統</td> <td style="text-align: center;">150A</td> <td>約 8本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口</td> <td>約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統</td> <td style="text-align: center;">150A</td> <td>約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外 T.P. 33.1m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外 T.P. 10.3m)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設 (屋外 T.P. 10.3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水取水箇所への水中ポンプ設置 (屋外 T.P. 10.3m)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統	<p style="text-align: center;">【大飯】</p> <p>記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊は当該手段で敷設する可搬型ホースの距離等を整理している。(玄海、川内と同様)</li> </ul>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.10m 東側接続口	約 400m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 8本×1系統 約 5本×1系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～ T.P.33m 西側接続口	約 450m×2系統 約 550m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 9本×2系統 約 11本×1系統 約 5本×1系統											





赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p>【仮設組立式水槽の設置】</p> <p>1. 作業概要                      取水路から取水した海水を一時的に貯蔵するための仮設組立式水槽を設置する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：4名/ユニット（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。）                      作業時間（想定）：2.5時間（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。）                      作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：仮設組立式水槽は、複数の部材で構成されているが、構造がシンプルであり、容易に組立てが可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">① 保護シート設置 (屋外)      ② 内袋仮置及びフレーム (外装枠) 設置 (屋外)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">③ フレームジョイント板による固定 (屋外)      ④ 内袋取り付け (屋外)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">⑤ 内袋のロープによる固縛 (屋外)      ⑥ 仮設組立式水槽 (組立て後) (屋外)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】                      記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は「送水車及び可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。</li> <li>・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。</li> <li>・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。</li> </ul> <p>【大飯】設備の相違                      (相違理由③)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(3)</p> <p>【可搬式代替低圧注水ポンプ等配備】</p> <p>1. 作業概要                      原子炉へ注水するための準備として、可搬式代替低圧注水ポンプ、可搬型ホース、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び電源ケーブルを設置並びに接続する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：4名／ユニット（仮設組立式水槽の設置と同時作業。）                      作業時間（想定）：2.5時間（仮設組立式水槽の設置と同時作業。）                      作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：可搬型設備は車両として移動が可能であり、荷降ろしは人力での作業であるため、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 130px; margin: 10px 0;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 可搬式代替低圧注水ポンプ (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 電源車 (可搬式代替低圧注水ポンプ用) (屋外)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 140px; height: 130px; margin: 10px 0;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>③ 可搬型ホースの運搬 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>④ 可搬型ホース接続 (屋外)</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px; width: fit-content;">                     枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">                         比較対象なし                     </div>	<p>【大飯】                      記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は「送水車及び可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。</li> <li>・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型ホース等の設置(水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。</li> <li>・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(4)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                      可搬式代替低圧注水ポンプにより原子炉への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p style="padding-left: 20px;">必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：30分                      操作時間（実績）：29分</p> <p>3. 操作の成立性</p> <p style="padding-left: 20px;">アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p style="padding-left: 20px;">作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p style="padding-left: 20px;">操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                      海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m, T.P. 40.3m                      原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間</p> <p>(1) 運転員（現場）B</p> <p style="padding-left: 20px;">a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員（現場）C</p> <p style="padding-left: 20px;">a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p style="padding-left: 20px;">b. 原子炉容器への注水開始前系統構成                      必要要員数：1名                      操作時間（想定）：25分                      操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p style="padding-left: 20px;">移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p style="padding-left: 20px;">作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違                      （相違理由③）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違                      （女川実績の反映）</p> <p>【大飯】                      記載表現の相違                      （女川実績の反映）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉			相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプによる 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m)</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプによる 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T.P. 14.5m)</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプによる 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場)C) <b>(周辺補機棟 T.P. 10.3m)</b></p> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要                  代替給水ピットを水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び代替給水ピットへの吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所                  屋外T.P. 33.1m                  周辺補機棟T.P. 33.1m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数 : 6名                  作業時間（想定） : 145分                  作業時間（訓練実績等） : 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                  移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。                  作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。                  代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 183 1865 284"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ピット～ T.P. 33m 西側接続口</td> <td>約 150m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150A</td> <td>約 3本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 338 1615 529" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外 T.P. 33. 1m）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1146 625 1402 810" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース(150A)接続前</p> </div> <div data-bbox="1576 625 1832 810" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース(150A)接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1146 887 1402 1082" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ピットへの吸管挿入 （屋外 T.P. 33. 1m） （作業風景は類似作業）</p> </div> <div data-bbox="1576 887 1832 1082" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外 T.P. 33. 1m）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ピット～ T.P. 33m 西側接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ピット～ T.P. 33m 西側接続口	約 150m×1系統 約 50m×1系統	150A	約 3本×1系統 約 5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                      代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m, T.P. 40.3m                      原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      (1) 運転員（現場）B                      a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      (2) 運転員（現場）C                      a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      b. 原子炉容器への注水開始前系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p><b>【大飯】設備の相違</b>                      （相違理由③）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 14. 5m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車によ る原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) C) (<span style="background-color: yellow;">周辺補機棟</span> T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要                  原水槽を水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び原水槽への吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所                  屋外 T.P. 10.3m                  周辺補機棟 T.P. 10.3m</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間                  必要要員数 : 6名                  作業時間（想定） : 200分                  作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性                  移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。                  操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                  なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。                  作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。                  原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 722 674 778" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 233 1865 331" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～ T.P. 10m 東側接続口</td> <td>約 600m×1系統 約 50m×1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 12本×1系統 約 5本×1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 419 1615 628" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外 T.P. 10. 3m）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1149 727 1402 916" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続前</p> </div> <div data-bbox="1574 727 1827 916" style="text-align: center;"> <p>可搬型ホース（150A）接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1149 995 1402 1184" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外 T.P. 10. 3m）</p> </div> <div data-bbox="1574 995 1827 1184" style="text-align: center;"> <p>可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外 T.P. 10. 3m）</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～ T.P. 10m 東側接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 12本×1系統 約 5本×1系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～ T.P. 10m 東側接続口	約 600m×1系統 約 50m×1系統	150 A	約 12本×1系統 約 5本×1系統							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(2)</p> <p><b>【系統構成】</b></p> <p>1. 操作概要                      原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m, T.P. 40.3m                      原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      (1) 運転員（現場）B                      a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      (2) 運転員（現場）C                      a. 原子炉容器への注水ライン系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      b. 原子炉容器への注水開始前系統構成                      必要要員数 : 1名                      操作時間（想定） : 25分                      操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p><b>【大飯】設備の相違</b>                      （相違理由③）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) B) (原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) B) (原子炉補助建屋 T.P. 14. 5m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員 (現場) C) (<span style="color: green;">周辺補機棟</span> T.P. 10. 3m)</p> </div> </div>	

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン<b>弁</b>電源投入】</p> <p>1. 操作概要                  A格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ライン<b>弁</b>の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数：1名/ユニット                  操作時間（想定）：10分                  操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                  アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                  また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                  操作性：通常行う<b>電源</b>操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>  <p style="text-align: center;">RHRS-CSS連絡ライン<b>弁</b>電源入                  （制御建屋 E.L.+15.8m）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.10</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン<b>系統</b>構成】</p> <p>1. 操作概要                  B格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ラインの<b>弁</b>操作を行う。</p> <p>2. 操作場所                  原子炉補助建屋T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                  必要要員数：1名                  操作時間（想定）：10分                  操作時間（訓練実績等）：5分（現場移動時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                  移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                  作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても<b>作業</b>可能である。                  操作性：通常行う<b>弁</b>操作と同じであり、容易に操作可能である。                  連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に<b>中央制御室へ</b>連絡することが可能である。</p>  <p style="text-align: center;">RHRS-CSS連絡ライン<b>系統</b>構成                  （原子炉補助建屋 T.P.14.5m）</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①）                  ・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの<b>弁</b>が<b>手動</b>弁であるため、<b>電源投入</b>操作は不要。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

<p>大飯発電所3/4号炉 添付資料 1.4.9</p> <p>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに 海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。平成17年2月17日にサンプスクリーンの閉塞事象に関する事故時操作所則の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要 1次冷材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。 監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下や各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現地パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、サンプスクリーン閉塞時の運転基準にしたがいポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。 対応操作のフローを図1に示す。</p> <p>図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p>泊発電所3号炉 添付資料 1.4.11</p> <p>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに 海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。泊発電所1, 2号炉では、平成17年2月24日にサンプスクリーン閉塞事象にかかわる事故時運転手順書の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。3号炉においても事故時運転手順書の整備を行うとともに、運用以降、年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要 1次冷材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。 監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下や各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現場パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、運転要領緊急処置編に従いポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。 対応操作のフローを図1に示す。</p> <p>図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は1/2号炉と3号炉で事故時運転手順書への反映等時期が異なるため明記している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 ・プラント毎の運転操作に使用する文書名称の相違</p>
---	--	---

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.10</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の 対応操作について</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した時点から恒設代替低圧注水ポンプ及びB充てんポンプ自己冷却運転の準備を開始し、恒設代替低圧注水ポンプの準備が完了し原子炉に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、恒設代替低圧注水ポンプの注水先を炉心注水側から格納容器スプレィ側に変更する。また、炉心の損傷防止及び緩和のためB充てんポンプ自己冷却運転の準備が整い次第、代替炉心注水を開始する。</p> <p>全交流動力電源喪失時とLOCA事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.12</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の 対応操作について</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した時点から代替格納容器スプレィポンプ及びB-充てんポンプ自己冷却運転の準備を開始する。大LOCAでない判断した場合は、代替格納容器スプレィポンプの準備が完了し原子炉容器に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、大LOCAと判断した場合や事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、代替格納容器スプレィポンプの注水先を原子炉容器から原子炉格納容器に変更する。なお、炉心の損傷防止及び緩和のためB-充てんポンプ自己冷却運転の準備が整い次第、原子炉容器への注水を開始する。</p> <p>全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。</p>	<p>本資料の内容は、有効性評価 7.1.2. 全交流動力電源喪失「添付資料 7.1.2.21 全交流動力電源喪失とLOCA 事象が重畳する場合の対応操作について」にてご説明済み。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>・泊は SBO 時に大 LOCA が重畳した場合には、短時間で炉心損傷に至ることから、その時点で格納容器破損防止対応に移行するが、大飯は炉心損傷確認後に移行する手順となっている。炉心損傷に至るような状況となれば格納容器破損防止に移行するという対応自体は同一であり、実質差異はない。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.11-(1)</p> <p style="text-align: center;">B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</p> <p><b>【自己冷却ラインディスタンスピース取替え】</b></p> <p>1. 作業概要                      B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉への注水準備のために、自己冷却ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：3名/ユニット                      作業時間（想定）：63分                      作業時間（実績）：60分（現場移動時間を含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においてもアクセス可能である。                      作業環境：室温及び放射線量は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に実施可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="250 849 528 1031"> <p>① ディスタンスピース</p> </div> <div data-bbox="591 842 846 1034"> <p>② ディスタンスピース取替え作業                      （原子炉周辺建屋 E.L.+14.7m）</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.13</p> <p style="text-align: center;">B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p><b>【大飯】設備の相違（相違理由④）</b>                      ・泊の自己冷却ラインは、弁操作により系統構成を実施するため、次ページにまとめて整理している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.11-(2)</p> <p>【B充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      原子炉補機冷却水系による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（実績）：52分（現場移動時間を含む、<b>常用照明切にて実施。</b>）</p> <p>3. 操作の成立性  <b>アクセス性</b>：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。   <b>作業環境</b>：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、<b>全面マスク等</b>を着用する。   <b>操作性</b>：通常行方弁操作と同じであり、容易に操作可能である。  <b>連絡手段</b>：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① B充てんポンプ 自己冷却運転系統構成 （原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② B充てんポンプ 自己冷却運転系統構成（照明消灯にて撮影） （原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m）</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>③ ベンティングホース接続</p> </div>	<p>【B一充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      原子炉補機冷却水<b>設備</b>による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B一充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 作業場所                      原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：35分                      操作時間（<b>訓練実績等</b>）：30分（現場移動、<b>放射線防護具着用時間</b>を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性  <b>移動経路</b>：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、<b>建屋内照明消灯時</b>においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。  <b>作業環境</b>：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明は<b>バッテリー内蔵型</b>であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（<b>全面マスク</b>、<b>個人線量計</b>、<b>ゴム手袋等</b>）を装備又は携行して作業を行う。  <b>操作性</b>：通常行方弁操作と同じであり、容易に操作可能である。  <b>連絡手段</b>：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に<b>中央制御室へ連絡</b>することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 （原子炉補助建屋 T.P.10.3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 （原子炉補助建屋 T.P.14.5m）</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違                      ・泊は<b>常用照明入</b>にて訓練した時間としているが、<b>照明消灯</b>時においてもヘッドライト、懐中電灯等及び<b>バッテリー内蔵型照明</b>により操作可能である。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 （<b>女川実績</b>の反映）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(1)</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</p> <p>【自己冷却ラインディスタンスピース取替え】</p> <p>1. 作業概要                      A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉への注水準備のために、自己冷却ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間                      必要要員数：2名/ユニット                      作業時間（想定）：65分                      作業時間（実績）：60分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：室温及び放射線量は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。                      作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に実施可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① ディスタンスピース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース取替え作業                              (原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ ペンティングホース接続</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.14</p> <p>B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px 0;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】                      記載表現の相違</p> <p>【大飯】                      記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泊の自己冷却ラインは、弁操作及び可搬型ホース接続により系統構成を実施する。</li> <li>・泊の可搬型ホース接続は、次ページにまとめて整理している。</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(2)</p> <p>【A格納容器スプレイポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要                      原子炉補機冷却水系によるA格納容器スプレイポンプの冷却が不能になった場合に、A格納容器スプレイポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：3名/ユニット                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（実績）：36分（移動含む、<b>常用照明切にて実施。</b>）</p> <p>3. 操作の成立性  <b>アクセス性</b>：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。   <b>作業環境</b>：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。   <b>操作性</b>：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。   <b>連絡手段</b>：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 1066 488 1337"> </div> <div data-bbox="600 1066 958 1337"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="168 1343 448 1423"> <p>① A格納容器スプレイポンプ 自己冷却運転系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m)</p> </div> <div data-bbox="638 1343 918 1423"> <p>② A格納容器スプレイポンプ 自己冷却運転系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m)</p> </div> </div>	<p>【B一格納容器スプレイポンプ自己冷却運転（系統構成及び可搬型ホース接続）】</p> <p>1. 操作概要                      原子炉補機冷却水設備によるB一格納容器スプレイポンプの冷却が不能になった場合に、B一格納容器スプレイポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所                      原子炉補助建屋T.P.-1.7m, T.P.2.8m, T.P.14.5m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：45分                      操作時間（訓練実績等）：25分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性  <b>移動経路</b>：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。  <b>作業環境</b>：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても<b>作業</b>可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して<b>作業</b>を行う。  <b>操作性</b>：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p style="text-align: center; color: red;">また、可搬型ホースの接続はクイックカブラ式であり、容易に接続可能である。</p> <p><b>連絡手段</b>：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1142 1120 1456 1359"> </div> <div data-bbox="1512 1120 1825 1359"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1164 1366 1433 1414"> <p>自己冷却水用可搬型ホース接続 (原子炉補助建屋 T.P.-1.7m)</p> </div> <div data-bbox="1545 1366 1792 1433"> <p>B一格納容器スプレイポンプ 自己冷却運転系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.-1.7m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違                      ・泊は常用照明入にて訓練した時間としているが、照明消灯時においてもヘッドライト、懐中電灯等及びバッテリー内蔵型照明により操作可能である。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由④)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(3)</p> <p><b>【RHR S-CSS連絡ライン弁電源投入】</b></p> <p>1. 操作概要                      A格納容器スプレィポンプ（自己冷却）による原子炉への注水のため、RHR S-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：1名/ユニット                      操作時間（想定）：10分                      操作時間（模擬）：10分以内（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">RHR S-CSS連絡ライン弁電源入                      （制御建屋 E.L.+15.8m）</p>	<p>比較対象なし</p>	<p><b>【大飯】設備の相違（相違理由①）</b></p> <p>・泊は、RHR S-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.13</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源が喪失した状態においてRCPシールLOCAが 発生した場合の手順</p> <p>1. 手順着手の判断基準                      外部電源が喪失し、ディーゼル発電機が起動失敗することにより<b>全て</b>の非常用母線への給電に失敗した場合は「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に着手する。</p> <p>2. 操作手順                      ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に従い対応操作を開始するよう運転員等に指示する。                      ② 運転員等は、中央制御室で原子炉トリップしゃ断器の開放、制御棒炉底位置表示灯点灯、炉外核計装の指示低下により、原子炉がトリップしていることを確認する。また、並行してタービン主要弁が閉となりタービンがトリップしていることを確認する。                      ③ 運転員等は、中央制御室で主蒸気隔離弁の閉を確認し、各々の蒸気発生器の水位、圧力を監視し、2次冷却材喪失及び蒸気発生器伝熱管破損に関する兆候の有無を継続的に確認する。                      ④ 運転員等は、中央制御室で1次冷却系の隔離状態を確認する。                      ⑤ 運転員等は、中央制御室でタービン動補助給水ポンプの自動起動状態を確認するとともに蒸気発生器補助給水流量計にて補助給水が確立していることを確認する。                      ⑥ 運転員等は、中央制御室及び現場で、ディーゼル発電機の手動起動操作を試みるとともに外部電源の受電状態を確認する。</p> <p>⑦ 当直課長は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、運転員等及び緊急安全対策要員に空冷式非常用発電装置による受電準備、恒設代替低圧注水ポンプの使用準備、アンユラス空気浄化系ダンパへの代替空気供給、水源確保、大容量ポンプの使用準備、中央制御室非常用循環系ダンパの開処置を依頼する。                      ⑧ 運転員等は、中央制御室で空冷式非常用発電装置を起動するとともに、現場にて恒設代替低圧注水ポンプの使用準備を開始する。また、大容量ポンプの接続を緊急安全対策要員と連携して開始する。なお、空冷式非常用発電装置の起動に失敗した場合は、<b>号機間電源融通を試み、成功しない場合は電源車からの受電を試みる。</b>                      ⑨ 緊急安全対策要員は、現場でアンユラス空気浄化系ダンパへの代替空気供給、水源確保、大容量ポンプの接続、中央制御室非常用循環系ダンパの開処置を開始する。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.15</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源が喪失した状態においてRCPシールLOCAが 発生した場合の手順</p> <p>1. 手順着手の判断基準                      外部電源が喪失し、ディーゼル発電機が起動失敗することにより<b>すべての</b>非常用母線への給電に失敗した場合は「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に着手する。</p> <p>2. 操作手順                      (1) 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に従い対応操作を開始するよう運転員等に指示する。                      (2) 運転員は、中央制御室で原子炉トリップしゃ断器の開放、制御棒炉底位置表示点灯、炉外核計装の指示低下により、原子炉がトリップしていることを確認する。また、並行してタービン主要弁が閉となりタービンがトリップしていることを確認する。                      (3) 運転員は、中央制御室で主蒸気隔離弁の閉を確認し、各々の蒸気発生器の水位、圧力を監視し、2次冷却材喪失及び蒸気発生器細管漏えいに関する兆候の有無を継続的に確認する。                      (4) 運転員は、中央制御室で1次冷却系の隔離状態を確認する。                      (5) 運転員は、中央制御室でタービン動補助給水ポンプの自動起動状態を確認するとともに補助給水流量にて補助給水が確立していることを確認する。                      (6) 運転員は、中央制御室及び現場で、ディーゼル発電機の手動起動操作を試みるとともに外部電源の受電状態を確認する。</p> <p>(7) 運転員は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、中央制御室で加圧器の圧力及び水位、原子炉格納容器の圧力及び温度、原子炉格納容器内放射線モニタの指示、格納容器サンプ水位、蒸気発生器の水位及び圧力等を継続的に確認し、1次冷却系からの漏えいの有無を確認する。</p> <p>(8) 発電課長（当直）は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、運転員及び災害対策要員に代替非常用発電機による受電準備、代替格納容器スプレイポンプの起動準備、アンユラス空気浄化設備ダンパへの代替IAの供給、水源確保、可搬型大型送水ポンプ車の接続、中央制御室空調装置ダンパの開処置を指示する。                      (9) 運転員は、中央制御室で代替非常用発電機を起動するとともに、現場にて代替格納容器スプレイポンプの起動準備と可搬型大型送水ポンプ車の接続を災害対策要員と連携して開始する。なお、代替非常用発電機の起動に失敗した場合は、<b>可搬型代替電源車からの受電を試み、成功しない場合は号炉間融通を試みる。</b>                      (10) 災害対策要員等は、現場で代替格納容器スプレイポンプの起動準備、アンユラス空気浄化設備ダンパへの代替IA供給、水源確保、可搬型大型送水ポンプ車の接続、中央制御室空調装置ダンパの開処置を開始する。</p>	<p>相違理由</p> <p>設備の相違                      ・泊の制御棒炉底位置表示は画面表示から確認するためアナログ盤の表示灯の確認と相違する。美浜と同様。</p> <p>記載内容の相違                      ・泊は中央制御室における原子炉トリップ等の確認は運転員が実施する。以降同様に運転員のみの場合「等」を記載しない。</p> <p>記載箇所の相違                      ・泊はパラメータ確認を継続的に実施するように明記。大飯は手順⑥に記載している。</p> <p>設備名称の相違                      ・補助給水流量計の名称の相違</p> <p>運用の相違                      ・電源復旧手段の優先順位の相違</p> <p>記載内容の相違                      ・泊は災害対策要員による代替格納容器スプレイポンプの起動準備について記載。大飯は⑧にて記載されている。</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑩ 運転員等は、中央制御室で加圧器の圧力及び水位、格納容器の圧力及び温度、格納容器内放射線モニタの指示、格納容器サンプ水位、蒸気発生器の水位及び圧力等を確認し、1次冷却系からの漏えいの有無を確認する。</p> <p>⑪ 当直課長は、運転員等に恒設代替低圧注水ポンプによる原子炉への注水のための系統構成を行うよう指示する。</p> <p>⑫ 運転員等は、中央制御室及び現場で恒設代替低圧注水ポンプの注水を炉心注水側へ系統構成する。</p> <p>⑬ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材ポンプ封水注入ライン及び封水戻りラインを隔離する。</p> <p>⑭ 当直課長は、1次冷却系の圧力1.7MPa[gage]（温度208℃）を目標に健全な蒸気発生器の主蒸気逃がし弁を用いて1次冷却系の急速冷却を行うよう運転員等に指示する。運転員等は、現場で健全な蒸気発生器の主蒸気逃がし弁を手動で開操作し、1次冷却系の急速冷却を開始する。</p> <p>⑮ 運転員等は、中央制御室で1次冷却系の圧力が蓄圧タンク動作圧力まで低下し、蓄圧タンク水が1次冷却系に注水されていることを1次冷却材圧力により確認する。</p> <p>⑯ 運転員等は、中央制御室で1次冷却系の圧力が1.7MPa[gage]（温度208℃）まで低下したことを確認すれば、現場の運転員等と連携し主蒸気逃がし弁の開度を調整することで、1次冷却系の圧力1.7MPa[gage]（温度208℃）を保持する。</p> <p>⑰ 運転員等は、中央制御室で空冷式非常用発電装置等から受電していることを確認する。受電できない場合は、8時間以内を目安に常設直流電源の確保のための負荷の切離しを行う。</p> <p>⑱ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材圧力が1.7MPa[gage]となれば蓄圧タンク出口弁を閉操作する。</p> <p>⑲ 当直課長は、1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]を目標に主蒸気逃がし弁を用いて1次冷却系の急速冷却を行うよう運転員等に指示する。運転員等は、現場で主蒸気逃がし弁を手動で開操作し、1次冷却系の急速冷却を開始する。</p> <p>⑳ 運転員等は、中央制御室で緊急安全対策要員にアンユラス空気浄化系ダンパへの代替空気供給が完了したことを確認し、アンユラス空気浄化ファンを起動する。</p> <p>㉑ 運転員等は、中央制御室で緊急安全対策要員に中央制御室非常用循環系ダンパの開処置が完了したことを確認し、中央制御室非常用循環ファンを起動する。</p> <p>㉒ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]まで低下したことを確認すれば、現場の運転員等と連携し主蒸気逃がし弁の開度を調整することで、1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]を保持する。</p> <p>㉓ 運転員等は、緊急安全対策要員に恒設代替低圧注水ポンプの使用準備が完了していることを確認する。</p> <p>㉔ 運転員等は、現場で恒設代替低圧注水ポンプによる炉心注水を開始する。なお、加圧器水位が可視範囲内に戻るまでは最大流量で注水し、その後は加圧器水位に応じて現場で注水流量を調整する。</p>	<p>(11) 運転員は、中央制御室で1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで低下しているか否かを確認する。発電課長（当直）は1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで低下していないことをもって漏えい規模が大きいLOCAでない<sup>①</sup>と判断し、運転員等に代替格納容器スプレイポンプによる原子炉への注水のための系統構成を行うよう指示する。</p> <p>(12) 運転員は、中央制御室で代替格納容器スプレイポンプの注水先を炉心注水側へ系統構成する。</p> <p>(13) 発電課長（当直）は、1次冷却材圧力1.7MPa[gage]（温度208℃）を目標に健全な蒸気発生器の主蒸気逃がし弁を用いて1次冷却系の急速冷却を行うように運転員等に指示する。運転員等は、現場で健全な蒸気発生器の主蒸気逃がし弁を手動で全開とし、1次冷却系の急速冷却を開始する。</p> <p>(14) 運転員は、中央制御室で1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで低下し、蓄圧タンク水が1次冷却系に注水されていることを1次冷却材圧力により確認する。</p> <p>(15) 運転員は、中央制御室でRCP封水注入ライン及び封水戻りラインを隔離する。</p> <p>(16) 運転員は、中央制御室で1次冷却材圧力が1.7MPa[gage]（温度208℃）まで低下したことを確認すれば、現場の運転員等と連携し主蒸気逃がし弁の開度を調整することで、1次冷却材圧力1.7MPa[gage]（温度208℃）を保持する。</p> <p>(17) 運転員は、中央制御室で代替非常用発電機等から受電していることを確認する。受電できない場合は、8時間30分以内を目安に所内直流電源の確保のための負荷の切離しを行う。</p> <p>(18) 運転員は、中央制御室で災害対策要員にアンユラス空気浄化設備ダンパへの代替IA供給が完了したことを確認し、アンユラス空気浄化ファンを起動する。</p> <p>(19) 運転員は、中央制御室で1次冷却材圧力が1.7MPa[gage]となれば蓄圧タンク出口弁を閉操作する。</p> <p>(20) 発電課長（当直）は、1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]を目標に主蒸気逃がし弁を用いて1次冷却系の急速冷却を行うよう運転員等に指示する。運転員等は、現場で主蒸気逃がし弁を手動で全開とし、1次冷却系の急速冷却を開始する。</p> <p>(21) 運転員は、中央制御室で1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]まで低下したことを確認すれば、現場の運転員等と連携し主蒸気逃がし弁の開度を調整することで、1次冷却材温度が170℃、1次冷却材圧力が0.7MPa[gage]を保持する。</p> <p>(22) 運転員は、代替格納容器スプレイポンプの接続が完了していることを確認する。</p> <p>(23) 運転員は、現場で代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を開始する。なお、加圧器水位が可視範囲内に戻るまでは最大流量で注水し、その後は加圧器水位に応じて現場で注水流量を調整する。</p>	<p>記載箇所の相違              ・泊は上段(7)項にて1次冷却系のパラメータ確認を記載している。</p> <p>記載箇所の相違              ・泊は後段(15)項にて確認</p> <p>記載箇所の相違              ・大飯は上段⑩項にて確認</p> <p>運用の相違              ・所内直流電源の喪失前に切離しすることに相違はなし</p> <p>記載箇所の相違              ・大飯は後段⑨項にて確認</p> <p>記載箇所の相違              ・泊は上段(18)項にて確認</p> <p>記載箇所の相違              ・泊は後段(24)項にて確認</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>⑳ 運転員等は、緊急安全対策要員に大容量ポンプの接続が完了していることを確認する。</p> <p>㉑ 緊急安全対策要員は、現場で大容量ポンプを起動し原子炉補機冷却水系に海水を通水する。</p> <p>㉒ 運転員等は、現場で格納容器再循環ユニットへの冷却水通水による格納容器内自然対流冷却を開始するとともに、B高圧注入ポンプへの冷却水供給を開始する。</p> <p>㉓ 運転員等は、中央制御室で1次冷却材温度、格納容器温度、圧力が低下傾向であることを確認する。</p> <p>㉔ 運転員等は、中央制御室で格納容器再循環サンプ広域水位計指示が56%以上になれば、恒設代替低圧注水ポンプによる炉心注水からB高圧注入ポンプによる高圧再循環運転へ切替えを行う。</p> <p>㉕ 運転員等は、中央制御室で原子炉の冷却及び大容量ポンプによる格納容器内自然対流冷却により格納容器内の除熱が継続的に行われていることを確認する。</p>	<p>(24) 運転員は、中央制御室で災害対策要員に中央制御室非常用循環系ダンプの開処置が完了したことを確認し、中央制御室非常用循環ファンを起動する。</p> <p>(25) 運転員は、災害対策要員に可搬型大型送水ポンプ車の接続が完了していることを確認する。災害対策要員は、現場で可搬型大型送水ポンプ車を起動し原子炉補機冷却系に海水を通水する。</p> <p>(26) 運転員は、現場で格納容器再循環ユニットへの冷却水通水による格納容器内自然対流冷却を開始するとともに、A-高圧注入ポンプへの冷却水供給を開始する。</p> <p>(27) 運転員は、中央制御室で1次冷却材温度、原子炉格納容器温度・圧力が低下傾向であることを確認する。</p> <p>(28) 運転員は、中央制御室で格納容器再循環サンプ水位が71%以上になれば、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水からA-高圧注入ポンプによる高圧再循環運転へ切替えを行う。</p> <p>(29) 運転員は、中央制御室で炉心の冷却及び可搬型大型送水ポンプ車による格納容器内自然対流冷却により原子炉格納容器内の除熱が継続的に行われていることを確認する。</p>	<p>記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大飯は上段㉑項にて確認</li> </ul> <p>記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・格納容器再循環サンプ水位の使用可能となる水位の相違</li> </ul>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.14</p> <p style="text-align: center;">1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉操作</p> <p>【1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉操作】</p> <p>1. 操作概要                      全交流動力電源喪失時、中央制御室から1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等の閉操作が行えない場合、現場での手動操作により隔離を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間                      必要要員数：2名/ユニット                      操作時間（想定）：2.5時間                      操作時間（実績）：77分（現場移動時間を含む、<b>常用照明切にて実施。</b>）</p> <p>3. 操作の成立性について                      アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、<b>ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。</b>                      また、汚染の発生を仮定した場合でも、個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用することにより作業可能である。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.16</p> <p style="text-align: center;">1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉操作</p> <p>【1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉操作】</p> <p>1. 操作の概要                      全交流動力電源喪失時、中央制御室から1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等の閉操作が行えない場合、現場での手動操作により隔離を行う。</p> <p>2. 操作場所                      周辺補機棟T.P. 21. 2m, T.P. 24. 8m, T.P. 34. 4m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間                      (1) 1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁等閉止操作、原子炉格納容器隔離弁の閉止操作                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（訓練実績等）：43分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）                      (2) 主給水隔離弁の閉止操作                      必要要員数：2名                      操作時間（想定）：60分                      操作時間（訓練実績等）：42分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性                      移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。                      作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。                      操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。                      操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。                      連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 ・泊は常用照明入にて訓練した時間としているが、照明消灯時においてもヘッドライト、懐中電灯等及びバッテリー内蔵型照明により操作可能である。</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 1次系冷却材ポンプ封水ライン 隔離弁閉操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+22.0m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 電動弁（手動操作レバー） (原子炉周辺建屋 E.L.+22.0m)</p> </div> </div>	<div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>1次冷却材ポンプ封水ライン隔離弁 閉止操作 (周辺補機棟 T.P. 21.2m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>電動弁（手動操作レバー） (周辺補機棟 T.P. 21.2m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>格納容器隔離弁閉止操作 (周辺補機棟 T.P. 24.8m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>主給水隔離弁閉止操作 (周辺補機棟 T.P. 34.4m)</p> </div> </div>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.15</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器（以下「CV」という。）内の圧力、温度が上昇した場合における、CV内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時におけるCV内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能なCV内全体雰囲気圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、CV冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、CV外に設置された温度計でのCV冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>大飯3号炉及び4号炉のCV外温度計の現状は下表のとおりであり、格納容器再循環ユニットの出口温度計だけが計測不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.17</p> <p>原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について</p> <p>重大事故等発生時に、原子炉格納容器内の圧力、温度が上昇した場合における、原子炉格納容器内の冷却状況の確認方法について説明する。</p> <p>1. 現状と課題</p> <p>重大事故等時における原子炉格納容器内の冷却の確認については、重大事故等時において確認可能な原子炉格納容器内全体雰囲気圧力、温度計により、確認できるようになっている。</p> <p>しかしながら、よりの確に事故等対応の判断を行うためには、原子炉格納容器冷却が行われていることの確認を多様化することが望ましいことから、原子炉格納容器外に設置された温度計での原子炉格納容器冷却状況確認の可否について検討した。</p> <p>泊3号炉の原子炉格納容器外温度計の現状は第1表のとおりであり、海水通水時の格納容器再循環ユニットの入口及び出口温度計だけがトレンド監視不可で、他の温度計はトレンド監視が可能である。</p>	<p>本項の内容は、技術的能力1.15「添付資料1.15.12 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について」と同一資料である。</p> <p>【大飯】用語の統一「CV」→「原子炉格納容器」として統一。以下同じ。</p> <p>【大飯】申請プランとの相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備構成の相違</p> <p>・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。（可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度の監視可能となることは大飯と同様）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（CV外温度計の状況等）
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度及び入口温度）が、トレンド監視可能。
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度（原子炉補機冷却水冷却器出口温度）が、トレンド監視可能。格納容器再循環ユニット出口温度は指示計なし。

2. 対応内容

重大事故等時において、CV冷却状況確認は、基本的にはCV圧力監視で対応可能であるが、それに加え、CV冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な裕度があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。

なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による格納容器内自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にて原子炉補機冷却水サージタンクの圧力を計測する。

3. 可搬型温度計測の概要

(1) 温度計測機器の構成  
 温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）

(2) 温度計の仕様  
 測定範囲：約200℃まで計測可能  
 （格納容器過温破損（全交流動力電源喪失+補助給水失敗）におけるCV雰囲気温度の最高値（144℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）

重量：約100g（1台当たり）  
 温度センサー：配管表面に添付  
 SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能。）  
 電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月）  
 データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラントコンピューター（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能。）

泊発電所3号炉			相違理由
第1表 原子炉格納容器外温度計の現状			
冷却モード	対象ヒートシンク	説明（原子炉格納容器外での温度監視方法等）	
余熱除去系再循環	余熱除去冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	余熱除去冷却器の入口温度及び出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口及び出口温度が、トレンド監視可能。	【大飯】設備構成の相違 ・泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能。
格納容器スプレイ系再循環	格納容器スプレイ冷却器 (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器スプレイ冷却器の出口温度が、トレンド監視可能。また、原子炉補機冷却水冷却器の入口温度及び出口温度がトレンド監視可能。	【大飯】設備構成の相違 ・海水通水時において、大飯では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より注水するが、泊では原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水するため、格納容器再循環ユニットの入口温度についてもトレンド監視不可となる。（可搬型温度計測装置の設置によって格納容器再循環ユニット入口温度および出口温度の監視可能となることは大飯と同様。）
格納容器再循環ユニット冷却（補機冷却水通水）	格納容器再循環ユニット (原子炉補機冷却水冷却器)	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度（原子炉補機冷却水冷却器の出口及び入口温度）が、トレンド監視可能。	【大飯】記載表現の相違 ・泊は有効性評価における記載表現と整合を図っている。想定する事故シナリオは大飯と同様。
格納容器再循環ユニット冷却（海水）	格納容器再循環ユニット	格納容器再循環ユニット入口温度及び出口温度ともに、トレンド監視不可。	【大飯】解析結果の相違 【大飯】設備名称の相違

2. 対応内容

重大事故等時において、原子炉格納容器冷却状況確認は、基本的には原子炉格納容器圧力監視で対応可能であるが、それに加え、原子炉格納容器冷却状況確認手段に多様性を持たせるために、冷却不調の場合の追加対応であること及び計測が必要となるまでに時間的な裕度があることを踏まえて、記録機能を備えた可搬型の温度計を配備する。測定にあたっては、格納容器再循環ユニット入口配管及び出口配管にて温度を測定する。

なお、重大事故等時の原子炉補機冷却水による自然対流冷却時に、沸騰防止のために原子炉補機冷却水サージタンクを加圧することから、既設圧力計の代替計器として可搬型の計器にてサージタンクの圧力を計測する。

3. 可搬型温度計測の概要

(1) 温度計測機器の構成  
 温度ロガー、温度センサー、データコレクタ（データ収集用）

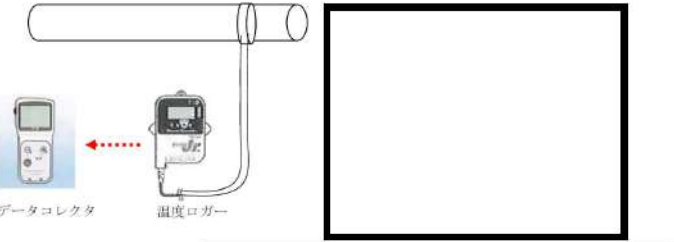
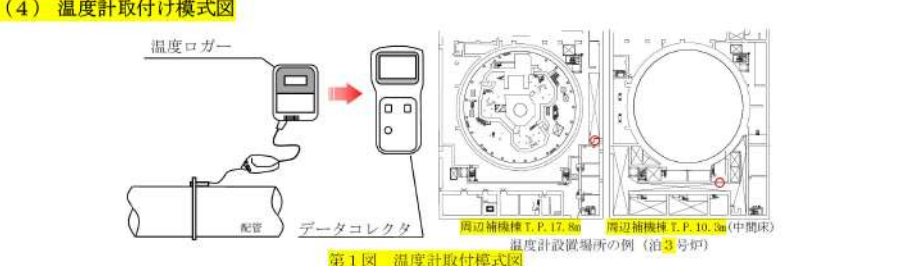
(2) 温度計の仕様  
 測定範囲：約200℃まで計測可能  
 （雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過温破損）における原子炉格納容器雰囲気温度の最高値（141℃）が計測可能であり、余裕をみても十分測定可能な範囲としている。）

重量：約100g（1台当たり）  
 温度センサー：配管表面に添付  
 SUSバンド等で配管に巻きつけ（取付け及び取外し可能。）  
 電源：リチウム電池（使用可能時間 約10ヶ月）  
 データ保有量：約10日分（約1分間隔（プラント計算機（PCCS）相当）のデータ測定及び保有が可能。）



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>(3) 温度計測体制</p> <p>可搬型計測器の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育、訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測器は大容量ポンプによる格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測器の設置は召集要員にて行い温度監視は運転員が行うこととし、社内マニュアルに反映する。</p> <p>(4) 温度計取付け模式図</p>  <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。</li> <li>・データの吸い上げは現場で可能。</li> <li>・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。</li> </ul> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視</p> <p>重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のためCVから離れた場所で可搬型温度計測装置により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を表1に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線を図1に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p>	<p>(3) 温度計測体制</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の配備に際しては、手順書を作成するとともに、必要な要員を配置し、教育及び訓練等を実施する。</p> <p>具体的には、当該可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は可搬型大型送水ポンプ車による格納容器再循環ユニットへの海水の通水の際に使用するため、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の設置は運転員にて行うこととし、社内規定類に反映する。</p> <p>(4) 温度計取付け模式図</p>  <p>第1図 温度計取付け模式図</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地に温度センサー及び温度ロガーを設置して温度測定を実施。</li> <li>・データの吸い上げは現場で可能。</li> <li>・データコレクタにより、温度のトレンドが確認可能。</li> </ul> <p>4. 重大事故等時の格納容器再循環ユニット出入口温度差の監視</p> <p>重大事故等時において、格納容器内自然対流冷却を実施する場合は、原子炉補機冷却水配管に温度センサーを取り付け、被ばく低減のため原子炉格納容器から離れた場所で可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）により温度を監視し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p> <p>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施した場合の格納容器再循環ユニット冷却水出入口温度差を第2表に示す。また、重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線を第2図に示す。この出入口温度差と実際の出入口温度差を比較し、格納容器再循環ユニットの冷却状態を確認する。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】体制の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																														
<table border="1" data-bbox="208 143 889 282"> <thead> <tr> <th>C/V圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.392MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)</td> <td>約 144</td> <td>約 12.3</td> <td>141</td> <td>約 75</td> </tr> <tr> <td>0.784 MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)</td> <td>約 168</td> <td>約 13.0</td> <td>141</td> <td>約 80</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="262 292 813 314">表 1 格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却時の出入口温度</p> <div data-bbox="271 378 792 679" style="border: 1px solid black; height: 189px; width: 233px;"></div> <p data-bbox="297 686 739 707">図 1 重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線</p> <div data-bbox="539 726 1003 751" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</div>	C/V圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)	0.392MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)	約 144	約 12.3	141	約 75	0.784 MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)	約 168	約 13.0	141	約 80	<p data-bbox="1227 138 1753 159">第 2 表 格納容器再循環ユニットによる格納容器自然対流冷却時の出入口温度</p> <table border="1" data-bbox="1151 159 1818 312"> <thead> <tr> <th>格納容器圧力</th> <th>飽和蒸気温度 (°C)</th> <th>除熱量 (MW/台)</th> <th>冷却水流量 (m<sup>3</sup>/h)</th> <th>出入口温度差 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.283MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)</td> <td>132</td> <td>約 5.6</td> <td>82</td> <td>約 60</td> </tr> <tr> <td>0.566MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)</td> <td>155</td> <td>約 6.5</td> <td>82</td> <td>約 70</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1247 365 1729 663" style="border: 1px solid black; height: 187px; width: 215px;"></div> <p data-bbox="1238 663 1731 684">第 2 図 重大事故等時の格納容器再循環ユニットの除熱性能曲線</p> <div data-bbox="1447 719 1926 745" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">：枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</div>	格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)	0.283MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)	132	約 5.6	82	約 60	0.566MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)	155	約 6.5	82	約 70	<p data-bbox="1966 199 2136 220">【大飯】解析結果の相違</p>
C/V圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)																												
0.392MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)	約 144	約 12.3	141	約 75																												
0.784 MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)	約 168	約 13.0	141	約 80																												
格納容器圧力	飽和蒸気温度 (°C)	除熱量 (MW/台)	冷却水流量 (m <sup>3</sup> /h)	出入口温度差 (°C)																												
0.283MPa [gage] 時 (最高使用圧力時)	132	約 5.6	82	約 60																												
0.566MPa [gage] 時 (最高使用圧力 2 倍)	155	約 6.5	82	約 70																												
<p data-bbox="91 809 544 831">5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要</p> <p data-bbox="114 836 1005 890">原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力にて計測する。</p> <p data-bbox="103 924 230 948">(1) 計器仕様</p> <ul data-bbox="138 1011 575 1094" style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 仕様 (計測範囲) : 0.0~1.6MPa タンク加圧目標 : 0.3MPa</li> </ul>	<p data-bbox="1028 809 1487 831">5. 原子炉補機冷却水サージタンク圧力計測の概要</p> <p data-bbox="1043 836 1942 919">原子炉補機冷却水サージタンク圧力を確認するため、既設圧力計 (原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用)) と代替計器として可搬型の計器である原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) にて計測する。</p> <p data-bbox="1037 954 1171 978">(1) 計器仕様</p> <ul data-bbox="1070 983 1494 1123" style="list-style-type: none"> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用) 仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa [gage]</li> <li>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) 仕様 (計測範囲) : 0~1.0MPa [gage] タンク加圧目標 : 0.28MPa [gage]</li> </ul>	<p data-bbox="1960 836 2136 890">【大飯】記載方針の相違</p> <ul data-bbox="1960 895 2136 948" style="list-style-type: none"> <li>既設圧力計名称の明確化</li> </ul> <p data-bbox="1960 954 2136 1007">【大飯】設備名称の相違</p> <p data-bbox="1960 1013 2136 1066">【大飯】記載方針の相違</p> <ul data-bbox="1960 1072 2136 1123" style="list-style-type: none"> <li>既設圧力計仕様を記載 (伊方と同様)</li> </ul> <p data-bbox="1960 1129 2136 1182">【大飯】設備名称の相違</p> <p data-bbox="1960 1189 2136 1241">【大飯】設備仕様の相違</p> <ul data-bbox="1960 1248 2136 1385" style="list-style-type: none"> <li>設備の相違により計測範囲が異なる。 (必要な範囲を計測できることに相違なし)</li> </ul>																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

《参考図面》

○大飯3号炉及び4号炉 温度計測計器  
 原子炉補機冷却水サージタンク圧力

温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法
① 原子炉補機冷却水供給側	PCCS
② 原子炉補機冷却水戻り側	PCCS
③ 格納容器再循環ユニット入口温度	可搬型温度計測装置
④ 格納容器再循環ユニット出口温度	可搬型温度計測装置
ⓐ 余熱除去系再循環余熱除去冷却器出口	PCCS、記録計
ⓑ 余熱除去系再循環余熱除去冷却器入口	PCCS、記録計

※③、④の確認箇所は変更の可能性ある。

計器名称	確認方法
⑤ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力	指示計
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力	現地指示計

泊発電所3号炉

《参考図面》

○泊3号炉 温度計測計器  
 原子炉補機冷却水サージタンク圧力

温度測定位置	温度確認箇所及び確認方法
① 原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水	PCCS
② 原子炉補機冷却水戻り母管	PCCS
③ 格納容器スプレイ冷却器出口	PCCS
④ 格納容器再循環ユニット入口補機冷却水	可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）
⑤ 格納容器再循環ユニット出口補機冷却水	可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）
ⓐ 余熱除去冷却器出口	PCCS
ⓑ 余熱除去冷却器入口	PCCS

計器名称	確認方法
⑥ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM用)	現場指示計
⑦ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	現場指示計

相違理由

【大飯】申請プラン上の相違

【大飯】設備名称の相違

【大飯】海水通水箇所との相違

- 大飯では大容量ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計上流より海水注水するが、泊では可搬型大型送水ポンプにて原子炉補機冷却水冷却器出口温度計下流より注水する。

【大飯】設備名称の相違

【大飯】設備構成の相違

- 泊では格納容器スプレイ系再循環時において、格納容器スプレイ冷却器出口温度にてトレンド監視が可能であるため本表に当該計器を追記している。
- 泊3号炉は、デジタルプラントであるため、余熱除去系冷却器出口及び入口温度を記録するアナログの記録計は設置していない。

【大飯】設備名称及び記載表現の相違



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		泊発電所3号炉													
添付資料 1.4.16		添付資料 1.4.18													
炉心損傷時における原子炉格納容器破損防止等操作について		炉心損傷時における原子炉格納容器破損防止等操作について													
<p>重大事故発生時は、MCCI防止のため恒設代替低圧注水ポンプ等による格納容器スプレイにて原子炉下部キャビティに注水する必要がある。さらに、原子炉格納容器（以下「C/V」という。）圧力が高い状態では、格納容器スプレイによる冷却（減圧）を実施し、海水による格納容器内自然対流冷却準備が整えば、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に移行する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却（減圧）中は、C/V圧力1Pd-50kPaとなれば格納容器スプレイを停止する。また、原子炉容器内に残存デブリの兆候が見られた場合又は残存デブリの冷却が必要な場合は、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまでC/V内へ注水する。</p> <p>以下に、MCCI防止対応から残存デブリ冷却までの操作におけるC/V注水量の関係について整理する。</p> <p>(1) 対応操作概要</p> <p>各操作目的、対応操作概要及び各対応操作に対するC/V注水量の関係を示す。</p>		<p>重大事故発生時は、MCCI防止のため代替格納容器スプレイポンプ等による原子炉格納容器下部への注水にて原子炉下部キャビティに注水する必要がある。さらに、原子炉格納容器（以下「C/V」という。）圧力が高い状態では、格納容器スプレイによる冷却（減圧）を実施し、海水による格納容器内自然対流冷却準備が整えば、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に移行する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却（減圧）中は、C/V圧力1Pd-0.05MPaとなれば格納容器スプレイを停止する。また、原子炉容器内に残存溶融炉心の兆候が見られた場合又は残存溶融炉心の冷却が必要な場合は、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さまでC/V内へ注水する。</p> <p>以下に、MCCI防止対応から残存溶融炉心冷却までの操作におけるC/V注水量の関係について整理する。</p> <p>(1) 対応操作概要</p> <p>各操作目的、対応操作概要及び各対応操作に対するC/V注水量の関係を示す。</p>													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作目的</th> <th>対応操作概要</th> <th>技術的能力に係る審査基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① MCCI防止</td> <td>恒設代替低圧注水ポンプ等によりC/Vへスプレイし、格納容器再循環サンプ水位（広域）71%になればスプレイを停止する。</td> <td>「1.8原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理</td> </tr> <tr> <td>② 格納容器冷却</td> <td>格納容器再循環ユニットによる冷却を実施するが、C/V圧力が392kPa以上であれば、恒設代替低圧注水ポンプ等によるスプレイも実施する。C/Vへスプレイ中、C/V圧力が1Pd-50kPaまで低下すればスプレイを停止する。</td> <td>「1.6原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理</td> </tr> <tr> <td>③ 残存デブリ冷却</td> <td>格納容器冷却中に原子炉容器に残存デブリの兆候が見られた場合は、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さを上限に、残存デブリの兆候が解消されるまで格納容器又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度の上昇により確認する。</td> <td>「1.4原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理</td> </tr> </tbody> </table>	操作目的	対応操作概要	技術的能力に係る審査基準	① MCCI防止	恒設代替低圧注水ポンプ等によりC/Vへスプレイし、格納容器再循環サンプ水位（広域）71%になればスプレイを停止する。	「1.8原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理	② 格納容器冷却	格納容器再循環ユニットによる冷却を実施するが、C/V圧力が392kPa以上であれば、恒設代替低圧注水ポンプ等によるスプレイも実施する。C/Vへスプレイ中、C/V圧力が1Pd-50kPaまで低下すればスプレイを停止する。	「1.6原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理	③ 残存デブリ冷却	格納容器冷却中に原子炉容器に残存デブリの兆候が見られた場合は、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さを上限に、残存デブリの兆候が解消されるまで格納容器又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度の上昇により確認する。	「1.4原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理		
操作目的	対応操作概要	技術的能力に係る審査基準													
① MCCI防止	恒設代替低圧注水ポンプ等によりC/Vへスプレイし、格納容器再循環サンプ水位（広域）71%になればスプレイを停止する。	「1.8原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理													
② 格納容器冷却	格納容器再循環ユニットによる冷却を実施するが、C/V圧力が392kPa以上であれば、恒設代替低圧注水ポンプ等によるスプレイも実施する。C/Vへスプレイ中、C/V圧力が1Pd-50kPaまで低下すればスプレイを停止する。	「1.6原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理													
③ 残存デブリ冷却	格納容器冷却中に原子炉容器に残存デブリの兆候が見られた場合は、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さを上限に、残存デブリの兆候が解消されるまで格納容器又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度の上昇により確認する。	「1.4原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理													

泊発電所3号炉		相違理由													
添付資料 1.4.18		本資料の内容は、技術的能力 1.8 下部注水「添付資料 1.8.4 炉心損傷時における原子炉格納容器破損防止等操作について」にてご説明済み。													
<p>重大事故発生時は、MCCI防止のため代替格納容器スプレイポンプ等による原子炉格納容器下部への注水にて原子炉下部キャビティに注水する必要がある。さらに、原子炉格納容器（以下「C/V」という。）圧力が高い状態では、格納容器スプレイによる冷却（減圧）を実施し、海水による格納容器内自然対流冷却準備が整えば、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に移行する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却（減圧）中は、C/V圧力1Pd-0.05MPaとなれば格納容器スプレイを停止する。また、原子炉容器内に残存溶融炉心の兆候が見られた場合又は残存溶融炉心の冷却が必要な場合は、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さまでC/V内へ注水する。</p> <p>以下に、MCCI防止対応から残存溶融炉心冷却までの操作におけるC/V注水量の関係について整理する。</p> <p>(1) 対応操作概要</p> <p>各操作目的、対応操作概要及び各対応操作に対するC/V注水量の関係を示す。</p>		【大飯】 記載表現の相違													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>操作目的</th> <th>対応操作概要</th> <th>技術的能力に係る審査基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① MCCI防止</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ等により原子炉格納容器下部へ注水し、格納容器再循環サンプ水位（広域）が81%になれば原子炉格納容器下部への注水を停止する。</td> <td>「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理</td> </tr> <tr> <td>② 原子炉格納容器冷却</td> <td>格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施するが、C/V圧力が0.28MPa以上であれば、代替格納容器スプレイポンプ等によるスプレイも実施する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却中、C/V圧力が1Pd-0.05MPaまで低下すれば冷却を停止する。</td> <td>「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理</td> </tr> <tr> <td>③ 残存溶融炉心冷却</td> <td>原子炉格納容器冷却中に原子炉容器に残存溶融炉心の兆候が見られた場合は、原子炉格納容器水位の安定位置（格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さ）を上限に、残存溶融炉心の兆候が解消されるまで格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度等の上昇により確認する。</td> <td>「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理</td> </tr> </tbody> </table>	操作目的	対応操作概要	技術的能力に係る審査基準	① MCCI防止	代替格納容器スプレイポンプ等により原子炉格納容器下部へ注水し、格納容器再循環サンプ水位（広域）が81%になれば原子炉格納容器下部への注水を停止する。	「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理	② 原子炉格納容器冷却	格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施するが、C/V圧力が0.28MPa以上であれば、代替格納容器スプレイポンプ等によるスプレイも実施する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却中、C/V圧力が1Pd-0.05MPaまで低下すれば冷却を停止する。	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理	③ 残存溶融炉心冷却	原子炉格納容器冷却中に原子炉容器に残存溶融炉心の兆候が見られた場合は、原子炉格納容器水位の安定位置（格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さ）を上限に、残存溶融炉心の兆候が解消されるまで格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度等の上昇により確認する。	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理		
操作目的	対応操作概要	技術的能力に係る審査基準													
① MCCI防止	代替格納容器スプレイポンプ等により原子炉格納容器下部へ注水し、格納容器再循環サンプ水位（広域）が81%になれば原子炉格納容器下部への注水を停止する。	「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」にて整理													
② 原子炉格納容器冷却	格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を実施するが、C/V圧力が0.28MPa以上であれば、代替格納容器スプレイポンプ等によるスプレイも実施する。格納容器スプレイ又は格納容器内自然対流冷却による冷却中、C/V圧力が1Pd-0.05MPaまで低下すれば冷却を停止する。	「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」にて整理													
③ 残存溶融炉心冷却	原子炉格納容器冷却中に原子炉容器に残存溶融炉心の兆候が見られた場合は、原子炉格納容器水位の安定位置（格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さ）を上限に、残存溶融炉心の兆候が解消されるまで格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによりC/V内へ注水する。 ※：兆候は、C/V圧力及び温度等の上昇により確認する。	「1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整理													
	<div style="border: 2px solid black; width: 100%; height: 100%;"></div>														
	<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>														



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 炉心損傷後におけるC/V内の水素濃度を考慮した減圧運用について</p> <p>炉心損傷時にはZr-水反応等により水素が発生することから、C/V内を減圧する際は水素分圧の上昇による水素濃度の上昇に留意し、爆轟に至らないように配慮する必要がある。</p> <p>a. 炉心損傷時のC/V減圧運用</p> <p>炉心損傷後におけるC/V減圧操作時は、減圧に伴い水素濃度が高くなることから、爆轟領域である水素濃度13vol%（ドライ）を超えないように配慮する。</p> <p>そのため、以下の水素濃度を目安に減圧運用を行う。</p> <p>水素濃度目安：8vol%（ドライ）※</p> <p>※：ただし、減圧を継続する必要がある場合は、8vol%（ドライ）以上であっても操作の実効性と悪影響を評価し、減圧を継続することもある。</p> <p>炉心損傷後のC/V減圧操作については、C/V圧力が最高使用圧力から50kPa [gage] 低下すれば停止する手順としており、この運用により図1に示す通り100%のZr-水反応時の水素発生量を仮定した場合でも、大規模な水素燃焼の発生を防止することができる。また、水素濃度は、可搬型原子炉格納容器水素濃度計で計測される水素濃度（ドライ）により継続的に監視を行う運用としており、測定による水素濃度が8vol%（ドライ）未満であれば減圧を継続できる。</p> <p>（参考：図2に爆轟領域と可燃領域を示した空気、水素、水蒸気の3元図を示す。また、図1に示す75%及び100%のZr-水反応時の空気、水素、水蒸気の関係も示す。）</p> <p>なお、図1は気体の状態方程式を用い、全炉心内のジルコニウム量の75%又は100%が水と反応した場合に、C/V内水素濃度が均一になるものとして表したものである。計算には、C/V内の水素濃度の観点から保守的に厳しい条件を設定している。</p> <div data-bbox="107 821 992 1377" style="border: 2px solid black; height: 348px; width: 395px;"></div> <div data-bbox="365 1406 992 1458" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p> </div>	<p>(2) 炉心損傷後におけるC/V内の水素濃度を考慮した減圧運用について</p> <p>炉心損傷時にはZr-水反応等により水素が発生することから、C/V内を減圧する際は水素分圧の上昇による水素濃度の上昇に留意し、爆轟に至らないように配慮する必要がある。</p> <p>a. 炉心損傷時のC/V減圧運用</p> <p>炉心損傷後におけるC/V減圧操作時は、減圧に伴い水素濃度が高くなることから、爆轟領域である水素濃度13vol%（ドライ）を超えないように配慮する。</p> <p>そのため、以下の水素濃度を目安に減圧運用を行う。</p> <p>水素濃度目安：8vol%（ドライ）※</p> <p>※：ただし、減圧を継続する必要がある場合は、8vol%（ドライ）以上であっても操作の実効性と悪影響を評価し、減圧を継続することもある。</p> <p>炉心損傷後のC/V減圧操作については、C/V圧力が最高使用圧力から0.05MPa [gage] 低下すれば停止する手順としており、この運用により図1に示すとおり100%のZr-水反応時の水素発生量を仮定した場合でも、大規模な水素燃焼の発生を防止することができる。また、水素濃度は、格納容器内水素濃度計で計測される水素濃度（ドライ）により継続的に監視を行う運用としており、測定による水素濃度が8vol%（ドライ）未満であれば減圧を継続できる。</p> <p>（参考：図2に爆轟領域と可燃領域を示した空気、水素、水蒸気の3元図を示す。また、図1に75%及び100%のZr-水反応時の空気、水素、水蒸気の関係も示す。）</p> <p>なお、図1は気体の状態方程式を用い、全炉心内のジルコニウム量の75%又は100%が水と反応した場合に、C/V内水素濃度が均一になるものとして表したものである。計算には、C/V内の水素濃度の観点から保守的に厳しい条件を設定している。</p> <div data-bbox="1084 821 1883 1358" style="border: 2px solid black; height: 336px; width: 357px;"></div> <div data-bbox="1326 1390 1883 1417" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 設備名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>可燃領域 爆轟以外の燃焼反応を起こす領域</li> <li>爆轟領域 強い圧力波を伴い、音速より速い速度で燃焼が伝播する爆轟燃焼が生じる領域</li> </ul> <p>図2 空気、水素、水蒸気の3元図</p> <p>図2に示した75%及び100%のZr-水反応時の空気、水素、水蒸気の関係についてはC/V内を飽和状態と仮定し気体の状態方程式に基づいて図1を作図しており、図1の横軸(C/V内圧力)は、下図に示すとおり、水素と空気と水蒸気の各分圧の和になる。          ある温度における各ガスの分圧は、体積が一定の場合、各ガスのモル数に比例するため、1Pd(392kPa [gage] (494kPa [abs]))時の水蒸気濃度70%は、C/V内ガス全圧(494kPa [abs])に対する水蒸気分圧(345kPa [abs])の比によって算出している。</p>	<p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>可燃領域 爆轟以外の燃焼反応を起こす領域</li> <li>爆轟領域 強い圧力波を伴い、音速より速い速度で燃焼が伝播する爆轟燃焼が生じる領域</li> </ul> <p>図2 空気、水素、水蒸気の3元図</p> <p>図2に示した75%及び100%のZr-水反応時の空気、水素、水蒸気の関係については、C/V内を飽和状態と仮定し気体の状態方程式に基づいて図1を作図しており、図1の横軸(C/V内圧力)は、下図に示すとおり、水素と空気と水蒸気の各分圧の和になる。          ある温度における各ガスの分圧は、体積が一定の場合、各ガスのモル数に比例するため、1Pd(0.283MPa [gage] (0.385MPa [abs]))時の水蒸気濃度63%は、C/V内ガス全圧(0.385MPa [abs])に対する水蒸気分圧(0.242MPa [abs])の比によって算出している。</p>	<p>【大飯】設備の相違          ・原子炉格納容器の型式の相違により圧力が相違する。</p>



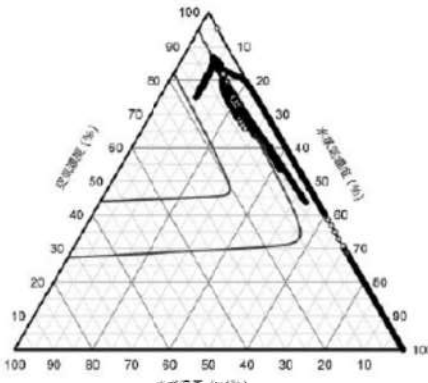
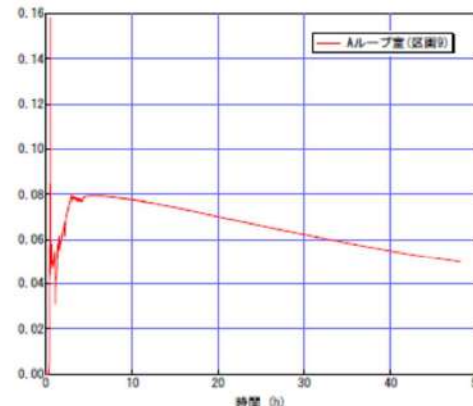
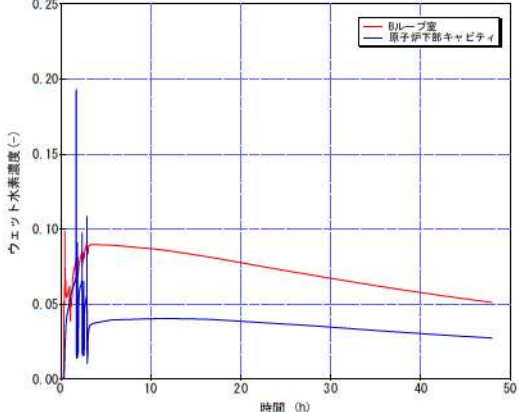
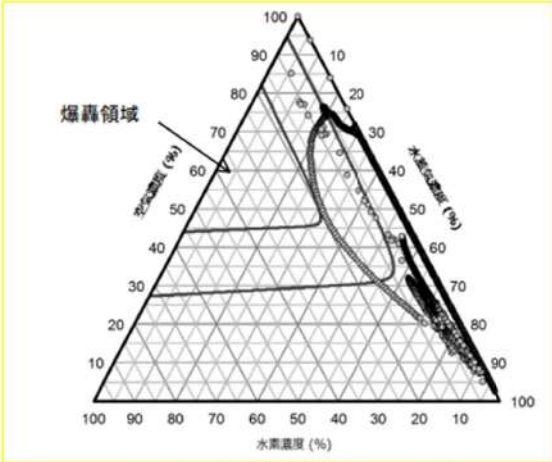
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>CV内ガス全圧 [kPa(abs)]</p> <p>格納容器内温度 [°C]</p> <p>1Pd 約494kPa(abs)</p> <p>約345kPa(abs)</p> <p>水素分圧</p> <p>空気分圧</p> <p>水蒸気分圧</p>	<p>CV内ガス全圧 [MPa(abs)]</p> <p>原子炉格納容器内温度 [°C]</p> <p>1Pd 約0.385MPa(abs)</p> <p>約0.242MPa(abs)</p> <p>水素分圧</p> <p>空気分圧</p> <p>水蒸気分圧</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、川内1/2号炉の添付資料1.8.4を掲載】（比較箇所のみ抜粋）</p> <p>(3) 格納容器内の局所的な水素濃度分布について                  LOCA時は、破断口において局所的に水素濃度が高くなる。                  川内1/2号炉の破断口があるループ室では、炉内Zr-水反応で発生した水素が破断口から放出されることにより、ウェット水素濃度が13vol%以上となるが、その期間は短時間であり、図1のとおり3元図の爆轟領域に達していない。</p> <p>従って、川内1/2号炉では局所的な水素濃度評価においても、水素爆轟の可能性は低いと判断している。</p>  <p>図1 破断口ループ室の3元図</p>  <p>図2 破断口ループ室水素濃度</p> <p>有効性評価添付資料3.4.2 「GOTHICにおける水素濃度分布の評価について」より抜粋</p>	<p>(3) 原子炉格納容器内の局所的な高濃度水素による影響について</p> <p>評価で想定している破断口があるBループ室及び原子炉下部キャビティでは、炉内Zr-水反応で発生した水素が破断口から放出されることにより、ウェット水素濃度が比較的高くなる。原子炉下部キャビティのウェット水素濃度は13%以上となるが、その期間は短時間であり、図4のとおり3元図の爆轟領域に達していない。</p> <p>したがって、局所的な水素濃度評価においても、水素爆轟の可能性は低いと判断している。</p>  <p>図3 水素濃度の推移</p>  <p>図4 原子炉下部キャビティの3元図</p> <p>有効性評価7.2.4.水素燃焼 添付資料7.2.4.3「GOTHICにおける水素濃度分布の評価について」より抜粋</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  ・泊は川内1/2号炉の審査実績を踏まえた構成としているため、当該プラントを比較対象としている。</p> <p>【川内】                  記載表現の相違</p> <p>【川内】                  解析結果の相違                  ・泊はウェット水素濃度が比較的高くなる区画が破断口があるループ室と原子炉下部キャビティであり、3元図にて爆轟領域に達していないことを確認している。（伊方と同様）</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 各対応操作時のC/V注水量管理                      C/Vへの注水時は、重要機器及び重要計器の水没を防止するため、C/V内の注水量を管理する必要がある。各操作におけるC/V内注水量の管理については、以下の通りである。</p> <p>a. 格納容器スプレイ (MCCI 防止)                      格納容器スプレイ中は、原子炉下部キャビティ水位が必要最低水量以上になったことを原子炉下部キャビティ水位計により把握でき、また、格納容器再循環サンプ水位計によりC/Vへの注水量を把握することができる。</p> <p>b. 格納容器冷却 (減圧)                      格納容器冷却 (減圧) 中は、A格納容器スプレイ流量計、燃料取替用水ピット水位計等によりC/Vへの注水量を把握し、また原子炉格納容器水位計により確認することで、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを把握できる。</p> <p>c. 残存デブリ冷却                      残存デブリ冷却に伴うC/V注水中は、A格納容器スプレイ流量計、燃料取替用水ピット水位計等によりC/Vへの注水量を把握し、また原子炉格納容器水位計により確認することで、C/V内の重要機器及び重要計器が水没しない高さまで注水されたことを把握できる。</p> <p>(4) C/V内の水位検知</p> <p>C/V内水位については、格納容器再循環サンプ水位計 (広域) での計測に加え、A格納容器スプレイ流量計等の注水量により、C/V内の水位が把握可能である。                      更なる監視性向上のため、電極式の水位計をC/Vへの注水を停止する条件となる高さまで水位が到達したことを検知する位置 (E.L. [ ]) に設置する。(図1、2)</p> <p>[ ] 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>(4) 各対応操作時のC/V注水量管理                      C/Vへの注水時は、重要機器及び重要計器の水没を防止するため、C/V内の注水量を管理する必要がある。各操作におけるC/V内注水量の管理については、以下のとおりである。</p> <p>a. 原子炉格納容器下部への注水 (MCCI防止)                      原子炉格納容器下部への注水中は、原子炉下部キャビティ水位が必要最低水量以上になったことを原子炉下部キャビティ水位検出器により把握でき、また、格納容器再循環サンプ水位 (広域) によりC/Vへの注水量を把握することができる。</p> <p>b. 原子炉格納容器冷却 (減圧)                      原子炉格納容器冷却 (減圧) 中は、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、燃料取替用水ピット水位等によりC/Vへの注水量を把握し、また、格納容器水位により確認することで、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない高さまで注水されたことを把握できる。</p> <p>c. 残存溶融炉心冷却                      残存溶融炉心冷却に伴うC/V注水中は、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量、燃料取替用水ピット水位等によりC/Vへの注水量を把握し、また、格納容器水位により確認することで、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さまで注水されたことを把握できる。</p> <p>(5) C/V内の水位検知</p> <p>a. 原子炉下部キャビティの水位検知                      原子炉下部キャビティ水位については、C/V最下階フロアと原子炉下部キャビティの間が連通管及び小扉を経由して原子炉下部キャビティへ流入する経路が確保されており、C/V内の水位がT.P.12.1mフロアを超え格納容器再循環サンプが満水となれば格納容器再循環サンプ水位計により計測が可能である。                      更なる監視性向上のため、溶融炉心が原子炉容器を貫通した際のMCCIを抑制することができる水量が蓄水されていることを直接検知する電極式の水位監視装置を設置する。                      検知器の設置位置は、解析によって示されるMCCIを抑制するための必要水量等には不確かさが含まれるため、早期に概ね必要水量が蓄水されていることを確認する位置として、保守的に原子炉容器破損時に炉心燃料の全量 (約 [ ]) が落下した場合の早期冷却固化に必要な水量 (約 [ ] : T.P.約 [ ]) より0.1m低いT.P.約 [ ] に設置する。(図5及び図6参照)</p> <p>b. C/V内の水位検知                      C/V内水位については、格納容器再循環サンプ水位計による計測に加え、代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量計等の注水量により、C/V内の水位が把握可能である。                      更なる監視性向上のため、電極式の水位計をC/Vへの注水を停止する条件となる高さまで水位が到達したことを検知する位置 (T.P.約 [ ]) に設置する。(図5参照)</p> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備の相違 ・原子炉格納容器冷却 (減圧) 及び残存溶融炉心冷却において、C/V内注水量を確認する監視計器が相違する。</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は、原子炉下部キャビティ及びC/V内水位検知について項目分けすることで記載を充実化している。</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊の水位監視装置の設置位置について、考え方が類似している川内1/2号炉の記載内容を比較対象としている。</p> <p>【川内、大飯】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

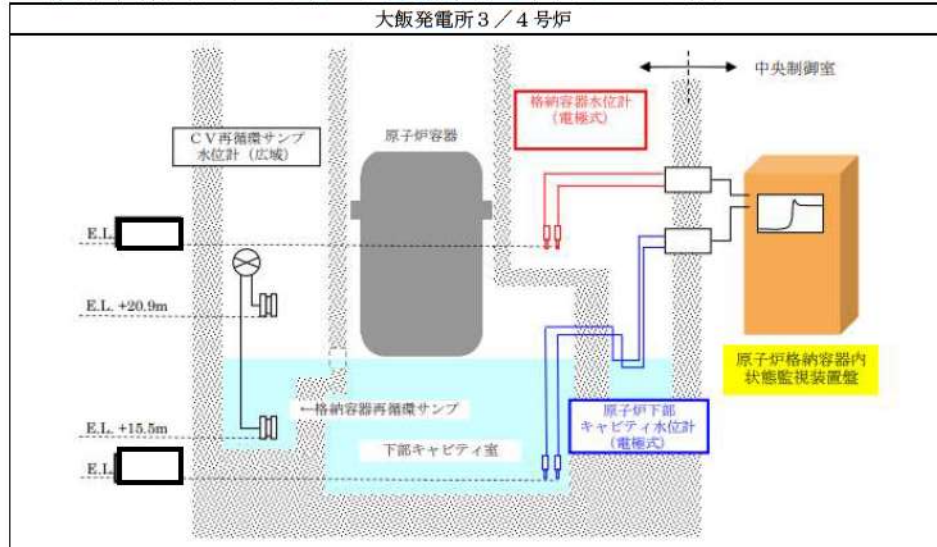


図1 原子炉下部キャビティ水位、格納容器水位監視装置概要

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



図2 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

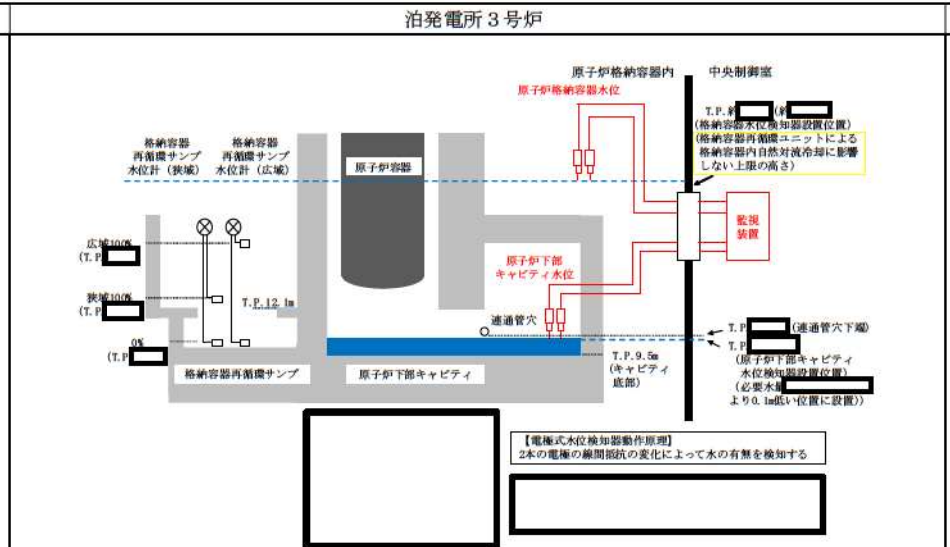


図5 原子炉下部キャビティ水位・格納容器水位監視装置概要図

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。



図6 原子炉格納容器内への注水量と水位の関係

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

相違理由

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(5) C/V内水量とC/V内水位の関係                      C/V内水量とC/V内水位の関係について、以下の図の通りである。</p> <div data-bbox="250 213 844 730" style="border: 2px solid black; height: 324px; width: 265px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="250 746 801 788" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 246px;">                         枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                     </div> <div data-bbox="250 845 857 1406" style="border: 2px solid black; height: 351px; width: 271px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="250 1422 824 1463" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 256px;">                         枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。                     </div>	<p>(6) C/V内水量とC/V内水位の関係                      C/V内水量とC/V内水位の関係について、以下の図のとおりである。</p> <div data-bbox="1028 213 1955 1303" style="border: 2px solid black; height: 683px; width: 414px; margin: 10px auto;"></div> <div data-bbox="1328 1337 1901 1369" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 256px;">                         枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。                     </div>	<p>【大飯】                      記載表現の相違</p>



赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）  
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）  
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、高浜3/4号炉の添付資料1.8.4を掲載】（比較箇所のみ抜粋）</p> <p>(7) 格納容器圧力計が使用できない場合のスプレイ停止判断について                  重大事故時は、自然対流冷却を阻害しない水位（格納容器再循環ユニットダクト開放部より0.5m下部EL.約20.2m）までC/Vへの注水を実施する。</p> <p>再循環サンプ広域水位77%（EL.約12.7m）から自然対流冷却を阻害しない水位までに設置されている格納容器圧力計4台（EL.約17.5m）は使用できなくなるものの、1台の格納容器圧力計はダクト開放部よりも高い位置（EL.約20.7m）以上に設置されているためC/V圧力の監視は可能である。</p> <p>なお、格納容器圧力計及び自然対流冷却を阻害しない位置に電極式水位計を設置する。これにより両者の水没を防止することができる。</p> <p>また、格納容器温度計は、十分な高所（EL.約32.3m）に設置されており、水没の可能性は極めて低く、格納容器圧力計が動作不能となった場合でも、C/V内の温度変化を監視することで、飽和蒸気圧力と飽和蒸気温度の相関関係からC/V内圧力を推定することができる。</p>	<p>(7) 格納容器圧力計が使用できない場合のスプレイ停止判断について                  重大事故時は、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却を開始すれば、格納容器スプレイを停止するが、原子炉容器内に残存溶融炉心の徴候が見られた場合又は残存溶融炉心の冷却が必要な場合は、格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に影響しない上限の高さまでC/V内への注水を実施する。</p> <p>格納容器再循環サンプ水位（広域）81%から格納容器内自然対流冷却を阻害しない水位までに設置されている格納容器圧力計4台（T.P.約 [ ] m）は使用できなくなるものの、2台の格納容器圧力計は格納容器再循環ユニットダクト開放部よりも高い位置（T.P. [ ] 35 m）に設置されているためC/V圧力の監視は可能である。</p> <p>また、格納容器温度計は、十分な高所（T.P.約 [ ] m）に設置しており、水没の可能性は極めて低く、格納容器圧力計が動作不能となった場合でも、C/V内の温度変化を監視することで、飽和蒸気圧力と飽和蒸気温度の相関関係からC/V内圧力を推定することができる。</p> <p>[ ] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】                  記載方針の相違                  ・泊は高浜3/4号炉の審査実績を踏まえた記載としているため、当該プラントを比較対象としている。</p> <p>【高浜】                  設備の相違</p> <p>【高浜】                  記載表現の相違                  設備名称の相違</p> <p>【高浜】                  記載内容の相違</p>
<p>(6) 格納容器圧力計が使用できない場合のスプレイ停止判断について                  重大事故時に、C/V内の重要機器及び重要計器を水没させないため、格納容器内への注水量が4,400m<sup>3</sup>で注水を停止することとしている。これにより、格納容器圧力計は水没しない手順としている。</p> <p>なお、格納容器圧力計（広域）設置位置より低い位置に電極式水位計を設置することで水没を防止することができる。</p> <p>仮に、格納容器圧力計が動作不能となった場合でも、C/V内の温度変化を監視することで、飽和蒸気圧力と飽和蒸気温度の相関関係からC/V内圧力を推定することができる。</p>		<p>【大飯】                  記載内容の相違</p> <p>【大飯】                  記載表現の相違</p>